

**平成 27 年度
中部環境パートナーシップオフィス
運営業務実施報告書**

平成 28 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 ボランティアネイバーズ

目次

1. 平成 27 年度事業について	3
(1) 目的	3
(2) 目標	3
(3) 実施期間	3
(4) 業務項目	3
(5) 業務内容	4
(6) 主な業務報告	5
2. 平成 27 年度業務報告について	18
(1) 平成 27 年度業務実施計画の作成	18
(2) 協働コーディネーターの育成	18
(3) 情報の収集・蓄積・発信に関する業務	27
(4) 協働取組促進のための体制の構築及び助言等の実施	33
(5) 地域における協働による ESD の取組支援	66
(6) 中部環境パートナーシップオフィス運営会議の開催	78
(7) 中部地方環境事務所主催会議のための資料の作成	83
(8) 地方環境事務所との連携	84
(9) オフィスの維持・管理	87
(10) 事業及び運営会議における旅費及び謝金の支払	103
(11) GEOC/EPO、各地方 EPO との連携	103

添付資料（別冊）

- 資料 1 平成 27 年度業務実施計画
- 資料 2 平成 27 年度中部環境パートナーシップオフィス運営会議 議事録（上半期/下半期/組織・体制検討部会/事業検討部会）
- 資料 3 平成 27 年度協働コーディネーター育成事業 報告書
- 資料 4 MSH ダイアログ 2015 地域に必要なファクター 3 報告書
- 資料 5 協働取組促進のための情報戦略の検討 報告
- 資料 6 中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集、整理(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)

1. 平成 27 年度事業について

(1) 目的

本業務は、中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）が、環境教育等促進法を踏まえた国の役割を果たすために、地球環境パートナーシッププラザ及び全国の地方 EPO のネットワークを活用しつつ、中部地域のニーズに対応した各種事業を展開し、市民、NPO/NGO、行政、企業等、社会を構成する様々な主体による協働・連携の取組を広げ、環境保全活動等を活性化することを目的としている。

(2) 目標

EPO 中部第 4 期（平成 27 年 4 月～平成 30 年 3 月）の目標は

(1) 協働コーディネーターによる支援展開による協働取組の拡大、
(2) 地域づくりにおける様々な関係者が主体的に関与する協働取組支援基盤の形成、
であり、一年目である平成 27 年度の目標を下記とし、業務項目に基づき実施した。

- (1) 協働取組を促進するための協働コーディネーター人材の育成、
- (2) 協働取組支援基盤形成のための基本情報の整理と体制の構築

(3) 実施期間

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

(4) 業務項目

目標を達成するために、下記項目を立て、業務を実施した。

- (1) 平成 27 年度業務実施計画の作成
- (2) 協働コーディネーターの育成
 - ① 協働コーディネーターの育成等業務
 - ② 協働取組促進のための対話の場づくり業務
- (3) 情報の収集・蓄積・発信に関する業務
 - ① 情報の収集・蓄積
 - ② ホームページの維持管理
 - ③ メールマガジンによる情報の発信
 - ④ 協働取組促進のための情報戦略の検討
- (4) 協働取組促進のための体制の構築及び助言等の実施
 - ① 照会・相談等への対応
 - ② 地域活動への助言及びノウハウの蓄積
 - ③ 本事業以外の環境省事業
 - ④ 外部資金事業
- (5) 地域における協働による ESD の取組支援
- (6) 中部環境パートナーシップオフィス運営会議の開催
 - ① 全体会議

② 組織・体制検討部会

③ 事業検討部会

(7)中部地方環境事務所主催会議のための資料の作成

(8)地方環境事務所との連携

(9)オフィスの維持・管理

① 施設の維持管理

② 来客等への対応

(10)事業及び運営会議における旅費及び謝金の支払い

(11)GEOC/EPO、各地方 EPO との連携

(5) 業務内容

主な業務内容は、以下である。

①地域課題を解決するための協働取組に伴走し、協働で取り組むことの効果、有益性を把握し明確に示し、協働の取組をさらに促進するための専門性をもつ「協働コーディネーター」を育成する

②各地域で実践されている協働取組の実態（プロセスデザイン、実施状況、ステークホルダーの関係性等）を可視化し、他地域・他事例の参考になる情報媒体（紙、WEB）を検討・試行する

③中部 7 県の協働取組が促進されるための地域支援基盤（ガバナンス）を形成するための協議の場をつくる

④各地域で実施されている協働取組の「質の向上」（持続可能な地域づくりへの効果の向上）を目指し、ステークホルダーによる対話の場を設ける

業務を実施する際の留意点は、

①地域の主体性を尊重し、環境保全だけでなく、持続可能な地域・社会の構築という視点で、多様な主体と連携をしながら事業展開すること

②持続可能な地域づくりを推進するために得た情報を伝わりやすく、かつ活用しやすくするための情報媒体・方策の検討、戦略づくりを行うこと

③ステークホルダーとの情報共有を強化するために、日常的なコミュニケーション（メールや電話）、必要に応じてヒアリングやアンケートなどを行うこと

④ステークホルダーとの協議を重ね、ステークホルダーのもつ専門性（スキルやネットワーク含）が十分に活かされる役割の分担と多様な主体の参加や協力の形態を検討すること

である。

また、外部資金により協働事業の運営等を行う場合は、事前に中部地方環境事務所と協議の上、中部環境パートナーシップオフィス運営会議に諮り、その了承を得ることとする。

(6) 主な業務報告

① 目標と成果、課題

今年度の目標とそれに対する成果・課題は下記のとおりである。

ア 協働取組を促進するための協働コーディネーター人材の育成成果は、中部7県において、各県1名の協働コーディネーターを選出し、選出された協働コーディネーターのもつ協働取組について相互参照、学びあいをし、今後EPO中部と連携し各地域、広域での協働取組を実施する人材の輩出、協働コーディネーター間の関係性を育むことができたことである。また業務を実施する過程において、①協働コーディネーターの役割、②協働コーディネーターに必要な資質とスキルを協働コーディネーター間及び協働コーディネーターとEPO中部間で共有することができ、次年度以降実施する協働コーディネーター育成事業に加えるべき必要な要素やプログラムを検討することができた。次なる課題の一つは、本事業を3年間で生み出した協働コーディネーターの専門性やスキルを活かし協働取組をどう拡大し、成果効果を高めていくかである。1年目は、EPO中部の経験や専門性と協働コーディネーターがもつ経験値を重ねあわせ、協働コーディネーターの必要性とその役割、育成メニューを検討した。次年度実施予定である次世代の協働コーディネーター育成に関して、経験者との研究会や経験者の現場での指導（インターン）等の必要性を明確にした。研究会に参加した協働コーディネーターからは、協働取組の現場で起きている多様な動き、ステークホルダーの関係性の変化への対応、資金調達の方法、行政や地域住民との対話のあり方、など具体的な事例をもとに学びあえたことが非常に有意義との高い評価を得ており、現場での実態を浮き彫りにした経験交流が一番の教材になる。2年目は次世代育成の教材となりうる地域の事例を整理し、新たな7名の協働コーディネーターを輩出する。

またもう一つの課題としては、協働コーディネーターの活動基盤の確保である。本事業の最終ゴールは、協働コーディネーターが存在することで、地域の課題解決の取組が活性化することである。そのためには、各地域に協働コーディネーターの活動基盤が必要となり、地域の中間支援組織や環境学習センター等情報や人が集まる機能を持つ拠点がその役割を担うと考えている。次年度はそういった拠点との連携を強化し、さらに、地域で協働による地域課題のための取組が活性化するための協議が必要である。

イ 協働取組支援基盤形成のための基本情報の整理と体制の構築

成果は、先の協働コーディネーター育成事業を通して、各県での協働取組の現状や課題、協働取組に関する支援状況を把握することができたことである。また、日々の相談業務や自治体等の会議に出席することで、多様な協働取組に関する情報を得ることができた。基盤形成の体制づくりについては、MSHダイアログ2015での議論を通じ、EPO中部の事業への参加や他の協働取組と連携することによって、ステークホルダー間での、あるいは中間支援組織や環境学習拠点間での連携が強化され、そこから基盤が形成され得ることを確認した。また、EPO中部の情報収集、提供のありかたを検討する戦略会議をEPOスタッフ内で行い、WEB及び紙媒体を活用した情報基盤整備について検討した。併せて、次年度の情報基盤の充実のために必要な要素や情報機能の改善策を検討した。また、協働コーディネーターが地域で安定して雇用されるための中間支援組織との連携等の基盤づくり、体制の構築のための協議を運営会議内に設置した事業検討部会において行った。

課題は、協働コーディネーターがもつ協働取組事例の整理及び可視化、特にステークホルダーの関係性の変化を注視した編集による情報提供である。協働コーディネーターが存在することの価値をいかに地域に見せ、その利活

用を高めるための情報提供基盤をつくるかである。協働取組に特化した情報の基盤を整備することで、EPO 中部や地域の間支援組織等の、協働取組に関するコンサルティング機能を充実させることができる。

EPO 中部第 4 期（平成 27 年 4 月～30 年 3 月）の目標は

ア 協働コーディネーターによる支援展開による協働取組の拡大

イ 地域づくりにおける様々な関係者が主体的に関与する協働取組支援基盤の形成

である。

「地域に協働コーディネーターが存在することで協働取組の実施が活性化され、多様なステークホルダーによる相互参照の機会が生まれ、より効果的な取組が実践できる環境（状況）を生み出すこと」を目指している。1 年めは、その鍵となる「協働コーディネーター」の育成、連携強化を可能にした。また協働コーディネーター育成事業を通して、日々の業務、EPO 業務全体から、この地域の協働取組の現状や支援基盤を形成するために必要な要素を明らかにした。

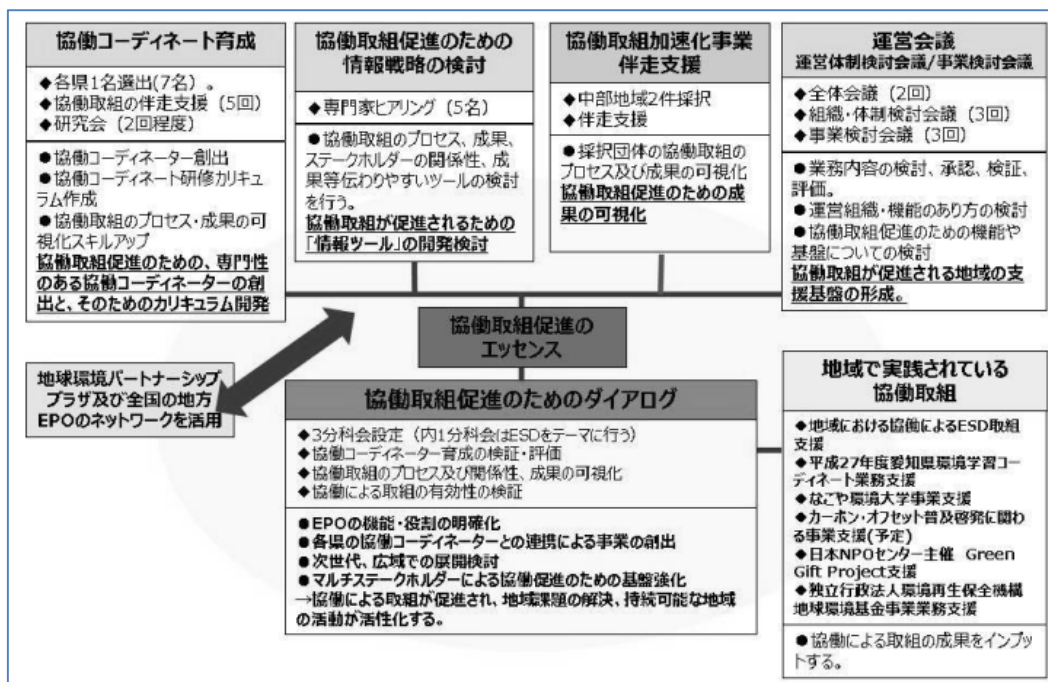
②主な業務報告

ア 平成 27 年度事業の実施計画の作成

事業実施計画は、目標を十分に意識し、効率的な運営ができるものとした。詳細については、添付資料 1 参照。

また、業務遂行にあたっては、下記の業務関連図を作成し、掲げた目標への道筋を意識しつつ、各業務のつながりを可視化し、重ねながら実施することで効果の可視化、及び効率化を図った。特に、MSH ダイアログ 2015 では、本地域の協働取組を活性化し、持続可能な地域社会の実現に向けて必要なファクター（協働コーディネーター、中間支援組織、新たな公共をつくる人材の育成）をテーマに開催し、3 つの目標を全体として可視化することで、人材、時間、費用、事業効果に関して効率的に実施できた。

平成 27 年度 EPO 中部 業務構成図



イ 協働コーディネーターの育成 詳細については、添付資料 3 参照

■ 協働コーディネーターの育成等業務

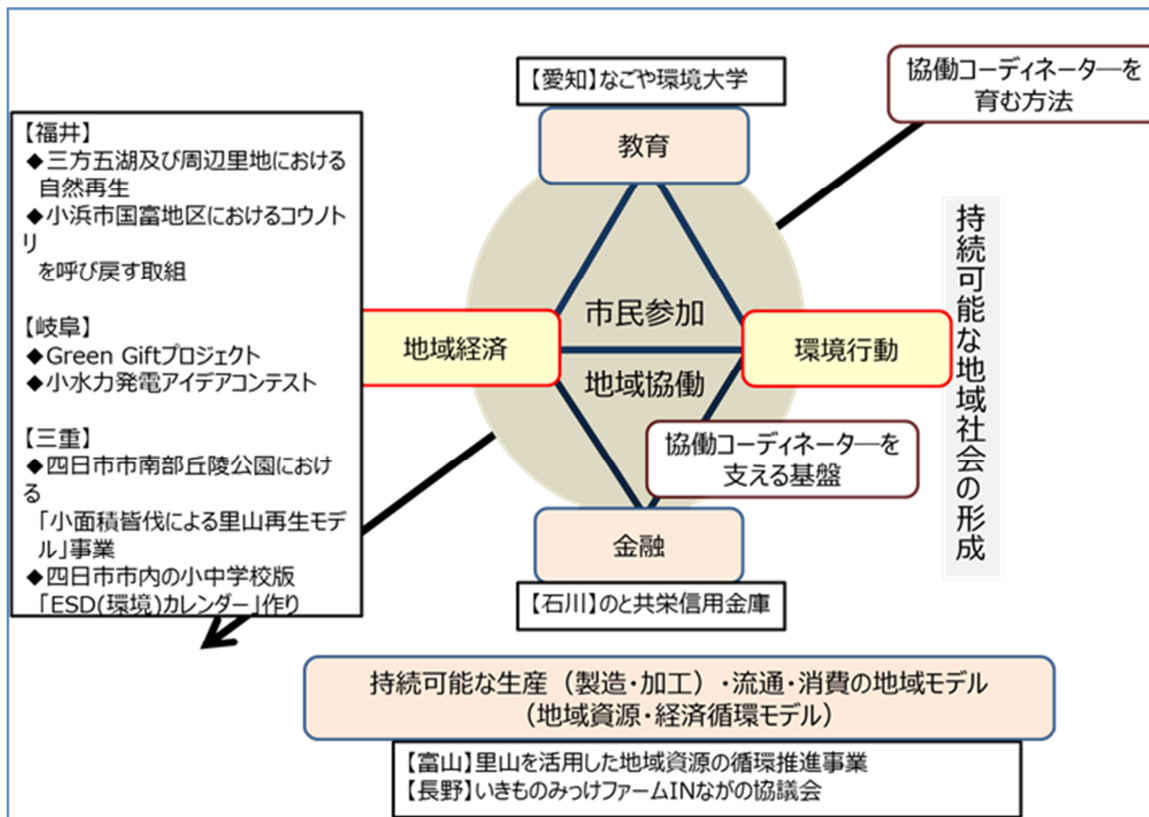
各県の協働取組や、協働取組に関わっている人材について、EPO 中部運営会議委員、各県環境及び協働(市民活動)関連部局、中間支援組織、環境教育拠点などにヒアリングを行った。また、各地での協働取組事例や、協働に関する政策等を把握するため、参考となる資料収集を行った。その上で、EPO 中部運営会議委員との協議の上、各県 2～3 名を候補とし、面談を行い、その結果、下記のとおり、中部 7 県各 1 名の協働コーディネーター候補の選定をした。

今年度は、地元事業者の方、金融機関の OB、行政の OB、教員の OB、NPO 法人、中間支援組織など多様な主体を協働コーディネーター候補とし、持続可能な生産・流通・販売・消費のしくみの形成を目指した取組、環境事業に金融商品を付加する取組、地域の環境学習を発展する取組、地域の課題を住民協働で実施する取組など、多様な事例によって学びあうことができ、協働コーディネーターに必要な資質やスキル、担うべき役割を抽出した。対象とした事例は、10 事例である。協働取組の形態を考慮し、多くの事例を研究することができた。

【協働コーディネーター及び対象とする協働取組事例】

地域	協働コーディネーター	協働取組事例
富山	茶木 勝氏 (株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ 代表/企業)	里山を活用した地域資源の循環推進事業
石川	中里 茂氏 (環境カウンセラー)	環境問題解決に向けた金融機能の活用 (環境金融の推進)
福井	関岡 裕明氏 (株式会社 BO-GA 代表取締役/企業)	①三方五湖及び周辺里地における自然再生 ②小浜市国富地区におけるコウノトリを呼び戻す取組
長野	丸山 寛典氏 (株式会社ミルクケア 常務取締役/企業)	いきものみつけファーム IN ながの 協議会
岐阜	野村 典博氏 (NPO 法人森と水辺の技術研究会 理事長/NPO)	①Green Gift プロジェクト ②小水力発電アイデアコンテスト
愛知	蒲 和宏氏 (なごや環境大学実行委員会 事務局長/任意団体)	講座つながりを生かし行動つながりへ (なごや環境大学)
三重	寺田 卓二氏 (環境教育ネクストステップ研究会 代表/任意団体)	①四日市市南部丘陵公園における「小面積皆伐による里山再生モデル事業」 ②四日市市内の小中学校版「ESD (環境) カレンダー」作り

【協働コーディネーター育成事業 全体スキーム】

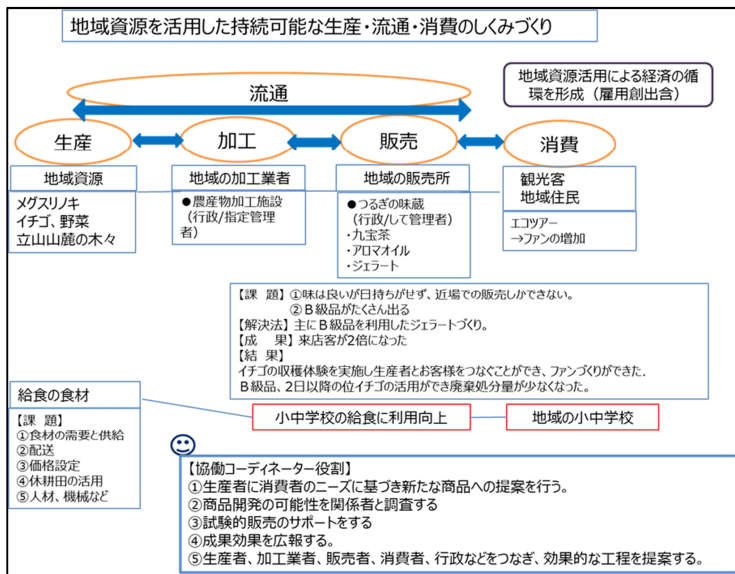


業務内容として、協働コーディネーターを対象に面談によるヒアリングを各2回行い、担っている協働取組の内容や地域のステークホルダーとの関係性、役割について把握した。また、研究会を2回実施し、対象とした協働取組事例より、協働コーディネーターの必要性やその役割、資質・スキルについて、協働コーディネーターが活動できる地域基盤形成について協議した。他、メールやレポート提出での情報共有など協働コーディネーターとの関係性を深め、7県10事例についてのプロセスや課題、協働コーディネーターの役割を十分に把握した。

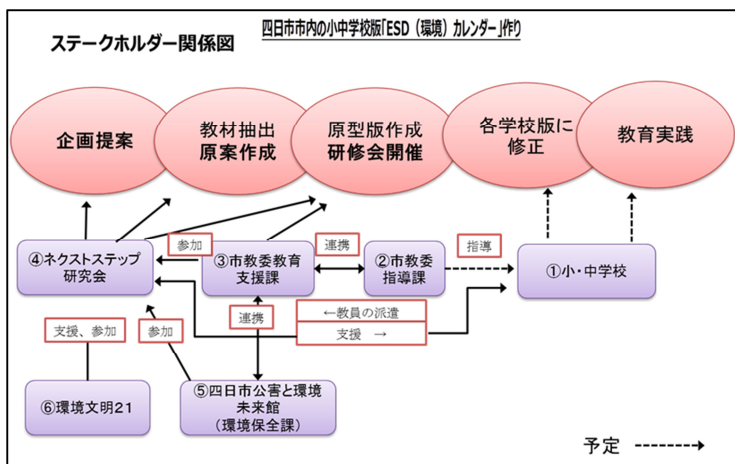
協働コーディネーター自身が日常的に関わっている協働取組事例をある種の教材にしたことにより、現状や課題が具体的であり、協働コーディネーターそれぞれが持つ専門性やスキル等の活用や情報の提供があり、協働コーディネーター間による充実した学びあいとなった。また、一年目は実績のある協働コーディネーターの参加を得たため、今後実施すべき協働コーディネーター育成のためのプログラムや、活動基盤に対する提案が出された。

協働コーディネーター候補から現場の声やニーズを把握することで、今後の協働取組促進のための協働コーディネーターの資質や態度、スキル、役割、あるべき姿などを抽出することができ、今後の育成のために必要な要素を把握することができた。また、協働コーディネーターが活躍できる協働取組促進の基盤形成のために、地域の中間支援組織や行政施策との連携などを検討し、基盤形成への提案内容を抽出することができた。

本業務の対象とした協働取組のステークホルダーの関係性を示す「仕組み図」を作成した。（下記一部抜粋）



【富山】里山を活用した地域資源の循環推進事業



【三重】四日市市内の小中学校版「ESD（環境）カレンダー」作り

■ 協働取組促進のための対話の場の提供 詳細については、P 24 参照

協働取組促進のための対話の場として、2012年から継続して実施しているMSH（マルチステークホルダー）ダイアログを開催した。持続可能な地域の実現に必要な協働取組の促進を可能にする3つのファクター「協働コーディネーター」「中間支援組織」「新たな公共をつくる人材」をテーマに実施した。ゲストに、全ファクターを包括した話題を提供が可能な、市民自治及び協働による政策の実施に挑んでいる氷見市職員の谷内博史氏を迎え、氷見市における協働の進め方やその際に重要となるポイント（構想、市民の技術、ルール）について、住民自治の形成についての考えを伺った。



「協働コーディネーター」をテーマにしたセッションでは、研究会での成果を踏まえ、コメンテーター等を交えて、協働コーディネーターを中部7県で増やし活動を拡大するために、どのような研修や活動基盤が必要かについて協議した。次世代の協働コーディネーター育成方法や、広域における協働取組を促進させるための協働コーディネーターの役割、金融機関との連携による資金調達先の安定、市民の意識を向上させるための環境学習の仕組みなどについて協議した。

「中間支援組織」をテーマにしたセッションでは、中部7県で約70団体程度ある中間支援組織から各県1団体の職員を招いて、現状の中間支援組織の機能とこれから目指すべき機能についての意見を交わした。特に地域課題を解決する協働取組の支援に視点をあて、各中間支援組織がそれぞれの特徴を活かして進めている事業の成果を共有するなかで、今後のありようを検討することができた。中間支援組織のあり方を研究している有識者をゲストに迎え、「地域の多様なステークホルダーには明快なヒエラルキーがないため、合意形成が難しい。そのため課題を設定し、取組をスタートする上で、中間支援組織はファシリテーション的リーダーシップをとることが重要になる」と、今後のあり方について示唆を得たことを共有した。まさに協働コーディネーターの役割である。また、中間支援組織のビジネスモデルについても意見交換をし、安定した事業展開、人材確保には必須であることも共有した。

「新たな公共をつくる人」をテーマにしたセッションでは、地域協働を担う人材、地域自治を担う人材を育むためのESDと位置づけ、意見交換を行った。ゲストに、公共政策等を専門とする有識者を招き、今後必要となる「新しいガバナンス」と、その形成のための「ガバナンス人材」についてのプレゼンテーションを得た。ESDは「ガバナンス人材」の育成であり、そのためには、人間の発達段階や、置かれている環境の中でどのようなESD的な学びあいを展開することができるのか、について中部7県で多様なESD取組を実践しているステークホルダーと情報共有をした。

この3つのセッションから出された提案や課題を、今後EPO中部の事業を検討する際の重要な要素として位置づけることとした。

反省点は、協議の時間が不足していたことであり、次回以降の開催では、事例やゲストを少なくするなど、協議の時間に十分な時間を確保する必要性を実感した。また、MSH(マルチステークホルダー)ダイアログで協議した内容を次年度事業等にどう活かしていくかについて検討する際に、参加いただいたステークホルダーの参加を十分に得ていな

いことも反省点である。参加いただいたステークホルダーがより EPO 中部事業に積極的に関わっていただけるような工夫と、MSH(マルチステークホルダー)ダイアログの会議設計自体の改善が必要である。

ウ 情報の収集・蓄積・発信に関する業務 詳細については、P 27 参照

■情報の収集・蓄積、ホームページの維持管理、メールマガジンによる情報発信

ホームページ（以下 HP）及びメールマガジン(以下メルマガ)での発信、施設での情報収集・提供、施設内の情報整理・蓄積など基本的な業務は実施している。しかし、対象をセグメントしての情報収集や情報媒体の改善などアグレッシブな取組ができておらず、本地域での協働取組の促進のための情報基盤の作り直しが必須となっている。また、HP アクセスがかなり減少していることから、十分な情報発信ができていない状況にあると考えられ、早急に対処する必要がある。

【データ】

●環境情報の収集などデータ(3月18日時点)

項目(単位)	平成27年度	昨年度比	平成26年度
行政関係(種)	142	11(9%増)	131
企業関係(種)	32	▲28(7%減)	60
NPO等関係(種)	201	▲61(23.3%減)	262
その他(種)	97	▲7(7%減)	104
合計(件)	472	▲99(17.3%減)	571
月平均(件)	39.3	▲8.3(17.4%減)	47.6

●ホームページ及びメールマガジンに関するデータ(3月18日時点)

項目	平成27年度	昨年度比	平成26年度
ホームページアクセス数(件)	154,314	▲23,253(13%減)	177,567
メールマガジン発行数(回)	10	▲3(23.1%減)	13
メールマガジン登録数(名)	764	18(2%増)	746
来館者数(名)	411	20(5%増)	391

■協働取組促進のための情報戦略の検討

EPO 中部内に情報戦略チームを設置し、担当スタッフを配置した。今後の EPO 中部の情報のありかたや情報媒体を検討するにあたり、情報に関する専門家 4 名にヒアリングをした。HP のアクセス数が減少していることや、HP に掲載している情報の読みづらさなどを抱えている課題についてアドバイスをいただき、HP のシステム、構成、コンテンツの改善について提案、紙媒体での情報発信の有効性についての提案を得た。EPO 内部で情報戦略会議を行い、Web の改善、紙媒体での情報発信についての次年度の計画案を作成し、次年度事業への位置づけを検討することとしている。

【ヒアリング対象者】

〈Web 関連〉藤岡博孝氏（フジオカヒロタカデザイン事務所）

内藤大輔氏（UNICO LABO [ユニコ ラボ]）

〈紙媒体〉関口威人氏(環境情報誌 Risa 編集長)
〈デザイン〉加藤美奈氏 (株式会社 ComodoLABO)

エ 協働取組促進のための体制の構築及び助言等の実施 詳細については、P 33 参照

中部 7 県における協働取組の現状及び課題の把握、知見の蓄積をするために、下記の協働取組に、協働の専門家として参加及び連携・協働した。特に、それぞれの協働取組の持つ特徴や特色、ステークホルダーの関係性の変化に注視し、協働のプロセスをいかに作りあげるかの工程でのアドバイス等をした。

- ・協働コーディネーターが担っている協働取組 (10 事例)
- ・協働取組加速化事業採択団体の協働取組 (2 事例)
- ・郷土種子を活用した名古屋の緑化及び生物多様性保全推進協議会
- ・愛知県環境学習コーディネート業務支援
- ・なごや環境大学事業
- ・日本 NPO センター主催 Green Gift プロジェクト支援
- ・カーボン・オフセット普及・啓発に関わる事業支援
- ・ESD 環境教育プログラム実証事業の支援
- ・愛知県協働促進会議
- ・他相談案件

協働を促進し、コーディネートする立場として関わる中で、以下の課題を見いだした。

- ・地域の巻き込み (住民の理解、消費者の理解、住民参加が得られない)
- ・資金調達 (助成金、補助金などをつないでの実施)
- ・事業実施主体の組織の脆弱さ (スタッフ体制、スタッフスキル等)

また、その課題の要因について以下を検討した。

- ・ある一定のコミュニティの中でしか事業展開されていない
- ・モデル事業の域から汎用化までのシナリオができていない
- ・事業が地域に根付くまでの安定的継続的資金が確保できない
- ・事業の定量評価が出せず、その効果がわかりにくい、伝わりにくい
- ・事業の社会的価値が可視化されていない、伝わっていない

見いだした課題を改善するには、「協働取組の成果効果及び有益性の実証」「協働取組を実施することでのベネフィットを誰がどのように得るかのリターンの可視化」「協働取組を行う工程でのコミュニケーションプロセス」が重要となる。協働取組を展開する過程で、必要なステークホルダーが納得して参加できるような定性的・定量的な評価、明確な戦略が必要であり、さらには当事者ではない協働の専門家等外部者による評価を得ることが求められる。

協働取組を実施する主体やステークホルダーに対しては、各協働取組が抱える課題と置かれている現状をヒアリングしつつ、上記の点を取組に寄り添って助言をし、改善を促している。

また、課題改善の方策の一つとして、異なる主体との連携・協働も提案している。EPO 中部としては、蓄積したネットワークを活用して、必要としている主体に提供できる側をつなぐマッチングを行っている。今年度実施した教員（学校）、講師、専門家などの紹介等相談及びコンサルティング業務によるマッチングは以下である。（一部抜粋）

[異なる主体とのマッチング] 合計 43 件

- ・コミュニティ（サステナブル）ビジネスの展開×デザイナーの紹介
- ・中学校の ESD 授業カリキュラム×講師紹介
- ・小学校の ESD カレンダー作成×専門家紹介
- ・かがやけ☆サステナ研究所×大学生×企業
- ・郷土種子を活用した名古屋の緑化及び生物多様性保全推進協議会×名古屋ビルヂング（不動産事業者）
- ・木曾岬干拓メガソーラー事業(事業者)×愛知教育大学×コンサルタント
- ・生物多様性地域戦略策定×地域の活動団体

また、資金調達先とのマッチングも行い、あいちモリコロ基金、あいちコミュニティ財団、地球環境基金、四日市ささえあいのまち創造基金「ささえあい基金」、他金融機関、企業、助成団体、行政の建築物緑化制度他、資金提供先の情報を、NPO や地域活動支援助成などを紹介した（電話、メール、メルマガ、HP、面談等）。また、具体的事業に対する資金調達先や調達の方法、助成金申請書類へのアドバイスも行った。（計 21 件）

具体例として、

- ・日本 NPO センターと東京海上日動火災保険(株)が協働で実施している「Green Gift プロジェクト」における福井県、岐阜県の環境活動団体とのマッチング
- ・地球環境基金の説明会及び申請についてのアドバイス
- ・市民活動団体主導の調査活動等についての資金調達に関する問合せに対する企業紹介
- ・金融機関との協働取組を担う協働コーディネーターと連携をし、各県の地元の金融機関とのマッチングのありようについて検討

この他、自治体からの要請を受け、自治体に協働の視点での意見提案や、協働のノウハウ、情報提供を行うため自治体が設置する委員会の委員等を担った。環境教育/ESD 研修、講演やシンポジウムに参加し、市民協働、協働取組の価値の視点から情報提供等を行った。他地域の協働取組に関してアドバイザー的な参画をし、必要なステークホルダーの調整や協働に対するアドバイスを行う等、協働取組が促進するための役割を担った。

また、協働取組を促進するために、協働コーディネーターの派遣、多様な主体との対話の場づくり、必要な資源のマッチング、協働取組の評価スキームによる社会的価値の可視化、などの支援メニューを準備している。今後このメニューを中部 7 県で包括的に実施できる体制が必要である。

体制を作るためには、各県の協働を促進する機能をもつ中間支援組織や環境学習拠点と連携して、相談者が相談しやすい環境をつくることが求められる。その際に EPO 中部の役割は、EPO 中部自体もこれまで通り支援メニ

ユーを持ち実施するが、各県の協働促進の機能をもつ施設と連携し、網の目のような支援基盤の形成を牽引することだと考える。それがパートナーシップ促進のためのガバナンスにつながると考える。

オ 地域における協働による ESD の取組支援

■ ESD 環境教育プログラム実証事業(支援)

ESD 環境教育プログラム実証事業についての受託業者や運営会議委員、実証校からの問合せ、相談に対応した。本事業のコンセプトや全体構成を可視化し、過去 2 年間の成果・課題、今年度達成すべき目標や可能性について整理をし、形成推進委員会や検証委員会及び各県での実証において会議の開催、実証へ ESD の視点や手法のインプットや、アドバイスを行うなど支援した。形成推進委員会や検証委員会では、事業の進捗状況や目標を鑑み、論点や会議の設計等委員としての提案を行った。各県でのワーキンググループ会議や公開授業に参加し、ESD の視点や手法、これまでの実証において得た情報等の提供を行った。

今年度は本事業 3 年間の最終年度であり、本事業の検証作業を主な支援業務とし、検証手法及び項目、分析についてのアドバイス、まとめ作業の支援を実施した。特に 2 年間で制作した映像教材の活用を検証するためのアーカイブ映像の制作に関して、制作会社とコンセプトの確認や、過去の実証を踏まえて盛り込むべき内容の精査、ESD の視点や手法をインプットする必要性のアドバイスなどを行った。周知啓発ワークショップ及び周知啓発冊子の作成においては、コンセプトや企画の調整を支援した。

■ 地域における協働による ESD の取組支援

中部 7 県内における ESD 取組促進のための、地域や主体のニーズに対応するための支援を実施した。愛知県が ESD ユネスコ世界会議の後継事業として実施した「かがやけ☆サスティナ研究所」や、北陸東海ユネスコスクールの交流会、教員や自治体職員、環境教育指導者を対象にした ESD 研修、愛知県ユネスコスクール会議などに積極的に関わった。

カ 中部環境パートナーシップオフィス運営会議の開催 詳細は添付資料 2 参照

第 4 期一年目である今年度は、今期の目玉事業である「協働コーディネーター育成事業」について、さらに第 3 期より懸案事項としてあがっている「EPO 中部の組織のありかた」「EPO 中部が担うべき協働取組支援」について協議をした。

■ 上半期運営会議の報告

上半期運営会議では、まず運営会議の設置要領の見直しを行い、運営会議の中に、「組織・体制検討部会」「事業検討部会」を設ける旨を説明し、各部会において今後の EPO 中部の組織のありかたや事業内容について検討することとした。

また、今期の 3 年間の目標等を説明し、今年度の達成目標、目標を達成するための業務計画について説明をした。特に今期より始める「協働コーディネーター育成事業」については、運営会議委員の協力がなくては実施できないので、事業説明及び各県担当者、他の方の意見や提案を把握するため、セクターごとに意見集約をするワークショップを行った。行政グループは各県の協働取組を支援する政策についての報告があった。また、協働コーディネーターの役割や価

値についての意見、協働コーディネーターの育成が目的ではなく、あくまでも地域を地域内で支え合う状況を作り出すことが目的である、という発言があった。各県の協働コーディネーター選出に協力していただくこと、候補者を教えていただくことなど、運営会議と一緒に本事業を進めて行くことを確認した。

■ 組織・体制検討部会の報告

年 3 回開催し、本地域において協働による事業を拡大するための EPO 機能はどのように発展させるべきか、そのためにはどのような運営組織体制へと移行していくことがよいのかを検討した。委員へのアンケートによる部会への意見提案も行った。

第 1 回では、過去の経緯と今後の地域ニーズについて協議し、「地域ニーズを吸い上げ、環境省だけではできない事業を協働で展開するのが EPO の役割である」ことを共有した。さらに、EPO は環境省の仕様書の事業を実施することは前提であり、その上で、地域に必要な事業を、外部資金を投入して、展開する機能をもつ。その際に、環境省施策と地域ニーズに基づく事業の質と量のバランスが課題となるため、EPO が担うべき事業のグランドデザイン（包括的な事業デザイン・予算）を作成し、環境省と協議して、EPO が今後すべきことを明確にし、その際の環境省と外部資金事業とのバランス調整、及び組織の自立性、意思決定のありようの検討を行うこととした。第 2 回は、作成したグランドデザイン案に基づき、EPO が担うべき事業と予算規模を提示し、その実行のために誰が何を担うのかについて協議をした。第 3 回は、今後の EPO 中部の組織体制を検討する上で、今後 EPO 中部が担うべき取組、実施したいと考える取組を各主体（環境省、行政、事業者、NPO 等）との連携を念頭に整理をした。

その上で、

- ①環境省の仕様書に則って EPO 中部がすべきこと（EPO 中部運営管理業務）
- ②環境省が EPO を活用して実施する事業（協働取組加速化事業/ESD 環境教育プログラム実証事業等）
- ③地域のニーズのもとですべきこと（外部資金）

の、大きく 3 つのカテゴリーに分け、資金をどう確保するのか、スタッフ体制をどうつくるのか、①②③の請負団体は同じでよいのか、別にするかなどを検討した。また、請負団体が 10 年間変わっていないため、新たな団体への移行の検討も要するのではないかという協議も行った。ただ、新たな組織をつくるにあたっては、資金や人材の問題等があり、EPO 中部の 10 年間のポテンシャルの価値を評価しつつ、新たな組織のありようを検討することとなった。下半期運営会議には、協議内容等を報告することとした。

■ 事業検討部会の報告

年 2 回開催した。1 回目の会議では、「EPO 中部は協働を支えるコーディネート機能であり、協働を可能にする情報や機会の提供を行い、ノウハウを蓄積している機関である」ことを再度共有した。EPO 中部の 10 年間の協働や ESD に関する情報やノウハウ、多様な主体のネットワークの蓄積が利用される状況をいかにつくることができるのか、が論点となった。PR 不足と人材不足が課題として挙げられ、一方で、情報機能の充実と地域ニーズを十分に把握することの重要性を共有した。また、今年度から実施される協働コーディネーターの育成事業に期待をし、EPO 中部スタッフと各県の協働コーディネーター、さらには環境学習情報センターや中間支援組織等の協働促進を支援する組織との関係性の強化の重要性について協議した。次回会議を協働コーディネーター研究会と重ねて行うこととした。2 回目は、協働コーディネーター研修事業の後に実施し、協働コーディネーターの役割と機能の重要性、多様な協働コーディネーターが存在することの価値を共有した。協働コーディネーターは今できていないことをできるようにするスキルが必

要であり、プロフェッショナルであること、そのためには雇用の確保、安定的に業務ができる基盤の形成が必須であることを再認識し、地域に多様な分野やスキルに長けている協働コーディネーターが存在し、その存在を支える組織基盤が形成されるために EPO 機能を充実をすべきであると協議がされた。

下半期運営会議には、協働コーディネーター育成事業の成果を伝えるとともに、協働コーディネーターの活動を支える基盤形成をどう作っていくかについての協議を提案することとした。

■ 下半期運営会議の報告

下半期運営会議の主な議論は、事業検討部会による「協働コーディネーター育成事業」の成果報告と次年度事業についての検討、組織・体制検討部会による「EPO 中部を担う今後の体制」についての報告と協議であった。

事業検討部会では、協働コーディネーター育成事業の第 2 回研究会に参加したことで、改めて協働コーディネーターの必要性について認識をした、と報告があった。その後、協働コーディネーターは地域の自治会の人や自治体職員、企業の人、中間支援組織のスタッフなど多様な主体であっていい、しかし、コーディネート、プロデュース、ファシリテート等求められるスキルが高いため、一人のキーマンが担うのではなく、チームで補完し合う体制をどう作るかが重要だという意見が出された。また、協働コーディネーターの数値的な評価がないことが課題だと指摘され、今後協働コーディネーターの役割をいかに可視化し、協働取組の促進に有益だったかを見せる化することが重要だと意見があった。また、協働コーディネーターの育成に対する考え方やスキルに関してはある程度一般化できるのでマニュアル化し、育成メニューについては座学と現場での学習でカリキュラム化することも提案された。一方で、協働コーディネーターが役割を発揮しやすくするための活動基盤を強化することも必要だとされ、中間支援組織との連携強化に取り組むことも提案が出された。

組織・体制検討部会においては、環境省として EPO が担う業務と、地域ニーズに対応して実施する業務のバランスが重要であること、両輪の業務を担う組織体のありようについて検討をした、と報告があった。その後、10 年間今の請負団体が受託しているが、既存の新しい組織もしくは新しい組織体の形成を検討してもよいのではないか、新しい組織を形成する際には、EPO 事業の価値を判断する必要があり、この間蓄積したポテンシャルが使えるかどうかのジャッジや資金調達先の確保など検討する課題が多々あるのではないか、といった協議を行った。

組織・体制検討部会及び事業検討部会については今年度で終了するとし、残された案件については、案件ごとにどのような体制ですすめていくか、検討することとなった。

キ オフィスの維持・管理

■ 施設の維持管理

開館日は月～木曜日(3月31日は除く。)とし、金曜日及び3月31日は情報収集・整理日として閉館日とした。土・日曜、祝日、夏季(8月12日～8月14日)及び年末・年始(12月29日～12月31日、1月1日～1月3日)は休館にした。休館日をのぞく、年間事業日数は、240日であった(電話・メール対応等を行っている情報収集・整理日についても事業日数に含む)。

オフィス防災関連業務として、防災管理者を選任し、防災管理者講習の受講、共同防火・防災管理協議会出席、錦パークビル防災訓練への参加を行った。

■ 来客への対応

年間 233 日開館をし、累計来館者数は 502 名であった。(3 月 18 日時点)。来館者数は昨年度と比較し、約 4%微増している。スタッフを 1 名オフィスに配置し、来館者や電話、メールでの問合せ等に対応した。業務を担ったスタッフは 1 日平均 4.6 名である。

[データ]3 月 18 日時点

● 来館者数など

	平成 27 年度	月平均	昨年度比	平成 26 年度
開館日数 (日)	233	19.4	▲8(3%減)	241
来館者数 (名)	521	43.4	19 (4%増)	502
日平均 (名)	2.2	-	0.1(5%増)	2.1
スタッフ体制 (名)	1077	89.8	▲154 (12.5%減)	1231
日平均 (名)	4.6	-	▲0.5(10%減)	5.1

● 問い合わせ件数 (単位：件)

分 野	平成 27 年度	昨年度比	平成 26 年度
環境教育(学習)	37	2 (6%増)	35
ESD	112	▲188(63%減)	300
生物多様性	20	14 (233%増)	6
気候変動	12	6(100%増)	6
自治体関連	73	19 (35%増)	54
企業関連	29	▲6 (17%減)	35
NPO・市民活動団体・地域活動等	151	61 (68%増)	90
パートナーシップ	10	▲26(72%減)	36
EPO	27	12(80%増)	15
フェアトレード	11	6(120%増)	5
他(具体内容下記に抜粋)	11	▲53(83%減)	64
合 計	493	▲153(24%減)	646
日平均	2.1	▲0.6 (22%減)	2.7

● その他の内容(抜粋)

- ・愛知県で行われる映画撮影におけるエキストラ募集について
- ・環境関連の就職について
- ・環境省概算要求について
- ・環境及び福祉に関する総合的な学習の事例、取組について

ク 他

外部資金事業、中部地方環境事務所主催会議のための資料の作成、地方環境事務所との連携、事業及び運営会議における旅費及び謝金の支払い、GEOC/EPO、各地方 EPO との連携、業務については業務報告に記載する。

2. 平成 27 年度業務報告について

(1) 平成 27 年度業務実施計画の作成

目標	中部地域の地域ニーズを踏まえ、協働取組の促進に向けて、平成 27 年度 EPO 中部が担うべき業務の計画を作成する。
業務内容	①中部地域の「協働取組の促進」に関わるステークホルダー(各県環境部局及び協働促進部局、中間支援組織等)をヒアリングし、平成 27 年度担うべき、業務内容及び予算、スケジュール等計画作成する。 ②EPO 中部運営会議にて案を諮り、承認を得る。 ③業務ごとに達成目標や、事業に参加する各主体、評価指標・方法を明確にする。
実施内容	今年度の仕様書に基づき、業務計画書を作成した。作成過程においては、管轄地域のステークホルダーにヒアリング等を行い、地域ニーズを反映させた。EPO 中部上半期運営会議全体会にて承認された。 4月6日(月)7日(火)8日(水)9日(木)14日(火)20日(月)22日(水)23日(木)27日(月)30日(木)業務実施計画案の作成 22日(水)23日(木)24日(金)関係者ヒアリング 28日(火)事業予算書案、スケジュール案、スタッフ体制案作成 5月12日(火)定例会議にて検討、業務実施計画案修正加筆 13日(水)14日(木)業務実施計画案修正加筆 18日(月)運営会議全体会の委員に送付 27日(水)運営会議全体会にて承認
協働パートナー	中部地域の協働に関するステークホルダー、地方環境事務所他
評価指標・方法	指標：環境省及び地域ニーズに基づいた業務計画書を作成したか。 方法：地方事務所及び運営会議での協議での評価
成果・評価	EPO が担うべき業務計画について、運営会議での協議を踏まえ、作成した。運営会議では、運営会議内に設置する組織・体制検討部会と事業検討部会や、今年度新たにスタートする協働コーディネーター事業、ESD ユネスコ世界会議以降の ESD 事業についての意見を多く得た。EPO 中部が協働と ESD に事業を絞り、地域の主体を支える伴走支援、地域の主体形成を後押しする機能を重視していることに評価を得た。

(2) 協働コーディネーターの育成

① 協働コーディネーターの育成等業務

目標	協働取組の実施及び促進には、地域の協働取組をコーディネートする協働コーディネーターの存在が必要である。中部 7 県各地で協働取組を実践している、もしくは実践しようとしている人材(各県 1 名)を対象に、「協働コーディネーターとしての能力向上」、ひいては、情報及びノウハウの蓄積等を可能にする仕組みづくりを行う。各県にて協働コーディネーター及び本事業が活用される方策を検討する。
----	--

<p>業務内容</p>	<p>各県の協働取組施策等の情報を得て、地域事情を考慮した上で、各県 1 名協働コーディネーター候補、及び本事業の対象となる各県で実践されている協働取組を選定する。</p> <p>各県の協働コーディネーター候補は、選定された協働取組の伴走支援を行い、プロセスを可視化し、成果及び課題を把握する。</p> <p>各県協働コーディネーター候補と、各県の協働取組の実態を教材にした研究会を 2 回程度行い、各県の協働取組のプロセスにおける共通項やそれぞれの特色を共有し、協働取組のプロセスデザイン、シナリオ作成のノウハウ交流、事例検証を行う。協働取組を促進するために必要なスキルやエッセンスを抽出する。</p> <p>※今年度のコーディネーター候補の対象は、各県協働取組に携わった経験のある人材とする。</p> <p>①状況把握：各県の協働による取組や人材についてヒアリングする(各県環境部局及び協働関連部局、中間支援組織など)</p> <p>②各県協働コーディネーター及び伴走支援対象となる協働取組の選定、依頼、決定。 各県担当者及び中間支援組織、EPO 中部運営会議委員と協議の上決定する。</p> <p>③第 1 回研究会：伴走する協働取組の特徴や事業目標、方針、内容等についての共有、伴走する際に重要となる視点の検討、協働取組への伴走支援計画の作成検討等を行う。※各県が所有する協働のルールブック、手引きを参考にする。</p> <p>④伴走支援(5 回程度)：伴走支援計画に基づき、協働取組に参加及び取材をし、プロセスデザイン、伴走する際に必要であるとした視点による状況把握、協働による効果やステークホルダーの関係性、抱えている課題等を把握する(5 回程度)。</p> <p>⑤第 2 回研究会：伴走した協働取組の事例報告、関係性の変化、課題の状況など支援内容等を共有し、協働取組を促進するために必要なスキルやエッセンスを抽出する。「協働取組促進のための対話の場づくり(MSH ダイアログ)」で扱う論点整理を行う。</p> <p>【本事業を進める際の重要ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働コーディネータースキルとはどのようなものか ・協働取組促進のための政策はどのようなものか、どのような政策が展開されていてその効果や課題はどのようなものか ・CSR 及びプロボノマッチング等企業が参加している協働取組の成果と課題はどのようなものか ・学校教育及び高等教育機関が参加している協働取組の成果と課題はどのようなものか ・持続可能な地域づくりをけん引している協働取組先進事例との比較研究(共通点と差異、必要なスキルや条件について) 他
<p>実施内容</p>	<p>今期からの新規事業のため、運営会議委員へのアンケート、各県中間支援組織等にヒアリングを行い、中部 7 県の協働取組や協働を担う人材についての情報を得た。併せて中部 7 県の協働取組や協働コーディネーターの実態の把握および協働コーディネーター候補のリストアップを行い、ヒアリングを実施した。今年度の協働コーディネーター 7 名を選定し、各県協働コーディネーターが伴走する協働取組の特徴や事業目標、方針、内容等についてレポートの作成を依頼した。9 月の第 1 回研究会ではレポートをもとに、協働取組の事業内容や現状、抱えている課題及び担っている役割について共有し、学びあう場をつくった。また随時協働コーディネーターの協働取組についてヒアリングを行い、進捗状況の確認と状況共有を行った。12 月には EPO 中部運営会議事業検討部会委員の参加を得て、第 2 回研究会を行った。協働コーディネーターが協働取組の状況やステークホルダーの関係性についてのレポートを作成し、それをもとに意見を交わした。さらに、協働コーディネーターが地域で活躍するための基盤形成についてや、本事業の次年度事業内容について協議をした。これまでの議論の内容を深め、次年度の本事業の展開を協議するため、1 月のマルチステークホルダーダイアログのセッションのテーマに「協働コーディネーター」を位置づけ、協働コーディネータ</p>

ーのほか、コメンテーターが参加し、ランドデザインを描くこと、事業の目的を明確にすること、環境協働のセンスを広めることといった意見が出された。2月には、これまでの会議内容をまとめ、事業検討部会より下半期運営会議にて報告を行い、来年度、合宿のような学び合いの場づくり、協働のプラクティカルトレーニングの実施などの提案を行った。※詳細は添付資料3を参照

■第1回研究会

日時：平成27年9月3日(木)

場所：中部環境パートナーシップオフィス

参加者：14名

■第2回研究会

日時：平成27年12月15日(火)

場所：中部環境パートナーシップオフィス

参加者：17名

【主な業務】

4月6日(月)運営会議委員へのヒアリング準備

7日(火)8日(水)企画書案作成

10日(金)13日(月)中部7県の市民活動センター・中間支援組織の協働取組に関する
情報収集・リスト化

14日(火)15日(水)17日(金)20日(月)21日(火)23日(木)27日(月)30日(木)企
画書案作成

15日(水)21日(火)22日(水)24日(金)関係者ヒアリング

17日(金)20日(月)22日(水)23日(木)28日(火)情報収集

5月7日(木)20日(水)27日(水)28日(木)29日(金)協働コーディネーター及び協働取組に
関する資料・情報収集

12日(火)13日(水)18日(月)企画書案の作成

21日(木)石川県協働コーディネーター候補ヒアリング

27日(水)運営会議全体会にて本事業の目的、内容等について意見交換

6月1日(月)2日(火)協働取組に関する候補者、候補取組リスト作成

3日(水)事業調査、各県ヒアリング、協働コーディネーター候補者訪問・打診

4日(木)資料収集、協働コーディネーター候補者(寺田氏)ヒアリング等

5日(金)協働コーディネーター候補者打合せ日程調整及び打合せ内容まとめ、企画つめ、
協働事業情報収集

8日(月)コーディネーターに関する情報収集

10日(水)協働コーディネーター及び事例の収集、研究会日程調整

11日(木)コーディネーター候補リストアップ、未決定県ステークホルダーヒアリング

15日(月)コーディネーターに関する情報の収集、ヒアリング日程の調整

16日(火)情報収集、候補者との打合せのための資料作成等

17日(水)打合せ(泉京・垂井神田氏、NPO法人森と水辺の技術研究会野村氏)

	<p>18 日(木)打合せ記録作成(泉京・垂井神田、NPO 法人森と水辺の技術研究会野村氏)、協働取組候補リスト更新</p> <p>19 日(金)長野県環境保全協会、株式会社ミールケア訪問日程調整、協働コーディネーター候補者訪問日程調整</p> <p>22 日(月)第 1 回研究会日程調整、株式会社ミールケアヒアリング準備、富山県・福井県・愛知県の協働コーディネーター及び事例の収集・検討</p> <p>23 日(火)第 1 回研究会日程調整・資料作成、コーディネーター候補との調整打合せ準備</p> <p>24 日(水)第 1 回研究会資料作成等準備</p> <p>25 日(木)長野県打合せ(長野県、長野県環境保全協会、株式会社ミールケア)、企画書修正作業</p> <p>26 日(金)第 1 回研究会日程調整、協働コーディネーター候補者リスト更新、協働コーディネーター研修企画書修正、協働取組リスト更新</p> <p>7 月 2 日(木)富山コーディネーター候補打合せに関する準備</p> <p>3 日(金)福井県コーディネーター候補打合せに関する準備</p> <p>6 日(月)福井県協働コーディネーター打合せ・調整(エコプランふくい、株式会社 BOGA)・情報収集</p> <p>7 日(火)富山県協働コーディネーター打合せ資料準備、協働コーディネーター候補(愛知)についての打合せ</p> <p>8 日(水)富山県協働コーディネーター打合せ・調整(氷見市役所・運営委員本田氏・富山県・ティー・ツリー・コミュニケーションズ)・情報収集</p> <p>9 日(木)コーディネーターリスト作成</p> <p>15 日(水)協働コーディネーター候補との打合せ、企画書作成</p> <p>21 日(火)企画書作成</p> <p>23 日(木)スケジュール案作成</p> <p>28 日(火)スタッフ打合せ</p> <p>30 日(木)最終企画書作成、協働コーディネーターとの調整、資料作成</p> <p>31 日(金)協働コーディネーター研究会の資料作成</p> <p>8 月 6 日(木)資料作成</p> <p>17 日(月) 18 日(火) 19 日(水)第 1 回研究会資料作成</p> <p>20 日(木)協働コーディネーター資料作成</p> <p>21 日(金)24 日(月)案内文書・依頼文書作成及び修正・発送、資料の取り寄せ</p> <p>25 日(火)協働取組情報提供シート作成、資料の取り寄せ</p> <p>28 日(金)31 日(月)第 1 回研究会資料作成・準備</p> <p>9 月 1 日(火)2 日(水)第 1 回研究会資料準備</p> <p>3 日(木)第 1 回研究会資料作成、準備、実施</p> <p>4 日(金)今後のスケジュール、シート作成、名刺等関連書類作成、議事録作成</p> <p>7 日(月)名刺作成</p>
--	---

	<p>8日(火)経費及びレポートに関する書類作成、議事録作成 9日(水)議事録作成、コーディネーターとの打合せ 11日(金)14日(月)議事録作成 16日(水)協働コーディネーターとの打合せ 18日(金)24日(木)議事録作成、協働コーディネーターとの打合せ 25日(金)議事録編集、協働コーディネーター打合せ、打合せ日程調整 28日(月)議事録編集、まとめ作業、協働コーディネーターへの連絡 29日(火)協働コーディネーターとの打合せ 30日(水)協働コーディネーターとの打合せ資料作成</p> <p>10月1日(木)議事録編集作業 2日(金)協働コーディネーターに問合せ、第1回研究会議事録修正、協働コーディネーターヒアリング(石川県) 5日(月)第1回研究会議事録修正、協働コーディネーターヒアリング、レポート項目の作成 6日(火)協働コーディネーターヒアリング(富山) 8日(木)協働コーディネーターヒアリング(愛知) 9日(金)ヒアリング内容まとめ、レポート項目の作成 14日(水)協働コーディネーターとの打合せ 15日(木)第1回研究会議事録修正の問合せ 16日(金)協働コーディネーターヒアリング及び打合せ 19日(月)コーディネーターに資料問合せ 20日(火)協働コーディネーターヒアリング(三重) 21日(水)コーディネーターに資料送付及び打合せ 22日(木)名刺作成 23日(金)協働コーディネーターに問合せ 27日(火)第1回研究会記録編集、レポート作成のための説明等作業 29日(木)協働コーディネーターヒアリング打合せ(福井) 30日(金)議事録最終確認、協働コーディネーターヒアリング(岐阜)</p> <p>11月5日(木)協働レポート執筆依頼 6日(金)9日(月)24日(火)25日(水)第2回協働コーディネーター研究会資料作成 10日(火)次回研究会について調整 16日(月)コーディネーターとの調整作業 27日(金)寺田氏打合せ、第2回研究会シナリオ作成 30日(月)資料作成、協働コーディネーターとの調整、レポート編集作業など</p> <p>12月1日(火)2日(水)3日(木)9日(水)11日(金)第2回協働コーディネーター研究会資料作成・案内発送 10日(木)コーディネーターと打合せ 14日(月)15日(火)第2回協働コーディネーター研究会準備</p>
--	--

	<p>15日(火)第2回協働コーディネーター研究会開催 15日(火)16日(水)21日(月)22日(火)24日(木)第2回協働コーディネーター研究会 議事録作成</p> <p>1月15日(金)協働取組加速化事業意見交換会への参加依頼、議事録修正 14日(木)18日(月)19日(火)20日(水)21日(木)MSHダイアログセッション1資料作 成・企画詳細打合せ・説明・資料作成等</p> <p>22日(金)MSHダイアログセッション1企画実施 26日(火)27日(水)2月12日(金)議事録修正</p> <p>3月1日(火)2日(水)4日(金)7日(月)8日(火)9日(水)10日(木)14日(月)15日 (火)16日(水)17日(木)18日(金)報告書作成・修正・確認</p> <p>10日(木)15日(火)協働コーディネーターとの打合せ 11日(金)17日(木)第2回研究会議事録作成・確認</p>
協働 パートナー	協働に関する有識者、各県の間接支援組織、環境学習施設、各県協働及び環境関連部局等。採 択事業団体及び各事業のステークホルダー、地方環境事務所他
評価指標・ 方法	<p>指標：中部7県に協働コーディネーター1名が育成されたか。 中部7県の協働取組の実態の把握、可視化されたか。 協働コーディネーター育成のための、OJTを活用したカリキュラムができたか。 各県と協働コーディネーター及び本事業の活用を検討できたか。</p> <p>方法：協働コーディネーターによる自己評価とアドバイザーによる外部評価</p>
成果・評価	<p>各県1名協働コーディネーターを輩出し、協働コーディネーターがもつ協働取組から、その必要性や 役割、スキル、資質を抽出し、基礎知識（地域のお作法）を得るマニュアルと現場でのトレーニ ングを重ねたカリキュラムの作成を次年度行うこととした。また、協働コーディネーターが将来活躍でき る基盤、仕組みづくりについて議論を行うことができた。中部7県各地で協働取組を実践してい る、もしくは実践しようとしている人材(各県1名)を対象に、「協働コーディネーターとしての能力向 上」、ひいては、情報及びノウハウの蓄積等を可能にする仕組みづくりを検討した。</p> <p>協働コーディネーターのこの事業に対するふりかえりから、「2回の研究会で得るものが多くあったが、 回数的には満足とは言えない」「今後も研究会を続けてほしい」「EPO 中部の協働事業をやりたい」「協働 コーディネーター全員で一つのプロジェクトを実施したい」「今まで協働コーディネーターは 体系化されず、個別の技術、技能で終わってしまっている。それを体系化することは意味がある。特 に環境分野では、いろいろな人達と意見を調整する必要がある。協働コーディネーターが存在する メリットが明確に示されると実現に近づく」といった評価を得ることができた。</p> <p>第2回研究会に参加した事業検討部会委員からは、「現場でしか人は育たない。今年度の協働 コーディネーターが、コーディネーターの資質があって成果を出しつつある地域で頑張っている人材の スキルアップを支援していくしくみやプログラムをつくる」「今年度の協働コーディネーターは十分にキャ リアを積んでいる方であったため、次年度は、若者に寄り添って伴走する役割を果たしてほしい」「こ れまでは、協働コーディネーターの『役割』『育成』に力点が置かれていたが今後は、人件費を伴う 具体的な活躍の場を明確にすることが必要だろう」「次年度育成事業を検討する中で育成過程</p>

のプロセスの設計と一回ずつ丁寧なプログラムをつくってほしい」といった評価及び提案を得た。

② 協働取組促進のための対話の場づくり業務

<p>目標</p>	<p>協働取組促進の鍵となり得る各主体による対話の場を設け、協働コーディネーター候補等から把握した協働取組を促進するための「協働コーディネーターの必要性」「協働取組促進のためのエッセンス」を共有し、地域ニーズに対応する支援施策について検討する。</p>
<p>業務内容</p>	<p>協働コーディネーター育成事業及び協働取組加速化事業の成果、課題を共有し、協働コーディネーターの活用及びスキルアップ、各県が担う役割、EPO 中部が担うべき支援施策について意見を交わす。</p> <p>■ 企画内容 日時：平成 28 年 1 月 22 日(金) 場所：ウインクあいち会議室 対象：50 名 内容：3 分科会を実施 分科会 1：協働コーディネーター研修の報告及び成果課題の検証 ・コーディネーターの役割、スキル検討 ・協働取組事例を対象に新たなシナリオ、シミュレーションの検討 分科会 2：協働取組の評価及び可視化手法 ・協働取組がもたらす効果の見える化 ・協働取組による持続可能な社会づくりへの貢献度 ・公共性及び経済性指標の検証 ・協働取組促進のためのガバナンス機能の検討 分科会 3：ESD が地域に根付くための地域主体基盤の形成 ※各分科会にゲスト及び各地域のステークホルダーを招き、有識者を交えての参加型ダイアログを行う。ゲスト等については、協働コーディネーターと検討の上、決定する。</p>
<p>実施内容</p>	<p>今年度の会議設計とゲストのリストアップ作業を 9 月から始め、今回は分科会のテーマを「協働コーディネーター」「中間支援組織」「新たな公共をつくる人材の育成」とし、各テーマにおけるゲスト及びステークホルダーの検討、候補者には適宜説明およびヒアリングを行った。調整に時間を要したが、32 名のステークホルダーに依頼することができた。チラシの作成および広報を行った。ゲスト及びステークホルダーには会議内容を掲載した資料を送付し、会議趣旨、議論の内容を電話等で説明した。会議後は、参加者のアンケートを含めた報告書を作成した。※詳細は添付資料 4 を参照。</p> <p>タイトル：マルチステークホルダーダイアログ 2015「地域に必要なファクター 3」 日時：1 月 22 日（金）13:00～16:30（開場 12:30） 場所：愛知県産業労働センター(ウインクあいち)会議室 1002・1004・1005 対象：NPO、自治体、企業、中間支援組織、環境学習情報センターなどの方 参加者：51 名 〈プログラム内容〉 ■プレゼンテーション「環境協働をデザインする～地域と市民の自治のために」</p>

講師：谷内 博史氏（氷見市役所市長政策・都市経営戦略部 地方創生と自治への未来対話推進課副主幹 市民協働・ファシリテーション・地域おこし総括担当）

■テーマ別ステークホルダーダイアログ

セッション1「協働コーディネーター」になる

出演者 12名 参加者 4名

セッション2 これからの「中間支援」

出演者 10名 参加者 4名

セッション3「新たな公共をつくる人」を育む

出演者 11名 参加者 3名

■全体会

【主な業務】

9月25日(金)ゲスト案作成調整

28日(月)ゲストリストアップ、調整、企画書作成作業

30日(水)ゲスト調整、企画書作成

10月5日(月)7日(水)9日(金)14日(水)16日(金)20日(火)21日(水)26日(月)27日(火)30日(金)企画書作成、ゲスト調整・依頼、チラシ案作成

11月9日(月)10日(火)11日(水)12日(木)16日(月)17日(火)19日(木)24日(火)26日(木)27日(金)30日(月)企画書作成、ゲスト調整・依頼・打ち合せ、資料作成・送付、チラシ作成

12月1日(火)3日(木)4日(金)7日(月)8日(火)9日(水)10日(木)11日(金)14日(月)15日(火)17日(木)18日(金)21日(月)22日(火)24日(木)25日(金)28日(月)MSHダイアログ出演者依頼、資料・企画書作成、打合せ・打合せ記録作成、チラシ作成

11日(金)長野 NPO センターとの打合せ

16日(水)17日(木)28日(月)MSHダイアログ出演依頼文書作成

24日(木)ゲスト及びステークホルダー打合せ

1月4日(月)5日(火)6日(水)7日(木)12日(火)13日(水)14日(木)15日(金)18日(月)19日(火)20日(水)21日(木)

MSHダイアログチラシ作成・ゲスト調整・打合せ・資料作成・各セッションシナリオ作成・準備

8日(金)MSHダイアログセッション3コーディネーター打合せ

22日(金)MSHダイアログ準備・開催・ゲスト打合せ

27日(水)28日(木)MSHダイアログアンケート集計

29日(金)報告書作成

2月1日(月)2日(火)12日(金)15日(月)16日(火)報告書作成

3月2日(水)3日(木)4日(金)7日(月)8日(火)9日(水)10日(木)11日(金)14日(月)15日(火)16日(水)17日(木)18日(金)報告書作成・修正・確認

14日(月)15日(火)MSHダイアログゲスト打合せ

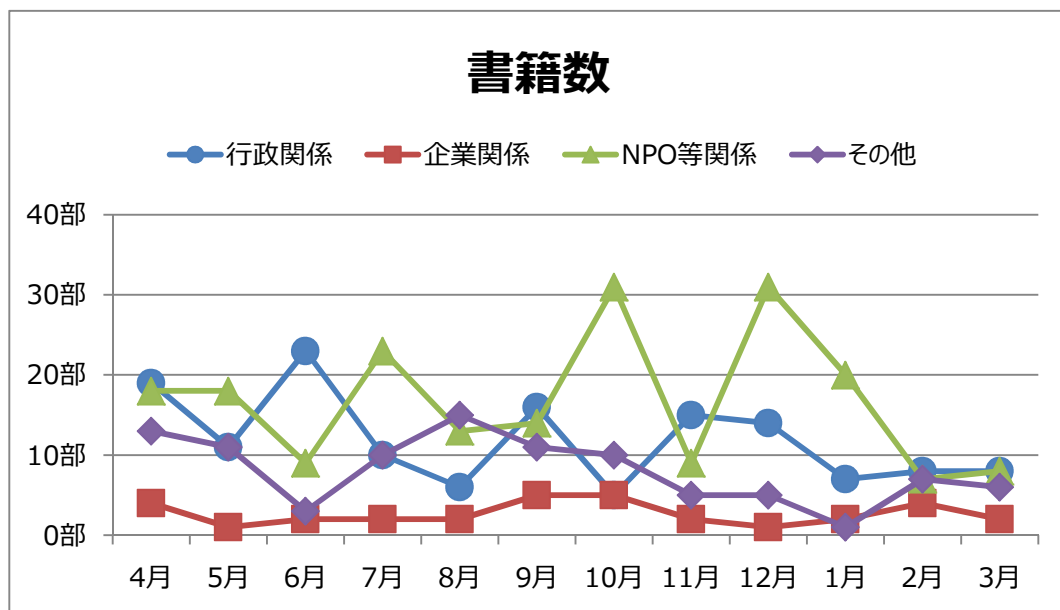
協働 パートナー	協働に関する有識者、各県の中間支援組織、環境学習施設、各県協働及び環境関連部局等。採択事業団体及び各事業のステークホルダー、地方環境事務所他
評価指標・ 方法	<p>指標：中部 7 県における「協働取組」を促進するためのニーズ、シーズ、次年度事業改善のための方策を把握できたか。 協働取組みの支援方策(指標及び支援ツール)の有効性を図れたか。</p> <p>方法：出席者へのアンケート</p>
成果・評価	<p>氷見市で市民自治、地域協働に取り組んでいるゲストから、今回設定した 3 つのセッションに共通項「地域に必要なファクター」を意識化するプレゼンテーションがあった。セッション 1 では、今年度から始めた協働コーディネーター育成事業について議論を深め、次年度事業へのヒントを得ることができた。セッション 2 では、中部 7 県の中間支援組織のスタッフと今後担うべき中間支援の役割について協議した。セッション 3 では、ESD を捉え直し、新たな公共をつくる人の育成をテーマに議論を行った。全体を通して、中部 7 県のマルチステークホルダーと、持続可能な地域づくりに必要な 3 つのファクターの重要性を共有することができ、協働取組促進の鍵となり得る各主体による対話の場を設け、「協働コーディネーターの必要性」「協働取組促進のための重要方策」を共有し、地域ニーズに対応する支援施策について検討することができた。</p> <p>アンケート回答数 35 名のうち、20～30 代が 11 名と 33%を占めた。参加者のアンケートによると、74%の参加者が「参加してよかった（「とてもよかった」を含む）、80%の参加者が「参加したセッションにおいて気づきがあった（「とてもあった」を含む）」と回答した。コメントとして、「たくさんの方と出会う機会を得、それぞれの活動からヒントを得られた」「良い出会いと交流が生まれました」「ふだんはご一緒しない方々との交流だからこそのいい気づきをいただきました」「もっと長い時間議論を聞きたかった」等を得た。「プログラムが多すぎる」「時間が少ない」「もっと掘り下げて話をききたかった」というマイナス意見もあり、今後の改善点とする。</p>

(3) 情報の収集・蓄積・発信に関する業務

① 情報の収集・蓄積、② ホームページの維持管理、③ メールマガジンによる情報の発信

目標	地域における協働取組の促進を図るため、環境保全、協働の推進等に資する情報を収集・蓄積し、活用されるように発信する。																																										
業務内容	<p>①情報の収集・蓄積 事業の実施や Web サイト等を通じて、環境保全や協働取組促進のための情報等を収集し、活用できるよう整理・蓄積する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各県、基礎自治体、中間支援団体の協力を得て、中部 7 県で取り組まれている協働取組を収集する。また、コンサルティングにより得た情報を可視化し、協働促進のためのリソースとして蓄積し情報提供する。 ・自治体の各種審議会等に参画し、協働政策の実態についての情報収集・提供を行い、収集した情報は蓄積する。 ・講座・ワークショップの支援等を行う際に、協働取組事例の紹介や協働取組に関する意見収集を行い、得た情報を可視化する。 ・EPO 中部の理念や事業方針、関わっている協働事業のプロセス・成果等を可視化し、情報提供する。全国各地の EPO の情報も可能な範囲で情報提供する。環境省及び中部地方環境事務所の協働取組に関する情報提供を行う。 <p>②ホームページの維持管理 Web サイトを通じて環境保全や協働取組の促進につながる情報を発信する。不要となった情報は速やかに削除し、環境保全及び協働取組の促進につながる地域の多様な主体からの情報提供や EPO 中部主催の事業の広報及びレポートの掲載などを行うため、ホームページの更新は、原則月 2 回以上行う。ホームページのレイアウトなどは提供する情報に併せて適宜変更し、来訪者にわかりやすく掲載する。</p> <p>③メールマガジンによる情報の発信 環境保全及び協働取組の促進につながる地域の多様な主体からの情報提供や、環境省、中部地方環境事務所、EPO 中部の事業に関する情報発信のため、メールマガジンを毎月 1 回(第 2 火曜日)作成・発行する。</p>																																										
実施内容	<p>ホームページ（以下 HP）及びメールマガジン(以下メルマガ)での発信、施設での情報収集・提供、施設内の情報整理・蓄積など基本的な業務は実施した。</p> <p>ア 情報の収集・蓄積 情報収集数は合計 472 件、前年比 83%であり、設定した目標数 590 件を達成することができなかった。(3月18日時点)</p> <table border="1" data-bbox="354 1697 1311 1998"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政関係(部)</td> <td>19</td> <td>11</td> <td>23</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>企業関係(部)</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>NPO等関係(部)</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>9</td> <td>23</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>その他(部)</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>合計(件)</td> <td>54</td> <td>41</td> <td>37</td> <td>45</td> <td>36</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	行政関係(部)	19	11	23	10	6	16	企業関係(部)	4	1	2	2	2	5	NPO等関係(部)	18	18	9	23	13	14	その他(部)	13	11	3	10	15	11	合計(件)	54	41	37	45	36	46
項目(単位)	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																					
行政関係(部)	19	11	23	10	6	16																																					
企業関係(部)	4	1	2	2	2	5																																					
NPO等関係(部)	18	18	9	23	13	14																																					
その他(部)	13	11	3	10	15	11																																					
合計(件)	54	41	37	45	36	46																																					

書籍など	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
行政関係(部)	5	15	14	7	8	8	142
企業関係(部)	5	2	1	2	4	2	32
NPO等関係(部)	31	9	31	20	7	8	201
その他(部)	10	5	5	1	7	6	97
合計(件)	51	31	51	30	26	24	472



[資料入力・整理]

- 4月(11回) : 2日(木)3日(金)6日(月)7日(火)8日(水)9日(木)21日(火)22日(水)
23日(木)30日(木)
- 5月(5回) : 12日(火)18日(月)21日(木)27日(水)29日(金)
- 6月(6回) : 1日(月)3日(水)11日(木)17日(水)23日(火)29日(月)
- 7月(5回) : 8日(水)9日(木)15日(水)21日(火)29日(水)
- 8月(3回) : 5日(水)10日(月)20日(木)
- 9月(3回) : 14日(月)24日(木)30日(水)
- 10月(5回) : 1日(木)14日(水)15日(木)20日(火)26日(月)
- 11月(4回) : 11日(水)18日(水)20日(金)30日(月)
- 12月(4回) : 2日(水)16日(水)17日(木)24日(木)
- 1月(4回) : 13日(水)15日(金)21日(木)28日(木)
- 2月(5回) : 2日(火)12日(金)17日(水)25日(木)29日(月)
- 3月(3回) : 9日(水)11日(金)16日(水)

[他]

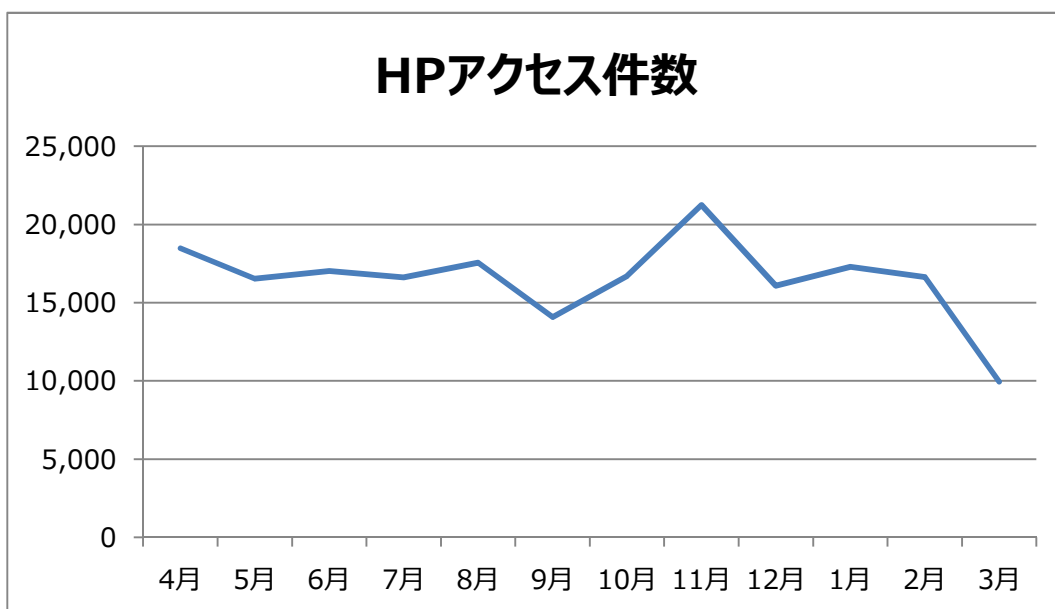
7月17日(金)21日(火)市町村環境窓口調査

8月17日(月)中部地域のESDを実践する社会教育施設のリスト作成

イ ホームページの維持管理

ホームページアクセス数は合計198,186件、前年比83%であり、設定した目標数245,000件を達成しなかった。(平成28年3月18日現在)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
18,478	16,532	17,016	16,619	17,551	14,085
10月	11月	12月	1月	2月	3月
16,707	21,246	16,080	17,292	16,641	9,939
合計					198,186



[HP更新作業]

4月(3回):7日(火)14日(火)22日(水)

5月(4回):7日(木)18日(月)22日(金)27日(水)

6月(5回):1日(月)8日(月)11日(木)18日(木)22日(月)

7月(6回):1日(水)3日(金)6日(月)10日(金)17日(金)27日(月)

8月(8回):3日(月)6日(木)7日(金)20日(木)21日(金)24日(月)25日(火)28日(金)

9月(10回):3日(木)4日(金)7日(月)8日(火)11日(金)14日(月)15日(火)24日(木)25日(金)29日(火)

10月(7回):1日(木)5日(月)8日(木)14日(水)16日(金)23日(金)29日(木)

11月(7回):2日(月)5日(木)6日(金)9日(月)16日(月)24日(火)26日(木)

12月(5回) : 1日(火)10日(木)14日(月)18日(金)24日(木)
1月(11回) : 4日(月)7日(木)8日(金)12日(火)14日(木)15日(金)20日(水)
21日(木)26日(火)27日(水)28日(木)
2月(7回) : 1日(月)8日(月)10日(水)15日(月)23日(火)26日(金)29日(月)
3月(4回) : 1日(火)3日(木)4日(金)17日(木)

ウ メールマガジンによる情報の発信

毎月1回また、臨時号を2回発行をした。登録数については設定した目標数を達成した。

発行日 : 平成27年4月14日 第70号

発行日 : 平成27年5月12日 第71号

発行日 : 平成27年6月9日 第72号

発行日 : 平成27年7月14日 第73号

発行日 : 平成27年8月11日 第74号

発行日 : 平成27年9月8日 第75号

発行日 : 平成27年10月13日 第76号

発行日 : 平成27年11月10日 第77号

発行日 : 平成27年11月27日 臨時号

発行日 : 平成27年12月8日 第78号

発行日 : 平成28年1月12日 第79号

発行日 : 平成28年2月9日 第80号

発行日 : 平成28年3月1日 臨時号

発行日 : 平成28年3月8日 第81号

登録者数 : 764部(3月発行時点)

[メルマガ原稿作成]

4月(5回) : 8日(水)9日(木)14日(火)28日(火) 30日(木)

5月(7回) : 7日(木)11日(月)12日(火)15日(金)25日(月)27日(水)28日(木)

6月(6回) : 1日(月)3日(水)4日(木)5日(金)9日(火)23日(火)

7月(5回) : 3日(金)9日(木)13日(月)14日(火)29日(水)

8月(6回) : 3日(月)5日(水)6日(木)7日(金)10日(月)11日(火)

9月(6回) : 3日(木)4日(金)7日(月)8日(火)9日(水)15日(火)

10月(4回) : 1日(木)5日(月)9日(金)13日(火)

11月(11回) : 4日(水)5日(木)6日(金)9日(月)10日(火)16日(月)20日(金)

24日(火)25日(水)26日(木)27日(金)

12月(6回) : 2日(水)3日(木)4日(金)7日(月)8日(火)28日(月)

1月(5回) : 5日(火)7日(木)8日(金)12日(火)19日(火)

2月(6回) : 2日(火)5日(金)8日(月)9日(火)26日(金)29日(月)

3月(3回) : 3日(木)4日(金)7日(月)

協働 パートナー	主に協働取組(パートナーシップ)、ESDに取り組む、又は取り組もうとする主体、協働事業を実施している主体等
評価指標・ 方法	指標(目標)：情報収集件数：590件(昨年度 571件) ホームページアクセス数：245,000件(昨年度 239,960件) メルマガ登録数：750部(昨年度 724部) 方法：情報収集件数、ホームページアクセス数、メルマガ利用者数の把握
成果・評価	地域における協働取組の促進を図るため、環境保全、協働の推進等に資する情報を収集・蓄積し、活用されるように発信した。メルマガジンの登録数は、目標設定 750部に対して、763部となり、昨年度より 41部も登録者が増え、目標を達成することができた。一方、情報収集件数は、昨年度 571件に対して、472件と 17%減、ホームページアクセス数は昨年度 239,960件に対して 198,186件と 17%減であった。情報収集件数、HP アクセスがかなり減少していることが緊急の課題である。対象をセグメントしての情報収集や情報媒体の改善などアグレッシブな取組ができておらず、本地域での協働取組の促進のための情報基盤の改善が必須である。※3月18時点

④ 協働取組促進のための情報戦略の検討

目標	地域における協働取組の促進を図るために、地域の多様なステークホルダーが活用しやすく分かりやすい情報媒体を作成するための検討を行う。
業務内容	<p>EPO 中部スタッフ内で情報戦略チームを組み、外部の専門家を招き、地域における協働による取組が促進するために、協働取組の成果や効果を分かりやすく、活用できる情報媒体について検討する。</p> <p>現状において EPO 中部の主な情報の発信は、WEB、冊子、口頭での説明にて行われている。また、協働取組の時間軸での変化やステークホルダーの関係性を図式化し、個別の協働取組の特徴や成果・効果、課題を発信している。さらに、地域のステークホルダーにとって利用価値のある情報を提供するために、情報媒体や情報内容等についての情報戦略を企てる。</p> <p>■ 検討方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部に情報担当者を置き、情報担当者会議を行い、EPO 中部の現在の情報収集・発信における課題抽出及び評価、今後の情報に関する方針案を作成する。 ・他の EPO や協働をテーマに事業展開をしている中間支援組織や NPO センター等の紙媒体や WEB をチェックし、参考になりそうな媒体を収集する。 ・主に情報媒体制作や情報の可視化の専門家を対象にヒアリングを行い、利用価値のある、利用しやすい情報媒体、発信方法について助言を得る(ヒアリング対象者は 5 名程度で回数は 1 回程度)。 <p>■ 検討及びヒアリング事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働取組を分かりやすく、参考にしやすくするための可視化の方法について ・協働取組を促進するための「情報発信」のあり方について (誰に(から)、どのような内容の情報をどのような手段で届けるか(入手するか)、可視化するかなど全体の情報機能デザインについて) ・双方向の機能を持ち、情報収集・発信を図れる機能、媒体について 他
実施内容	EPO 中部内に情報戦略チームを設置し、担当スタッフを配置し、今後の EPO 中部の情報のありかたや情報媒体を検討するにあたり、情報に関する専門家にヒアリングをした。 [情報戦略ヒアリング]

	<p>他地域の市民活動センターや中間支援組織が発行するパンフレットを参考に、協働コーディネーター事業における情報の蓄積・発信体制について検討を行った。EPO の情報発信のあり方を検討するため、有識者 4 名へのヒアリングを実施した。HP のアクセス数が減少していることや、HP に掲載している情報の読みづらさなど、抱えている課題についてアドバイスをいただき、HP のシステム、構成、コンテンツの改善について提案、紙媒体での情報発信の有効性についての提案を得た。EPO 内部で情報戦略会議を行い、Web の改善、紙媒体での情報発信についての次年度の計画案を作成し、次年度事業への位置づけを検討することとしている。</p> <p>〈主な事業内容〉</p> <p>4 月 30 日(木)情報蓄積・発信体制について打合せ</p> <p>5 月 18 日(月)専門家ヒアリング(案)作成</p> <p>7 月 24 日(金)藤岡博孝氏(フジオカヒロタカデザイン事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現状の HP の問題点整理と、WordPress を活用した WEB での情報発信と管理体制について <p>9 月 8 日(火)関口威人氏(環境情報誌 Risa 編集長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●紙媒体による情報発信の内容や対象と編集体制について <p>11 月 30 日(月)内藤大輔氏(ユニコラボ代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●WEB での情報発信を行うために適した HP の設計・管理方法、ニーズを分析するためのアクセス解析について、また HP への事業・イベント開催報告記事の投稿についての外部・内部作業について <p>12 月 24 日(木)加藤美奈氏(株式会社 Comodo Labo)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●紙媒体と Web での情報発信の使い分け、相互の特性を生かした活用方法や SNS との連携について <p>1 月 7 日(木)8 日(金)14 日(木)15 日(金)22 日(金)25 日(月)2 月 4 日(木)5 日(金)8 日(月)情報戦略ヒアリングまとめ</p> <p>[HP の改善]</p> <p>EPO 中部 HP での情報発信体制を検討し、トップページの「今後の予定」欄がイベントの日付順に並ぶよう改修し、「スタッフひとこと」欄を 5 月から更新することとした。</p> <p>5 月 13 日(水)・14 日(木) HP 変更見積依頼 (案) 作成等の業務</p> <p>2 月 15 日(月)HP 改善に関する打合せ</p>
協働パートナー	IT 関連の中間支援組織、ライター、協働コーディネーター、各県中間支援組織及び自治体、企業の環境部及び CSR 担当部局、WEB・メルマガ製作スタッフ等
評価指標・方法	<p>指標：協働取組の促進につながる、活用しやすい情報の提供方法を検討することができたか ヒアリングをしたステークホルダーの意見は反映できているか</p> <p>方法：ヒアリング対象者によるヒアリングまたはアンケート評価</p>
成果・評価	<p>地域における協働取組の促進を図るために、4 名の情報に関する専門家のヒアリングを行い、地域の多様なステークホルダーが活用しやすく分かりやすい情報媒体を作成するための検討を行った。HP に関しては 2 名の方にヒアリングをし、WEB 媒体については、「HP はワードプレスで作り直しを</p>

	<p>した方がよい」「HP のコンテンツの組み立て直し、事業ごとにページを変える・分割するなどしたほうがよい」「取材と記事執筆、リライトをする担当者を設けたほうがよい」といった指摘を受けた。紙媒体については、「あったほうがよい」「雑誌的なものがよい」「テーマは 1 年分決定しておく」とよい」「紙媒体と WEB 媒体」をうまく使い分けるとよい」といった提案をいただいた。ヒアリングを踏まえて、次年度の情報発信体制の整備に向けて予算も含めた提案書の作成し、下半期運営会議で図った。</p>
--	---

(4) 協働取組促進のための体制の構築及び助言等の実施

① 照会・相談等への対応

目標	地域の協働取組が促進するための支援が効果的なものとなるよう、プロセスマネージャー、協働コーディネーターを配置し、協働取組に関する事例や情報の紹介、コンサルティングを行う。さらに、知見の蓄積や関係者との連携を強化する。						
業務内容	プロセスマネージャーや協働コーディネーターが、環境保全活動や協働取組等に関する相談に応じ、必要な助言及び情報提供を行う。公共性及び経済性指標を用いて事業の目標や現状(課題解決策の効果やステークホルダーの関係性等)を把握し、相談内容及び対応内容について記録を残す。						
実施内容	<p>今年度多かった相談内容は、NPO・市民活動団体、地域活動に関する内容である。次に ESD、自治体関連の相談が多い。次年度開催される伊勢志摩サミットに関する相談が増えている。</p> <p>3月18日時点。</p> <p>〈主な内容〉</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">テーマ</th> <th>相談内容(括弧内は件数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境教育(学習) 8件</td> <td> ユニー(株)提供インタープリター養成講座の企画について 総合学習で地球温暖化を調べている高校生からの相談 四日市公害と環境未来館での講演について 環境教育プログラム開発に関する人材の紹介について 河川環境教育活動について 環境教育プログラム開発の講師紹介について 教職員向け環境教育の研修について 木曾岬メガソーラーについて </td> </tr> <tr> <td>ESD 27件</td> <td> 桑・養蚕をテーマにした ESD 授業のつくりかたについて 名古屋市港防災センターの ESD 企画展広報について 自己肯定感を育む教育について (2) 東日本大震災の被災体験者の語り部と ESD の大切さを考える事業について (2) 持続可能なあいちの担い手育成事業のファシリテーターについて (2) 学校での ESD について 東海北陸地域ユネスコスクール交流会について </td> </tr> </tbody> </table>	テーマ	相談内容(括弧内は件数)	環境教育(学習) 8件	ユニー(株)提供インタープリター養成講座の企画について 総合学習で地球温暖化を調べている高校生からの相談 四日市公害と環境未来館での講演について 環境教育プログラム開発に関する人材の紹介について 河川環境教育活動について 環境教育プログラム開発の講師紹介について 教職員向け環境教育の研修について 木曾岬メガソーラーについて	ESD 27件	桑・養蚕をテーマにした ESD 授業のつくりかたについて 名古屋市港防災センターの ESD 企画展広報について 自己肯定感を育む教育について (2) 東日本大震災の被災体験者の語り部と ESD の大切さを考える事業について (2) 持続可能なあいちの担い手育成事業のファシリテーターについて (2) 学校での ESD について 東海北陸地域ユネスコスクール交流会について
テーマ	相談内容(括弧内は件数)						
環境教育(学習) 8件	ユニー(株)提供インタープリター養成講座の企画について 総合学習で地球温暖化を調べている高校生からの相談 四日市公害と環境未来館での講演について 環境教育プログラム開発に関する人材の紹介について 河川環境教育活動について 環境教育プログラム開発の講師紹介について 教職員向け環境教育の研修について 木曾岬メガソーラーについて						
ESD 27件	桑・養蚕をテーマにした ESD 授業のつくりかたについて 名古屋市港防災センターの ESD 企画展広報について 自己肯定感を育む教育について (2) 東日本大震災の被災体験者の語り部と ESD の大切さを考える事業について (2) 持続可能なあいちの担い手育成事業のファシリテーターについて (2) 学校での ESD について 東海北陸地域ユネスコスクール交流会について						

		<p>豊橋中央高校での ESD 講演について</p> <p>ESD 取組を実践する中部地域の社会教育施設について</p> <p>名張市教育委員会学校・園教育研究集会講師について</p> <p>三重県環境学習情報センターESD 講座講師依頼について</p> <p>四日市青年会議所 ESD に関する勉強会企画について</p> <p>愛知県板山小学校 40 周年記念よもぎまつり講演依頼について</p> <p>環境省カリキュラムデザイン研修(検討会委員及び講師)依頼について</p> <p>薦原小学校の ESD の取組に関する三重県みどり共生推進課への原稿について</p> <p>桑の葉を使った ESD 学習について</p> <p>ESD 支援センターについて</p> <p>全国ユース環境活動発表大会の審査について</p> <p>小売店の ESD 展開について</p> <p>ESD 人材育成事業紹介者について</p> <p>長野県のユネスコスクールについて</p> <p>長野における ESD を進めるための意見交換会について</p> <p>ESD 研修会について</p> <p>RCE の規約について</p>
	<p>生物多様性 9 件</p>	<p>地域性苗木を大名古屋ビルに植樹する件について (4)</p> <p>生物多様性についての会議に関わるメディア関係者について</p> <p>三重生物多様性プランのコラム・活動事例について</p> <p>にじゅうまるプロジェクトに関する情報提供について</p> <p>にじゅうまるプロジェクト事業の企画について</p> <p>(フェアトレードマップ) 川のマップ作りをしている団体の紹介</p>
	<p>気候変動 9 件</p>	<p>次年度のカーボン・オフセット事業について</p> <p>カーボン・オフセット商品開発説明会の広報について</p> <p>カーボン・オフセット勉強会について</p> <p>カーボン・オフセット商品について</p> <p>低炭素社会づくりフォーラム企画について</p> <p>カーボン・オフセット商品について</p> <p>ペレットストーブの普及について</p> <p>うちエコ診断の周知について</p> <p>カーボン・オフセットのイベント出演者の紹介について</p>
	<p>自治体関連 27 件</p>	<p>四日市市の自然環境に関する施策について</p> <p>愛知県教育委員会青年講座について</p> <p>四日市環境フェアについて (2)</p>

		<p>鶴舞公園に関する有識者会議について みえ森と緑の県民評価委員会について 三重県生物多様性戦略改訂について 名古屋市公園管理プロポーサル公募評価委員について 四日市市公害と環境未来館について (2) みえ森と緑の県民税の評価について 富山市の環境政策課こども会議について 緑のまちづくりフォーラムパネリスト依頼について(名古屋市緑政土木局) 行政改革シンポジウムパネリスト依頼について(名古屋市) 四日市公害と環境未来館エコパートナー交流会の講演依頼について 愛知県エコアクションを題材としたエコ川柳の審査員について なごやグッドグリーン賞のリーフレット確認について 名古屋市環境学習等行動計画の策定に関する懇談会について 愛知県高等学校初任者研修の講師派遣について 富山での環境大臣サミットについて 愛知県から受け入れるインターンシップについて 名古屋国際会議場環境シンポジウムについて G7 環境大臣会合について 名古屋市行政改革・市民シンポジウムについて 愛知県エコ川柳委員会について 名古屋市職員対象の ESD 研修会について なごや環境大学について</p>
	<p>企業関連 12 件</p>	<p>大学生をインターン受け入れする企業の紹介について J-POWER が実施する大学生向けエコ・エネルギー体験ツアーの広報について 三重銀行 NPO 寄附事業の選考について 石川県里山づくりに関する企業向けセミナーのパネリストについて 家電リサイクル会社での工場見学の改善について グリーンリサイクル(株)見学に関して 次年度インタープリター養成講座企画について ユニー(株)とのインタープリター養成講座の今後について インタープリター養成講座について 東邦ガス環境社会ダイアログの参加者推薦について(3)</p>
	<p>NPO・市民活動 団体・地域活動等 38 件</p>	<p>なごや環境大学 10 周年事業について NGO/NPO スタッフのスキルアップ研修の受け入れ先について (2) 環境 NGO の連合体発足について</p>

		<p>名古屋の森づくりの活動の展開について 中部ミーティング再生プロジェクトについて 名古屋わかもの会議での話題提供について 名古屋市気温測定調査への参加促進について 表浜 BLUEWALK の海岸清掃イベント参加者の学生募集について 名古屋気温測定 2015 の参加者募集について 浄化槽フォーラムの広報について 富山県主催の企業と NPO の交流会について 名古屋 NGO センターのファンドレイジングの研修について 環境省 Good Life Award の昨年度の中部地域の応募状況について リユース PC 寄贈プログラムの広報について 中部異業種間リサイクルネットワーク協議会の研究会について(2) 次世代エネルギーワークショップについて マコモタケ水田観察について 障がい者作業所での自主製品開発について マルベリークラブの来年度活動展開について モリコロ基金申請について 伊勢志摩サミット NGO フォーラムについて G7 伊勢志摩サミット市民社会プラットフォームの設立について G7 伊勢志摩サミットジュニア・サミットの企画について 映画試写会の広報について SDGs の学習会講師紹介について 伊勢志摩サミットについて 環境に配慮した商品づくり 伊勢志摩サミット NGO 主催の会議について 四日市公害と環境未来館での研修について 伊勢志摩サミットについて ママの文化祭における学生ボランティア募集について NPO 法人化について 森林の風フォーラムについて G7 ジュニアサミットについて 四日市大学エネルギー教育研究会四季報原稿の寄稿について 大学での講義について</p>
	<p>フェアトレード 4 件</p>	<p>名古屋市フェアトレードタウン認証取得について フェアトレードタウン祝賀会への協賛及びめぐる提供について 名古屋のフェアトレードに関する支援について</p>

	フェアトレードマップ（川のマップ）作りをしている団体の紹介
協働 パートナー	中部地域の協働に関するステークホルダー、地方環境事務所他
評価指標・ 方法	指標：相談対応を可能とする体制を作ることができたか。 相談者のニーズを満たす助言を行うことができたか。 方法：相談者のアンケート評価など
成果・評価	地域の協働取組が促進するための支援が効果的なものとなるよう、協働取組に関する事例や情報の紹介、コンサルティングを行った。さらに、知見の蓄積や関係者との連携の拡大を強化した。しかし、新たなプロセスマネージャー、協働コーディネーターの配置を行わず、EPO スタッフが協働の専門家、コーディネーターとして対応をした。なお、アンケートについては、電話や匿名による相談も多く、実施することが困難だったため、実施を見合わせた。

② 地域活動への助言及びノウハウの蓄積

目標	地域の協働取組がより活性化し、地域課題の解決・改善につながるための助言、提案、ノウハウの提供を行う。同時に、必要な助言やノウハウの提供ができるよう、日々の業務の中で情報や経験によるノウハウの蓄積、情報の広がりを持つためのネットワークを拡大する。
業務内容	協働コーディネーター育成業務、協働取組加速化事業等で把握した地域の協働取組の課題に対して、先進事例の収集や課題改善のための方策に関する情報収集、協働取組を充実させるための新たな主体や資金調達先の確保（マッチング）、協働コーディネーターによる伴走支援先等の提案、地域のステークホルダーが活用できるノウハウ等の蓄積を行う。ノウハウの蓄積は、できるだけ可視化（情報戦略チームと連携）し、コンサルティング業務に活用する。基本的には、面談方式によるコンサルティングを行い、遠方の方にはメール・電話で対応をする
実施内容	EPO がもつ情報及び人的ネットワークを活用して、多様な主体の協働によるプロジェクトの会議設計のアドバイス、事業に必要な人材や事例の紹介を行った。昨年度まで外部資金事業として実施していた地域性苗木に関する業務においては、EPO 中部のもつ協働スキル及び調整機能を活かし大名古屋ビルヂングでの植樹を可能にした。また、自治体及び中間支援組織の会議等に出席し、協働による取組や施策づくりの支援、NPONGO スタッフのスキル向上に関する支援、他協働取組を実施している主体へのアドバイス、提案、コンサルティングを行った。伊勢志摩サミットに向けて活動を展開しようとしている NPONGO 支援、ジュニア・サミットに関する情報提供、研修企画アドバイス等を行った。 [地域性苗木関連業務] ● 地域性苗木の大名古屋ビルヂングへの植樹関連業務 7月6日(月)22日(水)24日(金)地域性苗木の大名古屋ビルヂングへの植樹についての打合せ 8月6日(木)7日(金)地域性苗木の大名古屋ビルヂングへの植樹について打合せ・資料準備 11月27日(金)30日(月)地域性苗木の植樹についての打合せ 12月1日(火)18日(金)24日(木)地域性苗木植樹についての打合せ・看板制作の打合せ 1月8日(金)19日(火)22日(金)25日(月)27日(水)28日(木)大名古屋ビルヂングへの地

	<p>域性苗木植樹に関する打合せ・資料作成</p> <p>12日(火)19日(火)大名古屋ビルヂングへの地域性苗木植樹メディア取材依頼</p> <p>2月1日(月)2日(火)3日(水)4日(木)8日(月)15日(月)18日(木)地域性苗木の大名古屋ビルヂング植樹のための打合せ・看板作成作業・メディア依頼等</p> <p>19日(金)地域性苗木の大名古屋ビルヂング植樹</p> <p>●その他</p> <p>7月24日(金)27日(月)地域性苗木配布イベントの記録作成</p> <p>28日(火)地域性苗木イベントに関する報告書作成</p> <p>9月18日(金)郷土種子事業グッドライフアワード申請について</p> <p>25日(金)郷土種子事業グッドライフアワード応募に関する資料収集・提供</p> <p>28日(月)郷土種子事業のグッドライフアワード応募案修正</p> <p>【伊勢志摩サミット関連業務】</p> <p>12月12日(土)15日(火)21日(月)23日(水)28日(月)伊勢志摩サミット NGO/NPO ネットワーク(仮称)に関する打合せ</p> <p>18日(金)伊勢志摩サミットジュニアサミット研修企画案作成</p> <p>19日(土)21日(月)伊勢志摩サミットジュニアサミット打合せ</p> <p>22日(火)伊勢志摩サミットジュニアサミットゲスト打合せ</p> <p>1月12日(火)13日(水)19日(火)伊勢志摩サミット地元 NPONGO 事業支援・打合せ</p> <p>25日(月)伊勢志摩サミットジュニアサミット研修企画・資料作成</p> <p>30日(土)伊勢志摩サミットジュニアサミット事前研修</p> <p>2月9日(火)12日(金)伊勢志摩サミットジュニアサミット研修準備</p> <p>13日(土)伊勢志摩サミットジュニアサミット研修</p> <p>3月11日(金)14日(月)18日(金)伊勢志摩サミット関連志摩サミット会議・ジュニアサミット研修企画・資料作成(3月19日20日ジュニア・サミット研修実施)</p> <p>[その他]</p> <p>4月11日(土)四日市「ささえあい基金」書類審査会</p> <p>30日(木)名古屋市緑政土木局緑地維持課との打合せ</p> <p>5月8日(金)名古屋 NGO センター主催レベルアップ研修のチラシ掲載原稿作成</p> <p>9日(土)世界フェアトレード・デーなごや</p> <p>16日(土)四日市「ささえあい基金」審査会</p> <p>28日(木)三重県自然環境審議会野生生物部会打合せ、愛知県 ESD 人材育成事業打合せ</p> <p>29日(金)名古屋市人づくり懇談会</p> <p>6月1日(月)三重県自然環境保全審議会自然環境部会</p> <p>2日(火)環境金融について調査</p> <p>5日(金)四日市における ESD 展開についての打合せ</p> <p>8日(月)名古屋市緑の審議会出席、三重県生物多様性戦略改訂に関する打合せ</p>
--	---

	<p>9日(火)三重県自然環境保全委員会視察同行(三重県速水林業)</p> <p>11日(木)三重県生物多様性戦略改訂に関する打合せ</p> <p>18日(木)東京近辺のESD情報について紹介、三重県生物多様性改訂についての打合せ、名古屋市人づくり懇談会ヒアリング(東区役所)</p> <p>19日(金)フェアトレード300出席</p> <p>23日(火)環境教育ミーティング中部開催打合せ、名古屋市人づくり懇談会ヒアリング(天白区役所)、愛知県地球温暖化施策についての意見交換</p> <p>29日(月)エネルギーに関する討論の場づくりについて</p> <p>30日(火)三重県生物多様性戦略改訂について、愛知県内の企業の環境取組について</p> <p>7月2日(木)三重県生物多様性戦略改訂に関わる情報提供</p> <p>10日(金)愛知県社会活動推進課・自然環境課との打合せ(協働促進会議)</p> <p>13日(月)環境学習等行動計画策定懇談会、平成27年度第1回愛知県環境教育等推進協議会</p> <p>14日(火)名古屋市緑政土木局平成27年度指定管理者評価委員会</p> <p>15日(水)第2回みえ森と緑の県民税評価委員会打合せ</p> <p>16日(木)名古屋市緑政土木局民有地緑化の優良事例審査打合せ</p> <p>18日(土)名古屋気温測定調査2015(名古屋気温測定調査2015実行委員会・なごや環境大学との連携)調査講習会参加</p> <p>21日(火)三重県自然環境保全審議会自然環境部会「みえ生物多様性プラン」改訂</p> <p>22日(水)第5回あいち生物多様性戦略2020推進委員会出席、名古屋市気温測定調査2015の打合せ</p> <p>24日(金)三重県森林環境税評価作業</p> <p>28日(火)愛知県振興部地域政策課打合せ</p> <p>30日(木)再生可能エネルギーをテーマにした小学校授業づくりの企画案作成</p> <p>31日(金)みえ生物多様性プランに掲載するコラム・事例の選定、環境学習等行動計画の打合せ、再生可能エネルギーをテーマにした小学校の授業づくり提案の作成</p> <p>8月4日(火)みえ森と緑の県民税評価委員会(三重県農林水産部)</p> <p>5日(水)実行委員会メンバーと名古屋気温測定調査2015打合せ、名古屋市民有緑地表彰制度審査会</p> <p>7日(金)名古屋NGOセンターファンドレイジング研修についての打合せ</p> <p>8日(土)名古屋気温測定調査2015(名古屋気温測定調査2015実行委員会・なごや環境大学との連携)</p> <p>11日(火)名古屋西高等学校高校生へのレクチャー(地球温暖化問題)</p> <p>17日(月)行政改革シンポジウム打合せ</p> <p>17日(月)18日(火)21日(金)みえ森と緑の県民税評価委員会評価作業</p> <p>20日(木)環境学習プラン(案)作成作業(名古屋市)</p> <p>21日(金)愛知県環境教育等推進協議会議事録作成</p>
--	--

	<p>24 日(月)四日市公害と環境未来館講演打合せ、愛知県食と緑の基本計画推進会議 (愛知県農林水産部)</p> <p>25 日(火)協働促進会議打合せ(愛知県)</p> <p>26 日(水)みえ生物多様性プラン事例及びコラム紹介</p> <p>28 日(金)名古屋 NGO センターファンドレイジング研修</p> <p>31 日(月)協働促進会議(愛知県)</p> <p>9 月 4 日(金)名古屋 NGO センターファンドレイジング研修実施</p> <p>6 日(日)四日市公害と環境未来館エコパートナー交流会講演</p> <p>8 日(火)9 日(水)環境学習等行動計画(仮称)の策定に関する懇談会(名古屋市)</p> <p>11 日(金)三重県森と緑の税評価委員会議事録確認・修正、名古屋市緑の街路樹シン ポジウム調整、名古屋市行政改革に関するシンポジウム打合せ・調整</p> <p>15 日(火)名古屋市緑政土木局評価委員会</p> <p>16 日(水)愛知県農林水産部食と緑の審議会議事録修正加筆</p> <p>18 日(金)環境デーなごやステージ企画の打合せ・準備</p> <p>19 日(土)環境デーなごや 2015、フェアトレードタウン名古屋認証式</p> <p>25 日(金)みえ生物多様性プラン打合せ</p> <p>29 日(火)三重県自然環境保全審議会</p> <p>10 月 9 日(金)愛知県協働促進会議打合せ</p> <p>11 日(日)インタープリター愛・地球ミーティング</p> <p>14 日(水)三重県生物多様性プラン作業支援、名古屋市行政改革シンポジウム打合せ</p> <p>16 日(金)協働促進会議打合せ(愛知県)</p> <p>17 日(土)高浜ブルーフラッグシンポジウム、名古屋市緑のまちづくりフォーラム</p> <p>19 日(月)三重県生物多様性プラン作成支援、愛知県協働促進会議(金城学院大学)</p> <p>22 日(木)協働によるビジネスづくりについて打合せ、名古屋市の緑に関する政策に関する打 合せ</p> <p>23 日(金)三重県生物多様性プランヒアリング</p> <p>25 日(日)名古屋市行政改革・市民シンポジウム</p> <p>26 日(月)三重県生物多様性プラン原稿作成</p> <p>28 日(水)環境学習等行動計画(仮称)の策定に関する懇談会(名古屋市)</p> <p>29 日(木)江南市立宮田中学校環境学習受入れ</p> <p>30 日(金)愛知県環境活動推進課エコ川柳審査作業支援</p> <p>11 月 4 日(水)アジア 3R 推進市民フォーラム日本大会 2015 出席、愛知県環境部エコ川柳審 査会</p> <p>8 日(日)ESD-J 座談会</p> <p>11 日(水)愛知県協働促進会議打合せ</p> <p>13 日(金)三重県自然環境保全審議会自然環境部会出席</p> <p>16 日(月)愛知県協働促進会議</p>
--	--

	<p>20日(金)三重県ごみゼロプラン推進委員会出席</p> <p>21日(土)浄化槽フォーラム in 江南</p> <p>25日(水)名古屋市緑政土木局打合せ</p> <p>30日(月)愛知県食と緑の基本計画打合せ</p> <p>12月1日(火)三重銀総研「次世代育成のためのNPO 応援基金」審査作業</p> <p>2日(水)三重銀総研「次世代育成のためのNPO 応援基金」審査会</p> <p>3日(木)わーく金山との打合せ、三重県生物多様性地域戦略打合せ</p> <p>8日(火)名古屋市緑政土木局審査会出席</p> <p>9日(水)愛知県地球温暖化政策に関する打合せ、フェアトレードタウン事業についての打合せ、愛知県協働促進会議の打合せ、にじゅうまるプロジェクトに関する打合せ</p> <p>12日(土)公害資料館連携フォーラム in 四日市</p> <p>14日(月)愛知県協働促進会議出席・資料作成</p> <p>15日(火)三重銀総研「次世代育成のためのNPO 応援基金」審査資料確認作業</p> <p>16日(水)三重銀総研「次世代育成のためのNPO 応援基金」プレゼンテーション出席</p> <p>17日(木)18日(金)21日(月)愛知県地球温暖化対策課グリーンニューディール申請事業審査作業</p> <p>18日(金)名古屋市緑政土木局プレゼンテーション出席</p> <p>22日(火)28日(月)にじゅうまるプロジェクトフォーラムに関する企画打合せ</p> <p>1月5日(火)ユニー(株)提供インタープリター養成講座企画アドバイス</p> <p>13日(水)中生涯学習センター企画打合せ</p> <p>15日(金)ユニー(株)提供インタープリター養成講座打合せ</p> <p>20日(水)愛知県協働促進会議生物多様性広報のためのポップの作成及び打合せ</p> <p>22日(金)長野県NPOセンターヒアリング</p> <p>25日(月)愛知県協働促進会議</p> <p>29日(金)SDGsに関する学校での実践についての打合せ</p> <p>2月1日(月)2日(火)にじゅうまるCOP2プロジェクトの打合せ</p> <p>2日(火)三重県生物多様性プラン打合せ</p> <p>4日(木)みえ生物多様性プラン委員会</p> <p>8日(月)愛知県環境教育推進会議</p> <p>16日(火)愛知県緑と食の基本計画打合せ</p> <p>23日(火)26日(金)愛知県地球温暖化防止活動推進センターとの打合せ</p> <p>3月7日(月)愛知県協働促進会議発表会資料作成、三重県森と緑の県民税第3回評価委員会報告打合せ</p> <p>8日(火)中部7県の協働取組情報提供アドバイス、ユニー(株)提供インタープリター養成講座企画について</p> <p>9日(水)愛知県協働促進会議資料作成</p> <p>10日(木)愛知県協働促進会議報告会</p>
--	--

	17日(木)名古屋市総務局打合せ
協働 パートナー	中部地域の協働に関するステークホルダー、地方環境事務所他
評価指標・ 方法	指標：相談者が満足する対応をすることはできたか。 新たな情報の確保はできたか。 地域における協働取組の充実のための助言、ノウハウの蓄積ができたか。 方法：地域の各主体のヒアリング評価など
成果・評価	地域の協働取組がより活性化し、地域課題の解決・改善につながるための助言、提案、ノウハウの提供を行った。必要な助言やノウハウの提供ができるよう、日々の業務の中で情報や経験によるノウハウの蓄積、情報の広がりを持つためのネットワークを拡大した。協働取組を促進するために、協働コーディネーターの派遣、多様な主体との対話の場づくり、必要な資源のマッチング、協働取組の評価スキームによる社会的価値の可視化、などの支援が重要となる。蓄積したノウハウや情報やそういった支援を含め包括的に実施できる体制が必要である。体制を作るためには、各県の協働を促進する機能をもつ中間支援組織や環境学習拠点と連携して、相談者が相談しやすい環境をつくることが求められる。 相談者や依頼者からは、「EPO が持つ人的ネットワークを紹介して頂けて役に立つ」「他地域の協働事例の情報がたくさんもっていて参考になる」「他県の協働による自治体計画や施策のつくりかたの情報が役に立つ」「NPO の状況や連携協働の方法を教えてもらえる」「多様な主体とプロジェクトを実施する際にどのように協働による会議を設計したりプロセスを作りあげるかという点でのアドバイスがよい」といったコメントを得た。

②-ア なごや環境大学事業支援

目標	環境学習を主軸にした多様な主体の協働による学びの場をつくり、各主体の持続可能な社会づくりのための行動をサポートする。
業務内容	なごや環境大学の協働のスキームを検証し、協働による環境学習のしくみの有効性を検証する。 ※現在名古屋市は「名古屋市環境学習等行動計画(仮称)作成段階にある
実施内容	今年 10 周年であるなごや環境大学の事業に関する打合せ、学長の紹介及び調整、次年度以降の協働による講座に関するアドバイス、提案、打合せを行った。協働による講座実施である「共育講座」を検討する「講座チーム会議」、講座審査会等への出席、地域資源のマッチングによる協働を実現する「リソースマッチング」事業の打合せ、10 周年事業のシンポジウム等の企画アドバイス、サポートを担った。 〈主な業務〉 4月7日(火)学長候補リストアップ、10周年事業企画作成支援 16日(木)講座チーム会議出席 22日(水)なごや環境大学幹事会 5月11日(月)学長依頼 25日(月)総会、学長依頼

	<p>27日(水)千頭氏打合せ</p> <p>6月15日(月)ESD及び講座に関する打合せ並びに次年度以降の事業計画作成支援</p> <p>18日(木)講座チーム会議出席</p> <p>26日(金)なごや環境大学についてのアンケート対応</p> <p>29日(月)30日(火)名古屋市との打合せ</p> <p>7月2日(木)9日(木)共有講座審査会</p> <p>15日(水)なごや環境大学幹事会</p> <p>16日(木)講座チーム会議</p> <p>22日(水)学長との懇談会</p> <p>8月17日(月)環境デー名古屋打合せ</p> <p>20日(木)幹事会、講座チーム会議</p> <p>9月8日(火)幹事会</p> <p>10月7日(水)講座チーム会議</p> <p>8日(木)講座チーム会議打合せ</p> <p>16日(金)リソースマッチング事業打合せ</p> <p>20日(火)幹事会</p> <p>26日(月)主催講座企画検討作業支援</p> <p>27日(火)主催講座企画調整</p> <p>11月6日(金)リソースマッチング事業プロジェクト会議</p> <p>9日(月)次年度主催講座企画作成、10周年シンポジウム企画案作成</p> <p>10日(火)講座チーム会議</p> <p>16日(月)10周年シンポジウム、今後のなごや環境大学についてのヒアリング、主催講座企画作成、リソースマッチング事業企画作成ゲスト調整</p> <p>20日(金)リソースマッチング事業事務局打合せ</p> <p>25日(水)リソースマッチング打合せ(名古屋都市センター)</p> <p>27日(金)主催講座企画書作成</p> <p>12月1日(火)幹事会</p> <p>3日(木)リソースマッチング事業打合せ</p> <p>8日(火)公募講座審査会、10周年シンポジウム企画案作成、主催講座企画作成</p> <p>9日(水)なごや環境大学全体会</p> <p>14日(月)リソースマッチング事業企画作成・ゲスト調整・チラシ案作成・主催講座企画作成・ゲスト調整</p> <p>15日(火)10周年事業打合せ、講座チーム会議</p> <p>17日(木)主催講座・リソースマッチング事業打合せ</p> <p>18日(金)リソースマッチング事業打合せ</p> <p>22日(火)リソースマッチングシナリオ作成</p> <p>24日(木)主催講座・リソースマッチング事業打合せ</p>
--	---

	<p>28日(月)リソースマッチング事業打合せ、主催講座企画調整、10周年事業シナリオ作成</p> <p>1月7日(木)次年度講座企画打合せ</p> <p>14日(木)講座チーム会議、リソースマッチング事業打合せ</p> <p>16日(土)なごや環境大学10周年シンポジウム・レセプション</p> <p>27日(水)リソースマッチング事業打合せ</p> <p>28日(木)幹事会</p> <p>3月4日(金)リソースマッチング事業会議</p> <p>8日(火)講座チーム会議</p> <p>12日(土)リソースマッチング事業</p> <p>18日(金)幹事会</p>
協働 パートナー	なごや環境大学実行委員会(企業・NPO/NGO、学識者等)、名古屋市他
評価指標・ 方法	<p>指標：協働による環境学習の仕組みづくりの課題と成果を把握したか なごや環境大学における協働の成果を把握したか</p> <p>方法：関係者ヒアリング</p>
成果・評価	<p>EPO のもつ協働のノウハウとネットワークを活かし、環境学習・ESD を主軸にした多様な主体の協働による学びの場づくりに寄与した。特にリソースマッチング事業においては、多様な資源をマッチングすることによる課題解決策の多様性、効果を可視化した。今年度は名古屋市緑政土木局と名古屋都市センターとの協働によるマッチングのコーディネーションを行い、行政と市民、市民団体の資源の持ち寄りの場をつくった。参加者からは、「行政と話すことができた」「名古屋市に就職したいが行政担当者の考えを聞くことができた」といったコメントを聞くことができた。次年度からスタートする主催講座についても、環境部局以外との協働を可能にした企画を提案し、実施する予定である。</p>

③ 協働取組加速化事業(別途契約事業)

平成 27 年度地域活性化に向けた協働取組の加速化事業採択事業	
目標	<p>先導的な事例を形成し、協働取組の経験を蓄積し、普及共有する。</p> <p>採択された協働事業を実証するための「支援事務局」を設置し、協働取組の方法や手順を明らかにする。協働取組を活かした環境保全活動の幅広い波及を図る。</p>
業務内容	<p>ステークホルダー間の状況(補完性・利害性など)、事業の進捗・課題を把握し助言する。地域課題を解決する協働事業のプロセスを可視化し、協働事業を促進するツールをつくる。</p>
実施内容	<p>本事業に応募のあった団体へのヒアリングを行い、ヒアリング内容をまとめ、中部地方環境事務所に提出した。また中部地方環境事務所が主催する審査会の補助を行い、議事録を作成した。採択団体決定後、平成 27 年度地域活性化に向けた協働取組の加速化事業地方支援事務局(別契約)として、採択団体の協働取組の伴走支援を行った。詳細は、平成 27 年度地域活性化に向けた協働取組の加速化事業 支援事務局業務報告書を参照。</p> <p>〈主な業務〉</p>

	<p>●申請団体ヒアリング及び審査シート作成等</p> <p>4月13日(月)応募団体（海洋環境防災調査研究会）ヒアリング</p> <p>14日(火)応募団体（海洋環境防災調査研究会）ヒアリングシートまとめ</p> <p>15日(水)応募団体ヒアリング（NPO 法人泉京・垂井）</p> <p>16日(木)応募団体ヒアリング（合同会社天のなかがわ）、応募団体（NPO 法人泉京・垂井）ヒアリングシートまとめ、ヒアリング議事録作成</p> <p>17日(金)応募団体ヒアリング（一般社団法人 M-EMS 認証機構、四日市大学エネルギー環境教育研究会）、ヒアリングまとめ作業</p> <p>20日(月)応募団体（合同会社天のなかがわ、一般社団法人 M-EMS 認証機構、四日市大学エネルギー環境教育研究会）ヒアリングまとめ、ヒアリングシート記入</p> <p>21日(火)ヒアリングまとめ、ヒアリングシート作成作業</p> <p>22日(水)四日市大学エネルギー環境教育研究会ヒアリング内容の確認、添付資料整理、ヒアリングシートまとめ、記入作業、電話ヒアリング日程調整</p> <p>23日(木)電話でのヒアリング実施（一般社団法人若狭高浜観光協会、NPO 法人中部リサイクル運動市民の会）、電話ヒアリングまとめ、ヒアリングシート記入、申請団体ヒアリング資料整理、地方事務所に提出</p> <p>30日(木)ヒアリング結果まとめ作業</p> <p>●審査会実施のための準備作業等</p> <p>5月18日(月)審査会議・準備</p> <p>20日(水)21日(木)審査会議議事録作成</p> <p>6月5日(金)審査会委員旅費・交通費支払準備</p> <p>●採択団体ヒアリング準備</p> <p>6月9日(火)若狭高浜観光協会ヒアリング準備</p> <p>10日(水)若狭高浜観光協会打合せ、ヒアリング</p> <p>11日(木)中部リサイクル運動市民の会打合せ</p> <p>12日(金)若狭高浜観光協会/中部リサイクル運動市民の会打合せ記録作成</p> <p>15日(月)協働取組審査員支払手続、連絡会案内文案作成</p> <p>●協働取組連絡会等業務</p> <p>6月16日(火)連絡会案内文最終修正・案内文送付</p> <p>17日(水)連絡会謝礼支払準備</p> <p>19日(金)連絡会案内文作成</p> <p>22日(月)連絡会論点整理・アドバイザー選定・依頼、協働取組 GEOC 特設ページ用原稿作成・確認依頼</p> <p>23日(火)連絡会アドバイザー選定・依頼</p> <p>24日(水)連絡会出席アドバイザー打合せ準備</p> <p>25日(木)連絡会次第案作成、連絡会出席アドバイザー打合せ資料作成</p> <p>26日(金)連絡会出席アドバイザー打合せ、連絡会次第修正</p>
--	--

	<p>29日(月)連絡会出席アドバイザー訪問記録作成</p> <p>7月1日(水)2日(木)第1回連絡会資料作成・準備</p> <p>3日(金)第1回協働取組連絡会実施</p> <p>7日(火)9日(木)10日(金)13日(月)14日(火)15日(水)16日(木)17日(金)28日(火)第1回連絡会議事録作成及び修正</p> <p>21日(火)22日(水)23日(木)24日(金)27日(月)30日(木)事業資料等作成</p> <p>29日(水)過年度調査、予算書作成</p> <p>8月5日(水)6日(木)月次報告作成</p> <p>10日(月)11日(火)17日(月)地方支援事務局月報作成</p> <p>9月11日(金)月次報告送付</p> <p>17日(木)作業部会</p> <p>10月8日(木)9日(金)月次報告作成</p> <p>22日(木)23日(金)第2回連絡会日程調整</p> <p>11月2日(月)5日(木)9日(月)月次報告作成</p> <p>12日(木)協働作業部会</p> <p>17日(火)全国EPO連絡会での取組共有</p> <p>18日(水)資料印刷</p> <p>12月9日(水)月次報告作成・発送</p> <p>1月8日(金)第2回連絡会・意見交換会次第作成、採択団体に資料送付</p> <p>12日(火)第2回連絡会・意見交換会次第作成・発送</p> <p>14日(木)月次報告作成、第2回連絡会案内作業</p> <p>15日(金)月次報告作成</p> <p>18日(月)19日(火)資料作成</p> <p>20日(水)採択団体に問合せ、資料送付、資料準備・印刷</p> <p>21日(木)資料準備、協働取組加速化事業第2回連絡会・意見交換会資料作成・会議設計</p> <p>22日(金)第2回連絡会準備・開催、協働取組加速化のための意見交換会開催・準備</p> <p>26日(火)採択団体問合せ、全国事務局問合せ、会議出欠確認</p> <p>2月3日(水)9日(火)資料作成</p> <p>12日(金)16日(火)19日(金)22日(月)月次報告作成</p> <p>22日(月)月次報告送付、採択団体との調整</p> <p>24日(水)報告書確認作業</p> <p>25日(木)26日(金)報告書作成</p> <p>3月1日(火)2日(水)採択団体報告書作成支援</p> <p>1日(火)2日(水)3日(木)7日(月)8日(火)9日(水)10日(木)11日(金)14日(月)15日(火)16日(水)報告書作成</p> <p>7日(月)17日(木)資料作成</p>
--	---

	<p>10日(木)第2回連絡会議事録作成、意見交換会議事録作成</p> <p>●協働取組加速化事業協働ガイドブック作成作業</p> <p>10月30日(金)</p> <p>11月2日(月)4日(水)5日(木)11日(水)24日(火)26日(木)27日(金)</p> <p>12月9日(水)16日(水)18日(金)</p> <p>1月5日(火)6日(水)</p> <p>●ブルーフラッグ認証取得活動を通じた海岸維持管理体制の再構築事業ヒアリング等</p> <p>7月28日(火)3日(月)4日(火)6日(木)7日(金)10日(月)11日(火)17日(月)ヒアリング準備</p> <p>8月18日(火)19日(水)ブルーフラッグ推進部会ヒアリング・高浜町観光協会あいさつ・高浜町まちづくり課あいさつ</p> <p>20日(木)21日(金)24日(月)25日(火)26日(水)27日(木)28日(金)31日(月)9月1日(火)2日(水)3日(木)4日(金)7日(月)8日(火)10日(木)29日(火)30日(水)ヒアリング記録作成・原稿編集・確認作業</p> <p>9月9日(水)シンポジウムゲスト調整</p> <p>24日(木)ブルーフラッグ事業シンポジウムゲスト調整</p> <p>10月1日(木)ブルーフラッグ資料作成</p> <p>5日(月)交流会ゲスト調整紹介</p> <p>5日(月)8日(木)9日(金)ブルーフラッグヒアリング報告書作成</p> <p>6日(火)ブルーフラッグ交流会企画等打合せ</p> <p>15日(木)ブルーフラッグ事業報告書発送</p> <p>16日(金)ブルーフラッグヒアリング日程調整・交流会のための資料作成</p> <p>17日(土)高浜ブルーフラッグシンポジウム</p> <p>20日(火)ブルーフラッグ資料作成</p> <p>26日(月)ブルーフラッグヒアリング報告書確認</p> <p>28日(水)ブルーフラッグ推進部会出席・観光協会挨拶等</p> <p>29日(木)高浜町役場、高浜町観光協会挨拶</p> <p>28日(水)10月29日(木)11月2日(月)ブルーフラッグ議事録作成</p> <p>11月4日(水)ブルーフラッグ資料送付</p> <p>25日(水)ブルーフラッグ推進部会出席・打合せ</p> <p>26日(木)ブルーフラッグ打合せ</p> <p>27日(金)ブルーフラッグ活動状況の問合せ</p> <p>12月2日(水)16日(水)ブルーフラッグ推進部会記録修正</p> <p>2月25日(木)ブルーフラッグ事業報告書作成支援</p> <p>●リユースびん普及を通じた地産地消ビジネスモデル構築プロジェクトヒアリング準備作業</p> <p>8月25日(火)ヒアリング準備作業</p> <p>28日(金)第1回協議会・議事録作成</p>
--	---

	<p>31日(月)議事録作成</p> <p>9月8日(火)ヒアリング(名古屋市減量推進室)</p> <p>9日(水)ヒアリング(名古屋市環境局ごみ減量推進室)・記録作成</p> <p>10日(木)29日(火)ヒアリング記録作成</p> <p>24日(木)28日(月)29日(火)ヒアリング日程調整</p> <p>30日(水)議事録作成</p> <p>10月1日(木)9日(金)リユースびんプロジェクトヒアリング確認依頼</p> <p>20日(火)リユースびんプロジェクト資料作成</p> <p>26日(月)リユースびんプロジェクトヒアリング(名古屋市鬼頭氏)</p> <p>29日(木)リユースびんプロジェクト議事録確認</p> <p>11月5日(木)リユースびんプロジェクトサガミ江川津島店ヒアリング</p> <p>5日(木)6日(金)リユースびんプロジェクトヒアリング記録作成</p> <p>9日(月)リユースびんプロジェクト定例会議参加</p> <p>9日(月)11日(水)12日(木)リユースびんプロジェクト定例会議議事録作成</p> <p>12日(木)13日(金)16日(月)27日(金)12月4日(金)リユースびんプロジェクトヒアリング記録作成・確認作業</p> <p>20日(金)リユースびんプロジェクト資料修正</p> <p>12月3日(木)リユースびんプロジェクト定例会議出席</p> <p>3日(木)8日(火)リユースびんプロジェクト定例会議議事録作成</p> <p>1月7日(木)リユースびんプロジェクト定例会議出席・記録作成</p> <p>19日(火)中部リサイクル運動市民の会ヒアリング・記録作成</p> <p>25日(月)リユースびんプロジェクトヒアリング・記録作成</p> <p>28日(木)リユースびんプロジェクトヒアリング記録作成、バスツアー申込、採択団体問合せ</p> <p>29日(金)リユースびんプロジェクトヒアリング記録作成、定例会議議事録作成</p> <p>30日(土)「リユースびん」バスツアー参加</p> <p>2月1日(月)リユースびんプロジェクト協議会出席・記録作成</p> <p>4日(木)リユースびんプロジェクト問合せ・資料作成</p> <p>5日(金)リユースびんプロジェクト資料作成</p> <p>18日(木)リユースびんプロジェクト定例会出席・記録作成</p> <p>23日(火)リユースびんプロジェクトヒアリング準備・実施・記録作成</p> <p>3月8日(火)リユースびんプロジェクト報告書作成支援</p> <p>9日(水)リユースびん報告書作成支援</p>
協働 パートナー	採択事業団体及び各事業のステークホルダー、地方環境事務所他
評価指標・ 方法	指標：地域支援事務局としての役割、機能の達成 方法：採択団体による評価

成果・評価	<p>今年度は2つの採択団体の伴走支援を行った。一つは行政主導型、もう一つは民間主導の取組であった。いかに、協働の主体を地域に変えていくのが地方支援事務局の役割であった。そのため、両者ともステークホルダーのヒアリングを行い、意向を把握し、関係性の変容を心がけた。その結果、行政主導による事業は地元住民や団体が核となっている組織へと主導が変わり、民間主導で取り組んだ事業については政策への反映ができ、新たな体制へと変化しつつある。</p> <p>2つの採択団体の事業は、タイプは違うが先導的な事例であり、協働による事業への効果を明らかにすることができた。今後情報を蓄積し、普及を図る。</p> <p>採択団体からは、「昨年度に引き続き、今年度事業においても地方支援事務局が、観光協会と行政を除く協働主体にヒアリング調査を実施し、事務局が十分に引き出せていない意向や意見を焙り出してくれることとなった。これらの意見は、安心・安全な海構築会議やブルーフラッグ推進部会の議事進行において、重要なアドバイスとして活用することができた。特に若狭和田ライフセービングクラブのメンバーは、やや遠慮気味の姿勢から、より積極的に取組を進めることとなったと感じられる」「地方支援事務局による協議会や定例会での助言、各ステークホルダーへのヒアリング等による取組内容の深堀により、第三者的な意見を聞くことができ、協働全体の課題を浮き彫りにすることができた」との評価を得た。地方支援事務局が協働取組の方法や手順をアドバイスすることによって、多様な主体の積極的参加による取組に変容することができた。</p> <p>※詳細は、平成27年度地域活性化に向けた協働取組の加速化事業 支援事務局業務報告書を参照。</p>
--------------	---

④ 外部資金事業(本事業以外の環境省事業)

④-ア ESD 環境教育プログラム実証事業

目標	地域における協働による ESD 推進を図る。
業務内容	中部地域の地域性を踏まえた小中学生向けの ESD プログラムを作成、実証し、各地域の ESD 推進基盤となるネットワークの形成、及び ESD についての周知するための普及・啓発イベントの実施に関する支援を行う。
実施内容	<p>本事業の受託団体のサポートとして、過去2年間蓄積したスキル・情報や ESD 授業のつくりかたにおける専門性のインプット、3年目となる本事業の検証作業、検証のための映像制作を中心に担った。形成推進委員会委員、検証委員、長野東海コーディネーターとして参加した。</p> <p>関係主体である、受託団体、北陸地域の協力団体である北陸 ESD 推進コンソーシアム、東海での取組の事務局運営を担う株式会社対話計画、映像制作を担う株式会社 TREE、中部地方環境事務所と連携し、企画調整等の打合せを行った。また、必要に応じて、中部地域の全体の事業進捗を把握し、過去2年間の関わった経験を活かしてマネジメントサポートを担った。</p> <p>形成推進委員会、検証委員会の開催、準備等の運営事務をサポートした。また、事業の進行においては委員と打合せ、情報を密に共有し、資料作成等の支援を行った。10月から12月は7県での公開実証授業が行われたため、児童対象のアンケートや資料・記録の作成、運営のアドバイスを行った。周知啓発ワークショップの企画・運営について受託団体と協議を重ね企画、運営を</p>

行った。本事業 3 年間のまとめとして発行する周知啓発冊子の作成に関しては、企画作成・調整、掲載原稿の作成や打合せを行った。業務報告書の作成支援を行った。

〈主な業務〉

[形成推進委員会]

●第 1 回

日時： 7 月 1 日(水) 15:00～18:00

場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス

出席者：形成推進委員 7 名、地方環境事務所 2 名、受託団体 3 名

6 月 24 日(水)30 日(火)7 月 1 日(水)準備・資料作成

7 月 2 日(木)7 日(火)8 日(水)9 日(木)形成推進委員会議事録作成

●第 2 回

日時： 12 月 3 日(木) 15:00～18:00

場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス

出席者：形成推進委員 8 名(代理 1 名)、地方環境事務所 3 名、受託団体 2 名

11 月 16 日(月)20 日(金)24 日(火)27 日(金)30 日(月)12 月 1 日(火)2 日(水)準備・資料作成

12 月 4 日(金)22 日(火)28 日(月)1 月 18 日(月)第 2 回形成推進委員会議事録作成

●第 3 回

日時： 2 月 9 日(火) 14:00～17:00

場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス

出席者：形成推進委員 9 名、地方環境事務所 2 名、受託団体 2 名

1 月 28 日(木)2 月 1 日(月)2 日(火)3 日(水)4 日(木)8 日(月)準備・資料作成

[検証委員会]

●第 1 回

日時： 7 月 10 日(金) 14:00～17:00

場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス

出席者：検証委員 6 名、地方事務所 2 名、事務局 5 名(映像担当者 3 名)

7 月 9 日(木)10 日(金)検証委員会開催・準備

7 月 21 日(火)22 日(水)検証委員会議事録作成、

●第 2 回

日時： 12 月 17 日(木) 14:00～17:00

場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス

出席者：検証委員 6 名、地方事務所 3 名、事務局 4 名(内映像担当者 2 名)、ブザーバー 2 名、計 15 名

12 月 4 日(金)7 日(月)9 日(水)14 日(月)15 日(火)16 日(水)17 日(木)第 2 回検証委員会案内文書作成・準備・資料作成・打合せ

[周知啓発ワークショップ支援]

	<p>●北陸地域</p> <p>12月1日(火)2日(水)3日(木)7日(月)9日(水)10日(木)14日(月)16日(水)17日(木)18日(金)21日(月)22日(火)24日(木)25日(金)周知啓発ワークショップの出演者打合せ・チラシ作成作業・参加者アンケート(案)作成・資料準備・広報作業等</p> <p>26日(土)周知啓発ワークショップ開催(北陸)</p> <p>28日(月)周知啓発ワークショップ記録作成、冊子作成作業</p> <p>1月4日(月)資料作成、周知啓発ワークショップ(北陸)に関する打合せ</p> <p>●東海地域</p> <p>1月6日(水)7日(木)8日(金)25日(月)19日(火)26日(火)29日(金)打合せ・資料作成・広報作業等</p> <p>2月1日(月)2日(火)3日(水)9日(火)10日(水)12日(金)15日(月)16日(火)17日(水)広報作業・参加者リスト作成・ゲスト打合せ・資料作成</p> <p>18日(木)周知啓発ワークショップ(東海)準備・開催・記録作成、報告書作成</p> <p>[冊子原稿作成支援・打合せ]</p> <p>12月24日(木)</p> <p>1月4日(月)5日(火)6日(水)7日(木)8日(金)12日(火)13日(水)15日(金)18日(月)19日(火)20日(水)25日(月)26日(火)27日(水)28日(木)29日(金)</p> <p>2月1日(月)2日(火)3日(水)8日(月)9日(火)10日(水)12日(金)</p> <p>[報告書作成支援・原稿確認作業等]</p> <p>2月4日(木)9日(火)10日(水)12日(金)15日(月)16日(火)17日(水)18日(木)19日(金)22日(月)23日(火)24日(水)25日(木)26日(金)29日(月)3月1日(火)</p> <p>3月4日(金)報告書提出</p> <p>[その他]</p> <p>6月8日(月)今年度事業に関する意見交換</p> <p>12日(金)受託団体打合せ、資料作成、実証校調整</p> <p>16日(火)実証校選定についてのアドバイス、形成推進委員会及び検証委員会の論点についての整理、半田市板山小学校 ESD 環境教育実証事業の説明</p> <p>17日(水)形成推進委員打合せ、岐阜県 WG 委員打合せ</p> <p>18日(木)長野県実証校の調整、形成推進委員打合せ</p> <p>22日(月)資料作成</p> <p>24日(水)形成推進委員会論点に関する資料作成等</p> <p>25日(木)実証校打合せ、長野県 WG 委員調整</p> <p>26日(金)映像会社打合せ</p> <p>29日(月)全体進捗状況把握・調整</p> <p>30日(火)形成推進委員会にインプットする情報の収集と整理、検証委員会に向けての過去の成果及び課題の整理、事業の成果目標の設定についての作業</p> <p>7月1日(水)形成推進委員会開催・準備、鈴木氏打合せ</p>
--	--

	<p>2日(木)愛知県・長野県 WG メンバー依頼、岐阜県実証校打合せ、北陸運営体制について打合せ</p> <p>3日(金)10日(金)13日(月)24日(金)27日(月)北陸運営体制についての打合せ</p> <p>13日(月)14日(火)東海運営体制について打合せ</p> <p>16日(木)岐阜県 WG メンバー依頼・資料準備</p> <p>17日(金)愛知県の WG 会議について打合せ・資料準備、三重県の WG 会議について打合せ</p> <p>21日(火)検証方法についての企画書作成</p> <p>22日(水)愛知県 WG 会議資料準備支援</p> <p>23日(木)愛知県 WG 会議、検証作業案に関する打合せ</p> <p>27日(月)富山県 WG メンバー依頼文書送付、富山県 WG 会議について打合せ・資料送付</p> <p>28日(火)富山県 WG 会議について打合せ、検証作業についての打合せ</p> <p>30日(木)富山県 WG 会議について打合せ</p> <p>8月3日(月)富山県 WG 会議、検証作業案について打合せ</p> <p>4日(火)岐阜県・三重県 WG 会議について打合せ、富山県実証校打合せ・資料送付</p> <p>5日(水)検証についての打合せ記録作成、検証作業について打合せ、三重県 WG 会議について打合せ</p> <p>6日(木)検証作業について打合せの議事録作成・打合せ、三重県 WG 会議について打合せ</p> <p>7日(金)検証作業についての打合せ・資料作成</p> <p>10日(月)検証作業について打合せ、北陸運営体制について打合せ</p> <p>11日(火)岐阜県 WG 会議、検証作業についての打合せ</p> <p>17日(月)名古屋開催の周知啓発ワークショップの日程について打合せ</p> <p>18日(火)19日(水)検証作業についての打合せ記録作成</p> <p>19日(水)長野県 WG 会議について打合せ</p> <p>20日(木)三重県 WG 会議についての打合せ、名古屋開催周知啓発 WS について打合せ、検証作業についての打合せ記録作成</p> <p>21日(金)検証作業についての依頼・打合せ、三重県 WG 会議準備</p> <p>24日(月)三重県 WG 会議、検証作業について打合せ・スケジュール表作成、愛知県実証校打合せ、石川県 WG 会議について打合せ</p> <p>25日(火)金沢・名古屋開催周知啓発 WS についての打合せ、石川県 WG 会議、福井県 WG 会議についての打合せ、検証作業についての日程調整</p> <p>26日(水)石川県・福井県 WG 会議についての打合せ、検証作業についての日程調整</p> <p>28日(金)長野県 WG 会議についての打合せ・資料送付準備、検証作業のスケジュール作成・連絡</p> <p>31日(月)検証作業についての打合せ・日程調整・資料送付、長野県 WG 会議についての</p>
--	---

	<p>打合せ・資料送付</p> <p>9月1日(火)石川県 WG 会議の打合せ、長野県 WG 会議資料準備、検証作業の依頼・打合せ</p> <p>2日(水)長野県 WG 会議、検証作業ヒアリング(長野県環境保全協会)</p> <p>3日(木)検証作業のアンケート案作成、検証作業のヒアリング(環境教育ネクスト・ステップ研究会)</p> <p>4日(金)検証作業についての依頼、アンケート案作成、長野県の実証についての打合せ</p> <p>8日(火)検証に関する打合せ、石川県 WG 会議についての打合せ、岐阜県 WG 会議議事録修正</p> <p>9日(水)金沢開催周知啓発ワークショップの打合せ・資料作成、石川県・岐阜県・愛知県・三重県実証校との打合せ、検証作業の資料準備</p> <p>10日(木)検証についての打合せ・依頼・資料作成、石川県第1回 WG 会議</p> <p>11日(金)石川県実証に関する打合せ、検証のためのヒアリング(東海市立富木島小学校、東浦町立緒川小学校、東浦町立藤江小学校)</p> <p>14日(月)検証のためのヒアリング(ギフチョウネットワーク、名張市立薦原小学校、名張市立美旗小学校)</p> <p>15日(火)福井県・愛知県実証に関する打合せ、岐阜県議事録修正、検証に関するヒアリングの依頼・打合せ</p> <p>16日(水)17日(木)議事録作成</p> <p>18日(金)長野県 WG 会議議事録作成、富山県 WG 会議議事録修正、検証に関する打合せ・依頼</p> <p>24日(木)富山県・岐阜県実証校打合せ、長野県 WG 会議議事録作成、富山県 WG 会議議事録修正</p> <p>25日(金)富山県・岐阜県実証校打合せ・アンケート(案)作成、長野県 WG 会議議事録作成、映像作成案の構成検討、検証作業についての打合せ</p> <p>28日(月)富山県実証校打合せ・WG 会議資料作成、長野県 WG 会議議事録作成</p> <p>29日(火)富山県 WG 会議資料作成、富山県・岐阜県実証校打合せ、長野県 WG 会議議事録作成、検証のためのヒアリング記録まとめ</p> <p>30日(水)検証についての愛知県実証校・長野県環境保全協会ヒアリング記録作成、富山県・岐阜県の実証についての打合せ</p> <p>10月1日(木)三重県薦原小学校 25年度 27年度アンケート比較資料作成、長野県第1回 WG 会議議事録作成、富山県第2回 WG 会議資料準備</p> <p>1日(木)2日(金)6日(火)7日(水)9日(金)13日(火)14日(水)15日(木)16日(金)19日(月)20日(火)21日(水)22日(木)23日(金)26日(月)27日(火)ヒアリング記録作成</p> <p>2日(金)富山県公開実証授業・第2回 WG 会議、検証作業についての打合せ</p> <p>5日(月)検証のためのヒアリング資料準備・打合せ、富山県の実証に関する打合せ</p>
--	--

	<p>6 日(火)検証のためのヒアリング(富山県古沢小学校インデブス・スタディ、堀川小学校教員)</p> <p>7 日(水)検証作業児童対象アンケート作成、愛知県実証についての打合せ</p> <p>8 日(木)三重県実証校との打合せ、愛知県実証についての打合せ、検証作業児童対象アンケートについての打合せ</p> <p>9 日(金)形成推進委員会についての打合せ、映像についての打合せ、愛知県第 2 回 WG 会議資料準備・打合せ</p> <p>13 日(火)ヒアリング依頼・打合せ、愛知県公開実証授業・第 2 回 WG 会議</p> <p>14 日(水)ヒアリング依頼・打合せ・依頼文書作成、石川県第 1 回 WG 会議記録修正、周知啓発ワークショップについての打合せ</p> <p>15 日(木)検証作業についての打合せ、石川県実証についての打合せ、周知啓発ワークショップについての打合せ、ヒアリング依頼・打合せ、映像についての打合せ</p> <p>16 日(金)ヒアリング日程調整・資料送付、三重県の実証についての打合せ</p> <p>19 日(月)三重県実証についての打合せ</p> <p>20 日(火)三重県公開実証授業・第 2 回 WG 会議、周知啓発ワークショップについての打合せ</p> <p>21 日(水)富山県古沢小学校 25 年度 27 年度アンケート比較表作成、検証のためのヒアリング(津田学園小学校教員)、検証作業についての打合せ、周知啓発ワークショップについての打合せ</p> <p>22 日(木)愛知県緒川小学校 25 年度 27 年度アンケート比較表作成、福井県・岐阜県実証についての打合せ、周知啓発ワークショップゲスト出演依頼・資料送付</p> <p>23 日(金)検証のためのヒアリング(長森南中学校教員)、周知啓発ワークショップゲスト出演依頼・資料送付</p> <p>26 日(月)周知啓発ワークショップのチラシ作成・打合せ・ゲスト出演依頼、周知啓発のための冊子についての打合せ</p> <p>27 日(火)ヒアリング依頼・打合せ、石川県実証についての打合せ</p> <p>28 日(水)検証作業についての打合せ・児童対象アンケート作成、石川県実証についての打合せ</p> <p>29 日(木)福井県第 1 回 WG 会議</p> <p>30 日(金)検証のためのヒアリング(正木小学校教員)、石川県・福井県実証についての打合せ、周知啓発ワークショップゲスト出演依頼</p> <p>11 月 2 日(月)検証のためのヒアリング(金沢市立泉中学校教員)、石川県公開実証授業第 2 回 WG 会議</p> <p>4 日(水)検証資料作成(薦原小学校アンケート比較表)</p> <p>6 日(金)資料作成</p> <p>9 日(月)周知啓発ワークショップゲスト出演依頼・依頼文書作成、福井県・愛知県実証についての打合せ</p>
--	---

	<p>9日(月)11日(水)12日(木)13日(金)24日(火)ヒアリング記録作成</p> <p>10日(火)映像製作案作成、周知啓発ワークショップのゲスト出演依頼・文書作成・チラシ作成作業、石川県実証についての打合せ</p> <p>12日(木)周知啓発ワークショップの打合せ</p> <p>13日(金)検証資料作成(薦原小学校アンケート比較表)、富山県実証についての打合せ、周知啓発ワークショップのチラシ作成作業、中部7県全体スケジュール表更新</p> <p>16日(月)形成推進委員会案内文書作成、周知啓発ワークショップゲスト出演依頼・チラシ作成作業、富山県実証についての打合せ</p> <p>18日(水)検証資料作成(古沢小学校アンケート比較表)</p> <p>19日(木)資料発送準備</p> <p>20日(金)委員の承諾書管理と交通費整理、形成推進委員会についての打合せ、周知啓発ワークショップのゲストとの打合せ・依頼文書作成・チラシ作成作業、映像案作成</p> <p>24日(火)チラシ作成作業・打合せ、長野県実証校との打合せ・WG会議案内文書作成・送付</p> <p>25日(水)ヒアリング資料作成、福井県アンケート作成</p> <p>26日(木)映像制作案作成、長野県実証に関する打合せ・作業</p> <p>27日(金)検証作業のための資料作成、福井県アンケート作成、形成推進委員会資料作成</p> <p>30日(月)検証資料作成、形成推進委員会打合せ・資料作成、東海3県の実証についての打合せ、長野県アンケート作成、福井県アンケート修正、周知啓発ワークショップチラシ作成作業</p> <p>12月1日(火)福井県実証についての打合せ</p> <p>2日(水)映像制作に関する打合せ、三重県実証に関する打合せ</p> <p>3日(木)第2回形成推進委員会開催</p> <p>4日(金)岐阜県・長野県の実証についての打合せ、周知啓発ワークショップ会場との打合せ、長野県第2回WG会議の資料作成・準備、岐阜県実証校授業参観・打合せ</p> <p>7日(月)北陸の運営についての打合せ、長野県第2回WG会議についての打合せ</p> <p>8日(火)長野県第2回WG会議の打合せ・資料作成、福井県実証についての打合せ・資料作成、映像制作についての打合せ</p> <p>9日(水)形成推進委員ヒアリング、長野県第2回WG会議資料準備、映像制作についての打合せ、岐阜県実証についての打合せ</p> <p>10日(木)福井県公開実証授業・第2回WG会議</p> <p>11日(金)千頭氏ヒアリング議事録作成、長野県公開実証授業・第2回WG会議</p> <p>14日(月)三重県実証についての打合せ</p> <p>15日(火)岐阜県実証についての打合せ、周知啓発ワークショップ出演依頼文書作成・ガス</p>
--	---

	<p>トとの打合せ</p> <p>16日(水)検証のためのヒアリングの打合せ・資料作成、岐阜県実証についての打合せ</p> <p>17日(木)第2回検証委員会開催</p> <p>18日(金)検証のためのヒアリング原稿確認依頼</p> <p>21日(月)岐阜県公開実証授業・第2回WG会議</p> <p>25日(金)問合せ対応、検証のためのヒアリング(金沢市立三馬小学校)</p> <p>1月4日(月)資料作成</p> <p>5日(火)東海の実証に関する事務局打合せ、検証作業についての打合せ</p> <p>6日(水)検証資料作成(三馬小学校アンケート入力)</p> <p>15日(金)検証のためのヒアリング(東浦町立緒川小学校)</p> <p>20日(水)映像制作についての打合せ</p> <p>21日(木)緒川小学校校長ヒアリング議事録作成</p> <p>22日(金)薦原小学校検証資料作成</p> <p>25日(月)映像制作に関する打合せ、検証作業に関する打合せ、全国連絡会資料作成</p> <p>29日(金)第2回全国連絡会、</p> <p>2月15日(月)北陸の運営に関する打合せ</p> <p>26日(金)29日(月)支払に関する作業</p> <p>3月2日(水)映像会社との打合せ、普及啓発のための冊子送付準備</p> <p>3日(木)4日(金)普及啓発のための冊子送付準備・発送</p>
協働 パートナー	事業を採択した事業者等、各県担当者、教育委員会、小中学校、NPO/NGO、運営会議委員、地方事務所など
評価指標・ 方法	<p>指標：地域のESDを推進するための基盤形成ネットワークの形成に寄与したか ESDを周知することができたか</p> <p>方法：各県ワーキンググループ及び委員会等ステークホルダーの評価及びアンケート</p>
成果・評価	<p>本事業は受託団体が実施したが、EPO 中部が関わることによって3年間の経年変化と成果の蓄積を可視化することができ、中部7県の各ステークホルダーの関係性を醸成することができた。</p> <p>今年度事業として、本事業の検証作業を行い、実証校である4つの学校の教員、地域の方などを対象にヒアリング、授業を受けた児童にアンケートをするインデプスタディとして把握した。結果として本事業の実証がきっかけとなり、学校全体のESD実践へ展開したなどの評価を得た。また、今年度も中部7県、それぞれの地域の特徴を生かした授業づくりと実践、実施体制づくりを行い、過去2年間において蓄積した実証のノウハウと成果を活かし、中部7県で共通課題を持ちより今年度の目標を設定し実施した。さらに、本事業で実施してきた学校と地域の連携による授業づくりの成果を共有するために、周知啓発冊子及びDVDの作成、東海、北陸地域での周知啓発ワークショップを実施した。周知啓発のための冊子・DVDに関しては、ESDや環境教育に関する研修等で配布・活用し、好評を得た。地域における協働によるESD推進を図ることができ、各県或いは各実証地域、学校と地域の協働、教員と地域の人々との学びあいを可能にした。</p> <p>本事業の委員を対象に実施したアンケートでは、本事業全体に対して「よかった(とてもよかった</p>

	<p>含) 」の回答が85%であった。周知啓発ワークショップでは、主に教員を対象とした第1回の参加者のアンケートでは、企画全体について、「よかった(とてもよかった含む)」が金沢開催で86%、名古屋開催では96%、「様々な立場の方からのお話を伺うことができ、これからどのように進めていったらよいか参考になった。新たなつながりもできてよかった」、「聞きたい取組について生の声を聴いて大変勉強になった」といった評価を得た。「ESDの理解が深まりましたか」という問いには、金沢開催で100%、名古屋開催では89%が「はい」と回答した。「単元の組み方、子ども達の課題意識の持たせ方、地域とのつながり方など参考になった」、「グループ討議で深まった」という理由であった。第2回(主に地域の方対象)のアンケートでは、企画全体について、金沢、名古屋ともに100%が「よかった(とてもよかった含む)」と回答し、「これからのESDを考えられて良かった」、「自分よりもっと深いところまで考えている方々と離れて、自分の考えも深まったように感じた」との評価を得た。「ESDの理解が深まりましたか」という問いには、金沢開催では94%、名古屋開催では91%が「はい」と回答した。「いろいろな課題(つながり方、人、場)をどうするかのよい議論ができた」、「他地域でのESDの実情から考える視点をもらった」とのコメントを得た。</p> <p>ワーキンググループメンバーを対象にしたアンケートにおいて、「本事業を通じ、新たにどのようなネットワークが構築されたか」という問いに対しては、「構築した」と回答した人が43%であった。「教員と地域の人、市の環境担当の人などの関係ができたと感じている」「様々な主体が事業により顔をあわせ、各自の課題や現場を共有できた」「ESDという共通言語により多様なワーキングメンバーが対話できた」「地域にはESDをキーワードとする環境教育学校支援プログラムの民間をベースに学校・行政と連携したモデル支援事業が始まった」とのコメントがあった。しかし、「基本的には既存のネットワークを活用しているので、新たなネットワークは構築されていない」という指摘もあった。「構築されたネットワークが今後地域に根差していくためにどのような仕掛け、サポートが必要か」という問いに対しては、「予算とケアをしてくれる組織、人」「どの教科にも実践可能である例を提示、周知する」「横展開を検討する」、「地域での交流会(年2回程度)」といった意見があった。</p>
--	---

④-イ カーボン・オフセット普及・啓発に関わる事業

目標	カーボン・オフセットの仕組みを地域に普及させ、地域の低炭素化を促進する。
業務内容	カーボン・オフセットについて広く普及啓発を行い、自治体、民間企業、NPO等の緩やかなネットワーク形成を支援する。
実施内容	<p>C-CONET事務局会議に参加し、今年度の事業内容についての協議を行った。カーボン・オフセットの学習ツールの活用方法の勉強会や、今年度事業に関する打合せ、役割分担、カーボン・オフセット商品のリストアップ等を行った。二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金(環境貢献型商品開発・販売促進支援事業)公募説明会に参加。中部カーボン・オフセット推進ネットワークとして(株)ウエストボックスが補助金申請を行い、交付が決定となり、今後の進め方について打合せを行い、(株)ウエストボックスと協働でカーボン・オフセット商品認証及び広報のためのパンフレットを作成した。他、名古屋市のフェアトレードタウン認定祝賀会をカーボン・オフセットすることとなり、祝賀会打合せに参加、算定を行い岐阜県J-VERによりオフセットを行った。</p> <p>〈主な業務内容〉</p>

	<p>●カーボン・オフセット商品カタログ作成業務</p> <p>11月10日(火)カーボン・オフセット申請の進捗確認 12日(木)商品の資料作成 30日(月)打合せ</p> <p>12月4日(金)デザイナーとの打合せ 7日(月)24日(木)打合せ 15日(火)作成準備 18日(金)作成備 21日(月)資料発送 28日(月)原稿作成</p> <p>1月4日(月)掲載項目の検討、資料発送 5日(火)印刷会社との打合せ、データの収集作業 7日(木)データ送付、原稿作成 8日(金)12日(火)原稿作成 14日(木)ウェストボックス鈴木社長インタビュー、原稿作成・デザインの見直し 15日(金)資料収集、鈴木社長ヒアリング議事録作成 18日(月)19日(火)20日(水)26日(火)27日(水)28日(木)原稿作成、資料収集</p> <p>2月5日(金)納品 12日(金)25日(木)送付準備</p> <p>3月15日(火)第3回地球温暖化に関する中部カンファレンスへの参加</p> <p>●その他</p> <p>5月14日(木)勉強会出席、参加記録まとめ 26日(火)(株)ウェストボックス打合せ</p> <p>6月15日(月)共同事業協定書・共同事業者構成員表押印・発送の手続き、打合せ 16日(火)今年度事業についての打合せ</p> <p>7月3日(金)フェアトレードタウン認定祝賀会打合せ参加 6日(月)フェアトレードタウン認定祝賀会打合せ議事録作成 9日(木)二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金(環境貢献型商品開発・販売促進支援事業)公募説明会参加 14日(火)(株)ウェストボックスとの打合せ 17日(金)打合せ議事録作成</p> <p>9月19日(土)フェアトレードタウン認定祝賀会にてカーボン・オフセット実施、カーボン・オフセット商品の紹介 25日(金)(株)ウェストボックス打合せ</p>
協働 パートナー	中部カーボン・オフセット推進ネットワーク他
評価指標・	指標：推進協議会ネットワーク加入者数、カーボン・オフセット認知度理解度

方法	方法：セミナー、イベントの際のアンケートや協働主体へのヒアリング
成果・評価	カーボン・オフセットを周知する冊子を作成し、その過程において、カーボン・オフセット商品を扱う事業者とのネットワークを広げた。冊子は1000部作成。第3回地球温暖化に関する中部カンファレンスにおいて参加者全員に配布、あいち地球温暖化防止戦略2020推進会議にて配布、他愛知県地球温暖化防止活動推進センター、来館者、掲載などに約400冊配布した。また、掲載事業者からの冊子要望のニーズが高い。協働主体の(株)ウェイストボックスをヒアリングしたところ、「今後カーボン・オフセット商品を増やすためにも本冊子は活用できる。多様な事業者の取組が一冊にまとまっているので説明がしやすい」というコメントがあった。カーボン・オフセットの仕組みを地域に普及させ、地域の低炭素化を促進するため、冊子による周知啓発を行った。

⑤ 外部資金事業(環境省事業以外)

⑤-1 平成27年度愛知県環境学習コーディネート業務支援

目標	学校と地域のマッチングによる環境学習を充実する。 学校と地域の連携を可能にする「環境学習コーディネート」の有効性を検証する。
業務内容	学校等の環境学習に対する問合せ、相談への対応及び、学校と地域の連携による授業づくり・実施のためのコーディネートの支援を行う。 ※愛知県環境学習等行動計画における施策
実施内容	愛知県内の講師・環境学習プログラム・教材のリストアップ、相談内容に応じて資料及び情報収集、それに基づく提案書作成、講師との調整、学校との打合せ支援を行った。木曽岬干拓地メガソーラーの案件に関しては、教育委員会との協働の可能性が高いため、EPO 中部のノウハウを活かし多様なステークホルダーとの打合せを重ね、愛知教育大学との連携事業としての展開を検討することができた。 事業実施期間：平成27年4月28日～平成28年3月31日 事業実施内容： 相談業務 14件 コーディネート業務 21件(4～6月8件 7～9月12件 10月～12月1件 1～3月0件) [主な業務] ●企画提案書作成に関する相談及び支援 4月6日(月)10日(金)14日(火)15日(水)16日(木) ●資料作成、提案書作成、報告書作成、情報収集、打合せ支援、授業実施支援等 4月20日(月)22日(水)23日(木)24日(金)27日(月)30日(木) 5月7日(木)8日(金)11日(月)12日(火)14日(木)15日(金)18日(月)19日(火) 20日(水)25日(月)27日(水)28日(木) 6月2日(火)3日(水)4日(木)8日(月)9日(火)10日(水)12日(金)15日(月)16日(火) 17日(水)18日(木)19日(金)23日(火)24日(水)25日(木)26日(金)30日(火) 7月1日(水)2日(木)7日(火)8日(水)9日(木)10日(金)14日(火)15日(水)17日(金) 21日(火)23日(木)28日(火)30日(木)31日(金) 8月3日(月)4日(火)5日(水)6日(木)7日(金)10日(月)11日(火)18日(火)19日(水)

	<p>21日(金)24日(月)25日(火)26日(水)27日(木)28日(金)</p> <p>9月1日(火)2日(水)4日(金)7日(月)8日(火)11日(金)12日(土)14日(月)15日(火)16日(水)17日(木)18日(金)24日(木)29日(火)28日(月)30日(水)</p> <p>10月2日(金)5日(月)6日(火)7日(水)9日(金)13日(火)14日(水)15日(木)16日(金)19日(月)20日(火)21日(水)22日(木)23日(金)26日(月)27日(火)28日(水)29日(木)30日(金)</p> <p>11月2日(月)4日(水)6日(金)9日(月)10日(火)12日(木)16日(月)17日(火)18日(水)19日(木)24日(火)25日(水)30日(月)</p> <p>12月1日(火)2日(水)3日(木)4日(金)7日(月)8日(火)9日(水)10日(木)14日(月)15日(火)16日(水)17日(木)18日(金)21日(月)22日(火)24日(木)25日(金)28日(月)</p> <p>1月4日(月)5日(火)6日(水)7日(木)12日(火)13日(水)15日(金)16日(土)18日(月)19日(火)20日(水)25日(月)26日(火)27日(水)</p> <p>2月1日(月)2日(火)8日(月)10日(水)12日(金)15日(月)16日(火)23日(火)24日(水)25日(木)26日(金)29日(月)</p> <p>3月1日(火)2日(水)7日(月)8日(火)9日(水)11日(金)15日(火)17日(木)</p> <p>●環境学習施設視察</p> <p>1月16日(土) メガソーラーたけとよ見学会同行</p> <p>2月16日(火) 木曾岬干拓地メガソーラー見学会同行</p>
協働 パートナー	愛知県環境部、受託団体他
評価指標・ 方法	<p>指標：協働による環境学習の取組が活性化したか。</p> <p>環境学習におけるコーディネートの有効性を検証することができたか。</p> <p>方法：相談者、実施者、受益者へのアンケート、協働主体の評価等</p>
成果・評価	<p>今年度は相談件数 14 件、コーディネート件数 21 件であった。学校や企業、市町村（東郷町、刈谷市、一宮市、大府市、春日井市）からの依頼があり、多様なセクターから本事業の利活用が高く、学校の環境教育・学習を実施できる講師の紹介、授業づくりに対する相談のニーズが高いことも把握した。昨年度に引き続き、本事業の PR を強化したため、新規の依頼が全体の 74%と多かった。また、リピーターの依頼も多かった。本事業に対して、依頼者 93%、講師 70%から満足度（大満足含）の評価を得て、地域にコーディネーターが求められていることがわかった。地域資源の発掘と情報の蓄積、ネットワークの拡充、コーディネーターのスキルアップなどマッチング機能を強化しており、学校と地域の連携による質の高い実践を可能にする機能となりうる。EPO 中部は、本事業が地域で継続し、より良い環境教育が実践されるよう、また他地域への波及効果にいたるよう、伴走支援を行った。</p> <p>学校と地域のマッチングによる環境学習を実施することができ、学校と地域の連携を可能にする「環境学習コーディネート」の有効性が利用者のアンケートによって検証された。</p>

⑤-2 独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金事業業務連携事業

<p>目標</p>	<p>独立行政法人環境再生保全機構の運営する地球環境基金と EPO 中部が相互に連携、協力して実施することで、中部 7 県の環境保全活動及び協働取組を推進する</p>
<p>業務内容</p>	<p>独立行政法人環境再生保全機構が運営する地球環境基金等を支援する。 ・地球環境基金の助成金要望に関する情報交換、相談、助言 ・地球環境基金の助成金に関する説明会開催 (地域の団体の資金調達の支援) ・地球環境基金の助成対象団体による自己評価の支援 ・EPO 業務における相談、情報提供業務 ※全国の EPO が取り組んでいる案件</p>
<p>実施内容</p>	<p>今年度の「地球環境基金に関する説明会」(独立行政法人環境再生保全機構)に出席し、昨年度の成果の共有、地球環境基金と EPO とのありかた、今年度地球環境基金の説明会について説明を受けた。</p> <p>今年度の開催地域を検討し、伊勢・志摩サミット開催も踏まえ、三重県での実施を決定した。昨年同様、地域の間支援組織との共催で行うこととし、NPO 法人みえ NPO ネットワークセンターと打合せ、開催準備・説明会開催を協働で実施した。説明会では参加型を重視し、参加者の活動紹介、参加者との意見交換、情報共有、また三重県や環境省の施策紹介、伊勢志摩サミットに向けての NGONPO の動向についての紹介等を対話形式で行った。</p> <p>他、独立行政法人環境再生保全機構の事業である「全国ユース環境活動発表大会」の中部地区申請者の事前審査を行い、審査会に出席した。</p> <p>事業名：平成 28 年度地球環境基金助成金説明会 & 三重環境 NPO 交流会 「地球環境基金助成金」を獲得して、環境活動をパワーアップ！過去と今、未来の三重を創造する</p> <p>日時：12 月 19 日(土) 13:00～16:30 場所：みえ市民活動ボランティアセンター ミーティングルーム AB 主催：独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金部 協力：特定非営利活動法人みえ NPO ネットワークセンター 特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ 環境省中部環境パートナーシップオフィス</p> <p>参加者：26 名(一般参加者 17 名 関係者及びスタッフ 9 名) 〈主な業務〉 8 月 26 日(水)地球環境基金説明会 9 月 28 日(月)説明会実施場所の検討 30 日(水)説明会実施場所等打合せ 10 月 5 日(月)説明会準備作業 7 日(水)説明会企画案作成 15 日(木)説明会実施のための打合せ及び調整 16 日(金)説明会の会場申請、ゲスト調整、企画書作成</p>

	<p>20日(火)説明会についてのヒアリング(三重)</p> <p>21日(水)22日(木)企画書・資料作成</p> <p>24日(土)桑竹会主催「竹の十三夜」に参加(地球環境基金説明会の説明)</p> <p>26日(月)27日(火)29日(木)30日(金)11月5日(木)6日(金)9日(月)説明会チラシ作成・校正</p> <p>29日(木)チラシ発送のためのリスト作成</p> <p>30日(金)説明会契約事務作業、関係団体との調整</p> <p>11月6日(金)ゲストとの調整</p> <p>10日(火)契約書の作成と送付</p> <p>11日(水)説明会チラシの修正作業</p> <p>12日(木)13日(金)説明会チラシの校正・打合せ</p> <p>16日(月)みえNPOネットワークセンターに資料送付、説明会チラシ校正</p> <p>18日(水)チラシ発送準備</p> <p>19日(木)送付先リスト作成</p> <p>20日(金)説明会チラシ発送準備・発送、資料修正</p> <p>24日(火)みえNPOネットワークセンターと挨拶・打合せ</p> <p>26日(木)送付先リスト作成、広報協力依頼</p> <p>27日(金)説明会案内発送準備</p> <p>30日(月)広報協力依頼</p> <p>12月1日(火)説明会申込受付</p> <p>2日(水)資料作成</p> <p>2日(水)3日(木)説明会準備</p> <p>4日(金)9日(水)10日(木)14日(月)15日(火)資料作成・印刷・準備</p> <p>9日(水)情報共有</p> <p>11日(金)広報協力依頼</p> <p>16日(水)申込受付</p> <p>17日(木)地球環境基金説明会開催事務・資料作成・資料発送・広報等</p> <p>18日(金)説明会開催準備・調整、広報、ゲストとの調整、全国ユース環境活動発表大会審査作業</p> <p>19日(土)地球環境基金助成金説明会</p> <p>21日(月)資料整理、全国ユース環境活動発表大会審査作業</p> <p>22日(火)第1回全国ユース環境活動発表大会審査会出席、資料作成</p> <p>24日(木)申請に関する打合せ、報告書作成作業</p> <p>28日(月)問合せ、報告書作成</p> <p>1月4日(月)5日(火)報告書作成</p> <p>5日(火)申請希望者へのアドバイス</p> <p>5日(火)6日(水)資料作成</p>
--	--

	<p>7日(木)8日(金)報告書作成、資料作成、申請者へのアドバイス</p> <p>12日(火)報告書作成、資料作成</p> <p>14日(木)資料作成、報告書の確認依頼</p> <p>18日(月)請求書・請書等の作成・押印、報告書修正・送付</p> <p>19日(火)資料作成</p> <p>2月1日(月)資料送付</p> <p>9日(火)確認作業</p> <p>10日(水)資料作成・準備</p> <p>12日(金)書類修正</p>
協働 パートナー	独立行政法人環境再生保全機構、説明会実施地域の中間支援組織等
評価指標・ 方法	<p>指標：地球環境基金申請者、助成団体が増えたか、地域バランスはよいか。 地球環境基金説明会への参加者は確保できたか。</p> <p>方法：独立行政法人環境再生保全機構へのヒアリング、説明会参加者に対するアンケート実施</p>
成果・評価	<p>三重県での説明会開催は初めてであったが、多くの参加団体を得ることができた。参加団体の活動紹介や課題を共有し、地球環境基金を活用して実現したいことなどを聞き合い、また三重県の中間支援組織との連携にて実施したこともあり、関係性を醸成することができた。</p> <p>参加者アンケートから、「助成金説明に参加して有意義だった（「とても有意義だった」を含む）」と答えた参加者は100%だった。「基金について、文字からの情報しかなかったのが生の声で説明を聞いて、イメージを掴めプラスになった。素晴らしい説明会だ」「要所で要点をEPOスタッフがまとめてくれたのが素晴らしかった」「申請を出す気はなかったが、今回話を聞いてやらなくてはいけないと思った」との意見を得た。後日数団体から申請書の書き方等の問い合わせをいただいた。</p> <p>また今回協働実施をした、特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンターからは、「環境系NPOを含め、NPOに対しどのようなサポートをしていくべきなのか、どうやって一緒に成長をしていけば良いのかを、改めて考えるきっかけとなり、とても有意義な時間となった」とのコメントを得た。地球環境基金とEPO中部が相互に連携、協力して実施することで、三重県の環境保全活動及び協働取組を担う主体との関係性ができた。</p> <p>主催者である独立行政法人環境再生保全機構は、「平成28年度の説明会の中で、三重での説明会が最後の開催になるが、予想を上回る多くの参加者を得ることができた。東京の団体からの申請が圧倒的に多いので、今後も地域でこうして説明会を開いていきたい」とのコメントがあった。EPO中部のネットワークを活用した広報により地球環境基金助成金説明会への参加者を確保できたことの評価だと捉えている。</p> <p>「全国ユース環境活動発表大会」の審査に関しては、EPO中部が把握している情報を提供し、審査会にてその情報が活用された。</p>

⑤-3 日本 NPO センター主催 Green Gift プロジェクト支援

目標	NPO が他分野の NPO、行政、企業と協働で、子ども、親子を対象にした地域の環境活動を体験する機会を創り、環境への意識、行動意欲を育み、持続可能な社会のための担い手を育てる。
業務内容	東京海上日動火災保険(株)、中部地域の支社・支店等と地域の環境活動団体等と協働で、子どもやその家族が参加・体験する環境教育プログラムを企画・実施する。※全国 EPO ネットワークによる案件
実施内容	<p>今年度は岐阜での実施となり、昨年同様地域の環境 NPO である「森・川・海ひだみの流域連携協議会」と連携し、今年度の推進体制や実施プログラム、スケジュールについての打合せを行った。8～9 月にプログラムを実施し、運営の支援やヒアリング等を行った。東京で行われた報告会、次年度のキックオフ会議に出席し、全国の取組を共有し次年度の本事業の展開について協議を図った。次年度は、福井県と岐阜県で実施予定である（事業年度平成 27 年 9 月～平成 28 年 10 月）。新たに福井県での実施となり、東京海上日動火災保険(株)福井支店にて事業の説明や福井県のステークホルダーとの調整や事業内容の検討、契約手続きを進めた。</p> <p>〈主な業務〉</p> <p>5 月 15 日(金)事務作業</p> <p>6 月 8 日(月)実施 NPO 訪問準備 17 日(水)打合せ (NPO 法人森と水辺の技術研究会 野村氏) 18 日(木)打合せ記録作成 (NPO 法人森と水辺の技術研究会野村氏)</p> <p>7 月 6 日(月)岐阜支店訪問日程調整 7 日(火)イベント一覧作成 22 日(水)イベント日程の調整 24 日(金)過年度イベント調査 28 日(火)岐阜支社訪問資料作成 29 日(水)30 日(木)31 日(金)ヒアリング実施のための準備</p> <p>8 月 1 日(土)中濃・武儀川イベントヒアリング 5 日(水)岐阜支店打合せ・ヒアリング 3 日(月)4 日(火)5 日(水)6 日(木)7 日(金)10 日(月)17 日(月)ヒアリング記録作成 10 日(月)事業スケジュール作成 11 日(火)次年度福井県で行う際の NPO に関する打合せ 19 日(水)福井県 NPO との打合せ 21 日(金)プログラム参加・ヒアリング準備、ヒアリング記録作成 23 日(日)上石津プログラム参加・ヒアリング 25 日(火)26 日(水)27 日(木)ヒアリング記録作成 31 日(月)イベント記録作成</p> <p>9 月 7 日(月)報告書作成 9 日(水)10 日(木)11 日(金)14 日(月)ヒアリングレポート・報告書作成、次年度プログラ</p>

	<p>ム打合せ日程調整等</p> <p>16日(水)キックオフミーティング&報告会</p> <p>18日(金)東京海上日動火災保険(株)福井支店訪問、NPOとの顔合わせ、資料用意、報告書作成、ヒアリング記録確認</p> <p>24日(木)報告書作成、ヒアリング編集まとめ</p> <p>25日(金)福井県での事業について県と打合せ、レポート作成、岐阜プログラム参加の準備</p> <p>27日(日)飛騨清見プログラム参加・取材</p> <p>28日(月)29日(火)30日(水)ヒアリングレポート・報告書作成、ヒアリング対象者に原稿依頼・修正</p> <p>10月1日(木)2日(金)5日(月)打合せ記録作成</p> <p>1日(木)報告書作成</p> <p>2日(金)13日(火)ヒアリング資料作成</p> <p>13日(火)事業報告書作成</p> <p>14日(水)ヒアリング原稿問合せ</p> <p>15日(木)ヒアリング記録確認依頼</p> <p>19日(月)ヒアリング記録問合せ</p> <p>21日(水)22日(木)事業報告書作成</p> <p>23日(金)契約書内容確認済の連絡、記録作成</p> <p>27日(火)記録作成</p> <p>11月9日(月)報告書作成</p> <p>10日(火)契約書の作成と送付</p> <p>11日(水)17日(火)18日(水)27日(金)報告書作成</p> <p>1月15日(金)26日(火)報告書確認依頼</p> <p>3月2日(水)事務局打合せ</p>
協働 パートナー	東京海上日動火災保険(株)、認定NPO法人日本NPOセンター、森・川・海ひだみの流域連携協議会他
評価指標・ 方法	<p>指標：地域のステークホルダーの関係性を育む(強化する)ことができたか。</p> <p>参加者が満足する事業となったか。</p> <p>主催者が満足する事業となったか。</p> <p>方法：関係者へのヒアリング及び参加者へのアンケート等</p>
成果・評価	<p>昨年度に引き続き岐阜で実施し、本プログラムの成果が活かされ地域主導で継続されるための「岐阜モデル」の構築を目指した。関係者にヒアリングをしたところ、協働した「森・川・海ひだみの流域連携協議会」からは「こんなたくさんのいろいろな人が参加してくれると、実施する側も生き生き、わくわく、活動に活気がでます。昨年より参加者が多いのも嬉しいし、この活動をぜひ継続していきたい」、岐阜支店担当者は、「本事業の環境学習・活動は、環境問題の解決という面もあるが、楽しく地域の自然環境に触れるという非日常の自然体験に価値がある。自分の地域にあるフィールドや自然環境をテーマにした活動に代理店は満足している。自分の価値観が変わる刺激</p>

	<p>が、楽しさに繋がっているようだ。代理店は本事業を、顧客との関係強化に活用し、代理店のブランドを高める1つの具材としている」とのコメントを得た。代理店は「Green Gift プロジェクトは、地域社会とのつながりをつくるための手段の一つとして捉えている。現状は、東京海上日動火災保険(株)と特定非営利活動法人日本 NPO センターのプログラムであるが、将来的には、代理店の名前も共催として掲げて本事業を展開できたらと考えている」とコメントを得た。プログラムに参加した親子からは、「近くの川の生きものを知りたかったけど、自分達だけでは行けないから、このイベントはぴったりでした」「いきもの大好きなので、とっても楽しかった」といった声を得ることができた。</p> <p>本事業によって、地域のステークホルダーの関係性が生まれ、その協働により実施されているプログラムに参加する地域の子どもやその親の満足度も高く、地域ニーズに添えていると捉えられる。また、岐阜支店と代理店の積極的参加により実施した3ヶ所の地域（全5ヶ所で実施）において本プログラムを継続実施するための資金循環を検討する主体の形成、体制ができつつある。</p>
--	---

(5) 地域における協働による ESD の取組支援

① ESD 環境教育プログラム実証事業(支援)

目標	地域における協働による ESD の取組支援と、次年度以降での地域での取組の継続及び展開のための施策提案を行う。
業務内容	<p>環境省が実施する「ESD 環境教育プログラム実証事業」が学校と地域の協働により円滑に実施されるために、形成推進委員会及び各県のワーキンググループ会議に参加(各県それぞれ1回)し、下記の事業を通して学校と地域の関係性の育み、地域における ESD 推進基盤の形成を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境省がとりまとめた ESD モデルプログラムを基に、各県の地域性を踏まえた小中学生向けの ESD プログラムの作成・実証の支援 ・各県でワークショップを開催し、作成したプログラムの教育現場等での実践・実証の支援 ・実行委員会、各都道府県に多様なステークホルダーによるワーキンググループの設置と協議の支援 ・本事業の成果及び課題の検証のための委員会への参加 ・本事業を通しての ESD 普及の支援 <p>また、本事業は今年度で終了するため(3年間実施)、その成果をまとめ、検証し、学校と地域の連携及び地域の ESD 推進基盤の強化を支援する施策の提案づくりをする。</p>
実施内容	<p>今年度事業の受託団体が決定するまでは、一昨年度、昨年度実施した本事業についての問合せ対応、広報や取組のまとめ作業を行った。また、今年度事業の応募団体への情報提供や企画提案のアドバイス、相談に対応した。地方事務所及び GEOC との情報共有を行った。</p> <p>5月末に受託団体が決定以降は、受託団体と打合せを重ね、一昨年度、昨年度の事業の成果や課題、今度達成すべき目標や可能性について整理し、本事業にインプットした。また、実証校の選定、地域のステークホルダーを紹介・調整やアドバイスをを行い、必要に応じて受託業者や委員、実証校からの問合せ、相談に対応した。</p> <p>形成推進委員会委員及び検証委員会委員として、過去2年の成果と課題を踏まえ、今年度の本事業のコンセプトを整理や事業の進捗状況や目標を鑑みた論点や会議の設計、委員間の連</p>

携を強化した。各県での WG 会議・実証に関しては、ESD の視点や手法、これまでの実証において得た情報等の提供を行った。また、受託団体や委員、実証校との問合せや相談に対応し、各県の実証において、実証校の授業案の作成支援やアドバイス、ESD の手法のインプットを行い、公開実証授業及びワーキンググループ会議に参加した。実証に係る事務局運営や資料の作成支援等を行った。また、過去に制作した映像教材の編集及びパッケージ化についての資料作成及び企画提案のための情報収集や、コンセプトづくり、企画の調整、ESD の視点の投入や映像シナリオや出演者の調整を検証委員、受託団体、映像制作会社と打合せをし制作を支援した。

本事業の 3 年間のまとめとして、事業全体の検証作業の支援として検証においての方針や手法及び項目、分析、進め方についての打合せをし、アドバイス、ヒアリングやまとめ作業を行った。特に検証のための映像制作に関して、制作会社とコンセプトの確認や、過去の実証を踏まえて盛り込むべき内容の精査、ESD の視点や手法のインプットを行った。周知啓発冊子の作成においては、コンセプトや企画の調整、ESD 視点の投入や原稿作成を支援した。周知啓発ワークショップの実施においては、コンセプトや企画の調整、ESD の視点の投入を行った。事業報告書の作成支援として、アンケートの分析や、事業の分析・まとめ方の支援を行った。全国事務局と連携し、全国連絡会への参加、及び資料作成支援や域版プログラムガイドブック原稿の作成を行った。

〈主な業務〉

[形成推進委員会]

●第 1 回

日時： 7 月 1 日 15:00～18:00

場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス

出席者：形成推進委員 7 名、地方環境事務所 2 名、受託団体 3 名

6 月 4 日(木)6 日(火)17 日(水)30 日(火)7 月 1 日(水)打合せ・資料作成・調整・準備

●第 2 回

日時： 12 月 3 日(木) 15:00～18:00

場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス

出席者：形成推進委員 8 名(代理 1 名)、地方環境事務所 3 名、受託団体 2 名

12 月 1 日(火)2 日(水)3 日(木)第 2 回形成推進委員会資料作成

3 日(木)事務局会議

●第 3 回

日時： 2 月 9 日(火) 14:00～17:00

場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス

出席者：形成推進委員 9 名、地方環境事務所 2 名、受託団体 2 名

1 月 12 日(火)18 日(月)21 日(木)2 月 1 日(月)2 日(火)8 日(月)第 3 回形成推進委員会準備

[検証委員会]

●第 1 回

日時： 7 月 10 日(金) 14:00～17:00

	<p>場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス 出席者：検証委員 6 名、地方事務所 2 名、事務局 5 名(映像担当者 3 名) 7 月 2 日(木)検証委員会資料作成、会議準備</p> <p>●第 2 回 日時：12 月 17 日(木) 14:00～17:00 場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス 出席者：検証委員 6 名、地方事務所 3 名、事務局 4 名(内映像担当者 2 名)、プザーバー 2 名、計 15 名 12 月 8 日(火)14 日(月)16 日(水)第 2 回検証委員会資料作成 [周知啓発ワークショップ]</p> <p>●北陸地域 10 月 15 日(木)12 月 17 日(木)打合せ 12 月 7 日(月)14 日(月)16 日(水)18 日(金)21 日(月)24 日(木)25 日(金)ゲスト打合せ・ 広報・準備・資料作成・準備等 26 日(土)周知啓発ワークショップ(北陸)開催 28 日(月)周知啓発ワークショップ振り返り作業</p> <p>●東海 1 月 4 日(月)5 日(火)6 日(水)12 日(火)15 日(金)18 日(月)19 日(火)21 日(木) 2 月 1 日(月)9 日(火)12 日(金)15 日(月)16 日(火)ゲスト打合せ・広報・準備・資料作成・ 準備等 2 月 18 日(木)周知啓発ワークショップ(東海)開催 [冊子原稿作成・打合せ] 12 月 17 日(木)18 日(金)21 日(月)22 日(火)24 日(木)28 日(月)冊子制作作業 1 月 4 日(月)5 日(火)6 日(水)7 日(木)8 日(金)12 日(火)15 日(金)18 日(月)19 日 (火)21 日(木)26 日(火)27 日(水)28 日(木) 2 月 1 日(月)2 日(火)4 日(木)8 日(月)10 日(水)12 日(金)16 日(火)17 日(水) [映像作成支援] 1 月 7 日(木)15 日(金)26 日(火) 2 月 22 日(月)23 日(火)24 日(水)26 日(金) 3 月 3 日(木) [報告書作成支援] 2 月 2 日(火)4 日(木)8 日(月)12 日(金)16 日(火)17 日(水)18 日(木)19 日(金)22 日 (月)23 日(火)24 日(水)25 日(木)26 日(金)29 日(月) 3 月 1 日(火)3 日(木) [その他] 5 月 1 日(金)8 日(金)11 日(月)13 日(水)15 日(金)25 日(月)26 日(火)28 日(木) 29 日(金)事業についての相談・資料作成</p>
--	---

	<p>15日(金)企画書提出</p> <p>19日(火)20日(水)21日(木)過去2年のまとめ資料作成</p> <p>22日(金)本年度実証校についての相談</p> <p>6月1日(月)2日(火)資料の作成</p> <p>3日(水)受託団体打合せ、実証校調整</p> <p>4日(木)実証校調整</p> <p>4日(木)5日(金)9日(火)11日(木)資料作成</p> <p>8日(月)中部地方環境事務所との打合せ、実証校調整</p> <p>10日(水)実証校調整</p> <p>12日(金)今年度事業について担当者との打合せ、実証校選定にあたってのアドバイス、これまでの成果及び課題共有</p> <p>16日(火)実証校選定についてのアドバイス、形成推進委員会及び検証委員会の論点についての整理、半田市立板山小学校 ESD 環境実証事業の説明</p> <p>17日(水)岐阜県 WG 委員打合せのための資料作成</p> <p>25日(木)実証校打合せ、長野県 WG 委員調整</p> <p>30日(火)実証校調整</p> <p>7月1日(水)検証作業についての打合せ</p> <p>2日(木)岐阜県実証校打合せ</p> <p>6日(月)東海地域運営について打合せ・資料準備、検証作業企画書作成</p> <p>7日(火)8日(水)検証作業企画書作成、過去実施したアンケート集計のまとめなど</p> <p>10日(金)定例会用資料作成</p> <p>14日(火)東海地域実証授業に関する打合せ</p> <p>15日(水)16日(木)検証作業に関するヒアリング、企画書作成</p> <p>21日(火)検証作業ヒアリング及び企画案まとめ</p> <p>22日(水)WG 資料作成、検証作業企画案、アンケート案作成</p> <p>23日(木)愛知県 WG 会議、検証作業案についての打合せ(鈴木氏)</p> <p>28日(火)検証作業ヒアリング、企画案、アンケートまとめ</p> <p>29日(水)ESD 環境教育プログラム成果報告会・交流会参加、中部ブロックの取組報告、検証作業ヒアリング</p> <p>30日(木)検証作業企画書リメイク作業</p> <p>8月3日(月)富山県 WG 会議、検証作業案について打合せ</p> <p>10日(月)検証作業について打合せ、北陸運営体制について打合せ</p> <p>11日(火)岐阜県 WG 会議、検証作業についての打合せ</p> <p>24日(月)三重県 WG 会議、検証作業について打合せ</p> <p>9月2日(水)長野県第1回 WG 会議、長野県環境保全協会ヒアリング</p> <p>3日(木)検証に関してのヒアリング</p> <p>4日(金)7日(月)8日(火)ESD 映像教材シナリオ改善作業</p>
--	--

	<p>9日(水)検証作業ヒアリング等準備</p> <p>10日(木)検証についてのヒアリング打合せ・依頼・資料作成、石川県第1回WG会議、検証のための映像制作作業、検証のための映像シナリオ作成作業</p> <p>11日(金)石川県実証に関する打合せ、検証のためのヒアリング(東海市立富木島小学校、東浦町立緒川小学校、東浦町立藤江小学校、薦原小学校の準備)</p> <p>14日(月)検証のためのヒアリング(ギフチョウネットワーク、名張市立薦原小学校、名張市立美旗小学校)、検証のための映像シナリオ改善作業</p> <p>16日(水)検証のための映像シナリオ改善作業、中部中学校、板山小学校授業案打合せ</p> <p>24日(木)検証のための映像制作打合せ、改善作業、検証ヒアリング整理、検証のためのアンケート作成、富山県授業案アドバイス・打合せ</p> <p>25日(金)富山県授業案についての打合せ、映像作成案の構成検討、検証作業についての打合せ</p> <p>28日(月)映像シナリオ作業、富山県・愛知県・三重県・岐阜県児童生徒を対象にしたアンケート検討</p> <p>30日(水)児童生徒を対象にしたアンケート検討、検証に関するヒアリング内容作業</p> <p>10月2日(金)富山県公開実証授業・第2回WG会議、検証作業についての打合せ</p> <p>5日(月)三重県中部中学校プログラム作成支援</p> <p>6日(火)周知啓発ワークショップ企画書打合せ、検証作業ヒアリング</p> <p>7日(水)検証作業打合せ、映像製作に関する打合せ</p> <p>8日(木)四日市中部中学校アンケート及び授業プログラム作成支援・打合せ、北陸での実証事業についての打合せ</p> <p>9日(金)映像製作に関する作業支援</p> <p>13日(火)愛知県公開実証授業・第2回WG会議、映像製作支援、青山中学校授業案支援、中部中学校授業案支援、周知啓発ワークショップ企画作業</p> <p>14日(水)映像製作作業支援、授業プログラム作成支援、周知啓発ワークショップ企画調整</p> <p>16日(金)映像製作作成支援</p> <p>19日(月)中部中学校授業プログラム作成支援、検証作業ヒアリングまとめ編集作業</p> <p>20日(火)三重県公開実証授業・第2回WG会議、周知啓発ワークショップについての打合せ、映像作成支援、検証作業ヒアリングまとめ編集作業</p> <p>21日(水)映像作成支援作業、検証のためのヒアリング(津田学園小学校教員対象)、検証作業についての打合せ、周知啓発ワークショップについての打合せ、検証作業ヒアリングまとめ編集作業</p> <p>23日(金)検証のためのヒアリング(長森南中学校教員対象)、検証ヒアリングまとめ編集、周知啓発ワークショップ企画調整</p> <p>26日(月)冊子作成打合せ、映像製作支援、検証ヒアリングまとめ作業支援</p> <p>27日(火)映像製作作業支援、検証のための冊子構成検討作業、検証ヒアリングまとめ作</p>
--	--

	<p>業支援、周知啓発企画調整</p> <p>29日(木)検証ヒアリングまとめ作業、映像製作作業支援、</p> <p>30日(金)映像製作作業支援、周知啓発ワークショップ企画作成支援、検証冊子作成支援、検証ヒアリングまとめ作業支援、検証ヒアリング支援</p> <p>11月2日(月)検証のためのヒアリング(金沢市立泉中学校教員)、石川県公開実証授業・第2回WG会議</p> <p>5日(木)6日(金)9日(月)10日(火)11日(水)12日(木)周知啓発ワークショップ企画書作成・ゲスト調整、検証作業、冊子作成作業</p> <p>13日(金)16日(月)17日(火)18日(水)19日(木)24日(火)検証作業まとめ、映像教材シナリオ作成</p> <p>24日(火)インデックススタディ作成、長野県実証校との打合せ</p> <p>25日(水)インデックススタディ作成、形成推進委員会資料作成</p> <p>26日(木)検証作業まとめ、インデックススタディ作成、長野県実証について打合せ</p> <p>26日(木)27日(金)30日(月)形成推進委員会資料作成、</p> <p>27日(金)検証DVD企画作成支援</p> <p>30日(月)事務局打合せ、検証作業まとめ</p> <p>12月1日(火)検証作業資料作成</p> <p>4日(金)検証作業</p> <p>7日(月)検証作業資料作成</p> <p>9日(水)映像制作についての打合せ</p> <p>10日(木)福井県公開実証授業・第2回WG会議、周知啓発ワークショップの打合せ</p> <p>11日(金)長野県公開実証授業・第2回WG会議出席</p> <p>14日(月)検証作業ヒアリング編集まとめ、映像制作作業</p> <p>15日(火)16日(水)検証作業まとめ</p> <p>16日(水)インデックススタディ作成、ヒアリングまとめ</p> <p>17日(木)事務局会議、第2回検証委員会出席</p> <p>21日(月)岐阜県公開実証授業・第2回WG会議</p> <p>24日(木)映像制作支援作業</p> <p>25日(金)検証のためのヒアリング(金沢市立三馬小学校)</p> <p>3月10日(木)11日(金)ESD関連資料の送付</p>
協働 パートナー	中部7県でモデル事業採択となった団体等、各県担当者、教育委員会、小中学校、NPO/NGO、運営会議委員、地方事務所など
評価指標・ 方法	<p>指標：学校と地域の連携による事業展開ができたか。</p> <p>ワーキンググループが地域のESD推進基盤の核となったか。</p> <p>次年度以降のESD推進のための施策の検討及び提案をつくることができたか。</p> <p>方法：各県ワーキンググループ及び委員会等ステークホルダーの評価及びアンケート</p>
成果・評価	過去2年間の成果と課題を踏まえ、今年度事業を実証した。今年度は地域のステークホルダーに

	<p>よる、実証校の選定・調整など地域の主体的な実践ができた。また、いくつかの地域には学校のESD 授業づくりをサポートするネットワーク、支援体制が構築されている。</p> <p>形成推進委員会において設定した共通目標によって、学校と地域の関係性及び授業の深まりができ、ESD 授業を受けた子どもたちの自主性、学習意欲の高まりや、育みたい力を設定し、実施したことによる力の育み、子ども、教員、地域の人が地域の課題に対して当事者として関わる力と態度を育む可能性を示すことができた。検証作業を行ったことで、作成したプログラムが継続、ブラッシュアップして実施されていること、学校の教員のスキルとなって授業に活かされていること、ESD の視点を取り入れた授業づくりをすることにより、子どもが変わり、教員が変わり、学校、地域にも変化があったことを把握した。</p> <p>ワーキンググループ委員を対象にしたアンケートやヒアリングでは、「みんなで単元構想を行うことで、多様な視点から学習を創りだすことができた」「若い教員が ESD に取組むことで骨太に成長していくことを、学校としても喜んでいる。地域の方々が、これらの実践のように、地域について学習したり、地域のSD の課題についてであったりする学校の取組を、歓迎し支援してくれた」という評価を得た。また、教員を対象にしたアンケートでは、本事業に対して、91%が「よかった（とてもよかった含む）」と回答し、「一授業に対し、様々な職種や立場の方が関わることで、新たなものの見方、考え方を構築することができた」、「担任一人では、考えつかない展開や外部ティーチャーとの交流など、幅広い学習内容を考えて進められた」との意見を得た。ワーキンググループ委員、教員ともに学校と地域の連携による事業展開による効果を把握した。</p> <p>本事業の検証作業、作成した普及啓発のための冊子、及び映像教材を活用して学校と地域が連携した授業づくりの価値や評価を伝え、より多くの学校で実施される環境づくりを進めることが必要である。さらに、本事業の成果を最大限に活用するために、後継となる事業の企画及び実施に向けた方策の検討が重要である</p>
--	--

② 地域における協働による ESD の取組支援

目標	「SDのためのEであること」を多様な主体に伝え、ESDに対する理解を促進し、地域における協働によるESD取組の支援を行う。特に、ESDの実践を進める学校やNPO/NGOの連携を強化し、学校と地域の連携による実践を拡大する。と同時に、自治体(教育委員会含)の政策づくりや企業のESD取組を促進する。
業務内容	<p>中部7県の多様な主体が実施しているESD施策に参加、支援をし、協働によるESD取組の促進、活性化を促す。</p> <p>①中部ESD拠点事業への参加 ②なごや環境大学「ESD推進チーム」への参加 ③多様な主体が行うESD施策への参加及び支援等 ④多様な主体が行うESD研修や講座の支援</p>
実施内容	中部7県内におけるESD取組促進のための、地域や主体(中部ESD拠点、なごや環境大学、小・中学校、自治体)のニーズに対応するための支援を実施した。愛知県の施策である「かがやけ☆サステナ研究所」、愛知県教育委員会「愛知県ユネスコスクール支援会議」、北陸と東海の連携による「北陸東海ユネスコスクールの交流会」多様な主体を対象とした「ESD研修」、愛

	<p>知県環境学習コーディネーター事業である「木曾岬メガソーラーにおける環境学習」、環境省「環境教育・ESD カリキュラム研修」等に積極的に関わった。地域のニーズをもとに、ESD に関する研修や会議への参加、ESD 関連する研修等の周知広報、冊子の送付などを行った。また、中部 ESD 拠点の組織編成に関し、EPO 中部としての関わり方等を検討した。</p> <p>〈主な業務〉</p> <p>[中部 ESD 拠点事業への参加]</p> <p>11月10日(火)中部 ESD 拠点についての打合せ 29日(日)中部 ESD 拠点ネットワーク会合 2015</p> <p>2月19日(金)中部 ESD 拠点会議出席</p> <p>[なごや環境大学「ESD 推進チーム」への参加]</p> <p>5月8日(金)ESD チーム会議 12日(火)ESD 推進チーム会議</p> <p>6月18日(木)ESD 推進チーム会議出席</p> <p>7月16日(木)なごや環境大学 ESD 推進チーム会議</p> <p>8月7日(金)なごや環境大学 ESD 推進チーム名古屋市教育委員会取材 20日(木)なごや環境大学 ESD 推進チーム会議</p> <p>10月7日(水)ESD 推進チーム会議 8日(木)ESD 推進チーム会議打合せ</p> <p>11月6日(金)ESD 推進チーム会議</p> <p>[多様な主体が行う ESD 施策への参加及び支援等]</p> <p>4月9日(木)四日市市教育委員会ヒアリング準備 14日(火)四日市市教育委員会ヒアリング 17日(金)四日市市立中部中学校ヒアリング 22日(水)ESD 資料発送、ESD 環境教育プログラム実証等事業についての相談</p> <p>7月13日(月)千頭氏打合せ 16日(木)岐阜聖徳学園大学附属中学校の取組ヒアリング、岐阜ユネスコ協会ヒアリング、 24日(金)ESD に関する資料送付 27日(月)ESD に関する資料送付</p> <p>8月20日(木)国際センターヒアリング</p> <p>10月22日(木)青山中学校ゲストティーチャーの紹介・授業案への支援、ユネスコスクールマッチング調整(岐阜県・愛知県)</p> <p>12月5日(土)第7回ユネスコスクール全国大会</p> <p>[多様な主体が行う ESD 研修や講座の支援]</p> <p>●愛知県教育委員会生涯学習課愛知県ユネスコスクール支援事業</p> <p>4月28日(火)愛知県教育委員会生涯学習課愛知県ユネスコスクール支援事業に関する会議出席</p> <p>5月18日(月)愛知県教育委員会ユネスコスクール支援事業打合せ</p>
--	---

	<p>20日(水)22日(金)25日(月)26日(火)29日(金)愛知県教育委員会ユネスコスクール支援事業作業(講師紹介)</p> <p>7月2日(木)愛知県ユネスコスクール支援会議出席</p> <p>10月10日(土)愛知県ユネスコスクール交流会</p> <p>12月18日(金)愛知県ユネスコスクール指導者交流会</p> <p>●東海北陸ユネスコスクール参加校の調整</p> <p>5月29日(金)東海北陸ユネスコスクール参加校の調整</p> <p>6月1日(月)東海・北陸ユネスコスクール交流会参加校募集</p> <p>3日(水)東海・北陸ユネスコスクール交流会参加校選考・リスト化</p> <p>5日(金)10日(水)12日(金)東海・北陸ユネスコスクール交流会参加校選定・調整</p> <p>15日(月)東海3県のユネスコスクールのリスト作成、実証校選定の情報提供アドバイス</p> <p>16日(火)東海北陸ユネスコスクール交流会の説明、愛知県内のユネスコスクールの活動状況の説明</p> <p>6月22日(月)東海・北陸ユネスコスクール交流会参加校選定・調整・依頼</p> <p>23日(火)30日(火)7月3日(金)東海・北陸ユネスコスクール交流会参加校調整</p> <p>7月14日(火)17日(金)打合せ</p> <p>22日(水)参加校問合せ対応</p> <p>8月7日(金)配布資料等準備</p> <p>10日(月)東海・北陸ユネスコスクール交流会</p> <p>●ESD研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市市内保健所職員対象環境学習に関する意見交換会 6月8日(月) : 資料作成 ・一宮市浅井北小学校 ESDヒアリング・児童へのESDに関する説明(講座)6月17日(水) : 資料作成 ・愛知県総合教育センターESD研修 7月7日(火) : 資料作成 ・豊橋市立中央高等学校 ESD研修 7月9日(木) : 資料作成 ・星城高等学校 ESD教員研修 8月7日(金) : 資料作成 ・名張市教育委員会学校・園教育研究集会講師 8月21日(金) : 資料作成 ・平成27年度教職員・地域環境活動リーダーのための環境教育実践力強化研修「カリキュラムデザイン」フォローアップ研修 12月23日(水) : 10月1日(木)H27環境教育等に関する教職員・環境保全活動を担う者等に向けた研修事業運営委員会(環境省) 11月16日(月)ESDに関するフォーラムに関する打合せ
--	---

<p>24日(火)環境省環境教育・ESDカリキュラムデザイン研修会議 12月7日(月)9日(水)18日(金)カリキュラムデザイン研修広報等作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半田市立板山小学校よもぎまつりでのESD講演 11月14日(土) : 11月6日(金)取組支援 ・愛知県総合教育センターESD研修 1月26日(火) : 資料作成 ・三重県環境学習情報センターESD入門研修 1月9日(土) : 資料作成・アンケート入力 ・名古屋市職員ESD研修 2月29日(月) : 2月15日(月)打合せ : 資料作成 ・名張市立蔵持小学校ESD研修 2月25日(木) : 11月9日(月)打合せ 12月8日(火)日程調整 資料作成 ・環境省ESDカリキュラムデザイン研修 2月27日(土) : 2月2日(火)打合せ、愛知教育大学面談・打合せ 資料作成 <p>[かがやけ☆あいちサスティナ研究所(愛知県環境政策課事業)]</p> <p>6月22日(月)広報支援</p> <p>8月6日(木)オリエンテーション、ファシリテーター会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 17日(月)開所式のための資料作成 21日(金)開所式・プレゼンテーション・打合せ(愛知県) 25日(火)SMBCチーム第1回 26日(水)資料準備 31日(月)SMBCチーム第2回準備 <p>9月1日(火)SMBCチーム第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> 7日(月)SMBCチーム第3回準備 8日(火)SMBCチーム第3回 14日(月)SMBCチーム第4回準備 15日(火)SMBCチーム第4回 29日(火)SMBCチーム第5回 <p>10月15日(木)16日(金)大学生企画書作成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 17日(土)プレゼンテーション 19日(月)プレゼンテーション資料作成支援 26日(月)成果発表に向けた打合せ支援 31日(土)研究成果プレゼンテーション
--

	<p>11月14日(土)修了式 [木曽岬干拓地メガソーラーにおける環境学習]</p> <p>10月28日(水)弥富市環境学習に関する打合せ</p> <p>11月6日(金)10日(火)12月1日(火)木曽岬メガソーラー打合せ</p> <p>2月16日(火)木曽岬干拓地メガソーラー活用環境学習実践視察 [その他]</p> <p>4月10日(金)ESD冊子の関係者への発送作業、 21日(火)ESD資料発送、ESDに関する資料整理 24日(金)ESD関連資料整理、ESD事業についての相談 25日(土)認定NPO法人ESD-J主催ESD世界会議からセカンドステージへ公開ワークショップ参加 27日(月)ESDに関連する資料の整理 30日(木)ESD環境教育プログラム実証等事業についての相談</p> <p>5月7日(木)山ノ内中学校でのESD取組についてのヒアリング 13日(水)山ノ内中学校ヒアリングのまとめ</p> <p>6月11日(木)愛知県ESD事業打合せ参加 12日(金)日本ユネスコ国内委員会ESD円卓会議(第1回)出席、ESD事業について千頭氏打合せ 16日(火)半田市板山小学校の取組ヒアリング 28日(日)北陸ESD推進コンソーシアム総会出席</p> <p>8月17日(月)中部地域社会教育施設のリストアップ作業 20日(木)名張市教育委員会学校・園教育研究集会資料作成 21日(金)環境学習プラン(案)作成作業(名古屋市)</p> <p>9月1日(火)エネルギーに関するESD取組打合せ(愛知教育大学) 8日(火)ESDに関する資料の送付 24日(木)ESDに関する資料の送付 28日(月)パナソニックエコシステムズ絵画コンクール審査会 30日(水)木曽岬メガソーラーにおけるプログラム打合せ(愛知県)、マルベリークラブESDプログラム打合せ</p> <p>10月29日(木)30日(金)中部7県ユネスコスクール連絡先データベース作成</p> <p>12月15日(火)17日(木)全国ESD支援センター(仮称)に対する意見出し作業</p> <p>1月19日(火)南陽中学校1年生企業訪問 1月28日(木)サステナビリティ円卓会議in四日市出席 2月25日(木)SDGs子どもプログラムの説明 3月2日(水)ESD関連資料発送、環境省ESDカリキュラム研修第3回検討会 4日(金)8日(火)9日(水)SDGsに関する学習についての打合せ 5日(土)環境教育フェスタ</p>
--	---

	<p>7日(月)津田学園小学校 SDGs 授業依頼 9日(水)10日(木)立教大学 ESD 原稿作成 17日(木)ESD 関連資料発送 18日(金)アスクネット打合せ(岐阜での ESD 展開)</p>
協働 パートナー	中部 ESD 拠点、なごや環境大学、愛知県総合教育センター、NPO/NGO、自治体、企業、高等教育機関他
評価指標・ 方法	<p>指標：多様な主体を支援することで、協働による ESD 実践が活性化したか。 ESD の実践取組が拡大したか、実践者が増えたか。 方法：協働主体やステークホルダー、対象者へのアンケート等</p>
成果・評価	<p>昨年度の ESD ユネスコ世界会議の成果を受け、自治体主導の ESD 取組の展開が活性化した。地域のニーズに応え、子ども、学校教員、自治体職員、環境学習施設等を対象にした ESD 研修を行った。三重県環境学習情報センター主催の「ESD 入門講座」では、参加者アンケートによると参加者の 100%が、「参加してよかった (とてもよかった含) 」と回答し、理由は、「ESD の基本的な考え方が分かった。思っていたより奥が深い」などであった。「今回の講義で学びや気づきはありましたか」という問いに対しては、82%が「はい」と回答し、「人の考えの多様性、答えは一つではないことに気づいた」との理由が挙げられた。愛知県総合教育センターが行っている愛知県特別支援学校初任者を対象にした「ESD に関する研修」では、アンケートに答えた参加者の 91%が「参加してよかった (とてもよかった含) 」と回答し、理由として「ESD 教育をもっと知りたいと思った。また、自身がどのように周りに人やもの関わっていくべきか考えるきっかけとなった」とコメントを得た。また、「授業に環境教育・ESD の視点を加味しようと思ったか」という問いに対して、79%が「はい」と回答し、「保健の環境と健康の単元で取り上げたい。ただ知識を教えるのではなく、自分たちの生活と密接に関わってくることを取り上げたら興味をもって学習するだろうと思ったから」「地球と人、学校をつなげる教育を目指したいため、身近なところから環境や ESD の視点を取り入れていきたい」とのコメントを得た。</p> <p>愛知県が ESD の後継事業として学生を対象に「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」事業を協働で実施した。中部 ESD 拠点やなごや環境大学、ESD 環境教育プログラム実証授業等、これまで育んできた関係性から、新たな ESD の実践に参画した。</p> <p>学校教育だけでなく、多様な世代に地域全体で ESD に取り組む提案も行っている。「SD のための E であること」を多様な主体に伝え、ESD に対する理解を促進し、地域における協働による ESD 取組の支援を行った。特に、学校と地域の連携による実践を拡大と自治体(教育委員会含)の ESD 施策の展開を支援した。</p> <p>地域への普及啓発のツールとして作成している ESD 関連冊子は、平成 26 年度末に 1000 部発行した「ESDbooklet」の配布が終了し、400 部追加印刷した。また、平成 25 年度末に発行した「ESDbook」に関しては、今年度は約 2000 部配布した。他にも、研修資料としての ESD 関連冊子の要望や問合せを多数受け、発送するなど地域のニーズに対応している。</p>

(6) 中部環境パートナーシップオフィス運営会議の開催

<p>目標</p>	<p>中部環境パートナーシップオフィスの運営に対して、多様な立場にあるステークホルダーや専門家の意見を聞き、地域ニーズを把握し、事業方針・計画の検討と承認、事業実施及び支援、評価を行う。</p>
<p>業務内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●全体会議(構成員 20 名程度) 事業の方針及び内容の検討、承認等を行うために、年 2 回開催する。1 回目は年度初の 5 月下旬を目途に事業方針や業務実施計画等について協議することとし、2 回目は年度末を予定し、第 1 回目の会議で協議し決定する。運営会議委員は 20 名程度。また、具体的内容等を検討するために、本会議の下部組織として、組織・体制検討部会、事業検討部会を設ける。メンバーについては、上半期運営会議にて協議し、決定する。 ●組織体制検討部会(構成員 5 名程度) 学識経験者及び中間支援関係者を構成員とし、主に運営のための組織、機能、体制等のあり方を検討する。組織・体制検討する際には、次年度以降の具体的事業展開についての検討を行う。年間 2～3 回程度実施する。 ●事業検討部会(構成員 5 名程度) 協働コーディネーター候補等地域の協働コーディネーター、学識経験者、行政関係者、企業関係者等により、主に協働取組促進のために必要な機能や基盤について検討する。年間 2～3 回程度実施する。
<p>実施内容</p>	<p>第 4 期の運営会議委員を依頼・委嘱し、5 月に上半期運営会議を開催した。会議では、今期の運営計画(案)の承認、協働コーディネーター育成事業の検討等を行った。</p> <p>今年度は、運営会議の中に「組織・体制検討部会」「事業検討部会」を設置し委員を選出し、部会を開催した。組織・体制検討部会は計 3 回開催した。3 回の部会を通して、EPO 中部のグランドデザインを作成し、EPO 中部が担うべき事業の整理、環境省事業と地域ニーズによる提案事業のバランス、予算確保と運営体制について協議した。EPO 中部が 10 年間蓄積したポテンシャルの価値を明確にし、今後の組織体制のあり方を明確にした方がよい、との提案があり、下半期運営会議でその旨を報告した。</p> <p>事業検討部会は計 2 回開催した。2 回を通して、これまでに EPO 中部が取組んだ協働取組や協働取組の多くが抱える課題について共有し、今年度始めた協働コーディネーター育成事業の進捗に対する意見交換を行った。協働コーディネーター育成事業研究会と重ねて部会を開催し、協働コーディネーター事業の成果を次年度どう活かすのか、次年度の協働コーディネーター育成事業のカリキュラムについて、協働コーディネーターが活躍する地域版づくりについて協議をした。その内容を下半期運営会議で報告をした。</p> <p>下半期運営会議は 2 月に行い、主に組織・体制検討部会と事業検討部会からの提案を報告し、運営会議委員と意見交換を行い、次年度取り組むべき課題について共有をした。</p> <p>※詳細は添付資料 2 を参照。</p> <p>[運営会議]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上半期 <p>日時：5 月 27 日(水)14:00～17:00 場所：中部地方環境事務所 第 1 会議室</p>

	<p>出席者：25名(18名内代理8名 事務局7名 欠席5名)</p> <p>主な議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議設置要領(案)について ・第4期平成27年度業務計画(案)について ・協働コーディネーター育成事業について ・他 <p>●下半期</p> <p>日時：2月10日(火)13:00～16:00</p> <p>場所：中部地方環境事務所 大会議室</p> <p>出席者：23名(18名内代理4名 事務局5名)</p> <p>主な議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EPO事業全体について ・事業検討部会からの報告等 ・組織・体制検討部会からの報告等 ・次年度の情報戦略について <p>[組織・体制検討部会]</p> <p>●第1回</p> <p>日時：6月29日(月)14:30～16:30</p> <p>場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)</p> <p>出席者：13名(内委員5名 事務局8名)欠席1名</p> <p>主な議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のEPOのありかたについて～パートナーシップ立、自立性を担保するための方策について ・今後のEPOを担う組織のありかたについて ・今後のEPOが担うべき事業について <p>●第2回</p> <p>日時：10月15日(木)14:00～17:00</p> <p>場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)</p> <p>出席者：12名(内委員6名 事務局6名)</p> <p>主な議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案するランドデザインについて ・EPOが担うべき事業について ・事業を展開するための組織体制、資金調達の検討について <p>●第3回</p> <p>日時：12月7日(月)14:00～17:00</p> <p>場所：環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)</p> <p>出席者：8名(内委員5名 事務局3名)</p> <p>主な議題</p>
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・EPO を担う組織のありかた ・下半期運営会議への提案について <p>[事業検討部会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第 1 回 <p>日時： 7 月 7 日(火) 16:00～18:30 場所： 環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO 中部) 出席者： 9 名</p> <p>主な議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの EPO 中部が実施した協働取組と今後の協働取組促進のための事業について ・協働取組を促進するための機能や基盤について <ul style="list-style-type: none"> ● 第 2 回 <p>日時： 12 月 15 日(火) 17:30～19:00 場所： 環境省中部地方環境事務所 第 1 会議室 出席者： 10 名</p> <p>主な議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回会議のふりかえり ・協働コーディネーター研究会について <p>〈他事務作業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 組織・体制検討部会 <p>7 月 1 日(水) 2 日(木) 6 日(月) 第 1 回組織・体制検討部会議事録作成 13 日(月) 第 1 回組織・体制検討部会資料送付、千頭氏打合せ 16 日(木) 第 1 回組織・体制検討部会議事録修正 23 日(木) 24 日(金) 27 日(月) 第 1 回組織・体制検討部会資料作成 9 月 28 日(月) 30 日(水) 組織・体制検討部会資料作成準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業検討部会 <p>7 月 3 日(金) 6 日(月) 第 1 回事業検討部会資料準備 7 日(火) 第 1 回事業検討部会実施 8 日(水) 14 日(火) 15 日(水) 16 日(木) 17 日(金) 第 1 回事業検討部会議事録作成 9 月 4 日(金) 28 日(月) 事業検討部会日程調整</p> <p>【第 2 回組織・体制検討部会】</p> <p>10 月 1 日(木) 日程調整 5 日(月) 6 日(火) 7 日(水) 8 日(木) 9 日(金) 13 日(火) 資料作成 7 日(水) 次第の送付、座長との打合せ 14 日(水) 資料作成・資料印刷・会議準備 15 日(木) 第 2 回組織・体制検討部会準備・開催、議事録作成 19 日(月) 20 日(火) 21 日(水) 議事録作成 11 月 6 日(金) 議事録確認作業</p>
--	--

	<p>16日(月)議事録の確認 17日(火)議事録の修正 26日(木)議事録修正 【第3回組織・体制検討部会】 10月22日(木)23日(金)26日(月)日程調整 11月24日(火)25日(水)26日(木)27日(金)30日(月)資料作成 30日(月)案内発送 12月1日(火)3日(木)4日(金)7日(月)資料作成 7日(月)第3回組織・体制検討部会開催 7日(月)10日(木)11日(金)17日(木)18日(金)21日(月)議事録作成 【第2回事業検討部会】 11月24日(火)30日(月)資料作成 12月2日(水)9日(水)14日(月)15日(火)資料作成 14日(月)開催準備・資料印刷 15日(火)第2回事業検討部会開催 15日(火)24日(木)25日(金)議事録作成 1月8日(金)千頭氏打合せ 1月12日(火)下半期運営会議資料作成準備 1月18日(月)下半期運営会議準備、組織検討部会資料作成、事業検討部会資料作成、 報告書作成 1月19日(火)下半期運営会議資料作成準備 1月21日(木)下半期運営会議資料作成、組織検討部会まとめ、事業検討部会まとめ 1月25日(月)議事録修正 1月26日(火)議事録修正、下半期運営会議資料作成、委員への通知など作業、組織・体制 検討部会及び事業検討部会成果まとめ、協働コーディネーター事業まとめ 1月27日(水)議事録修正、下半期運営会議資料の作成 1月28日(木)資料作成、成果まとめ 1月29日(金)下半期運営会議案内作成、組織・体制検討部会まとめ、事業検討部会まとめ、 両部会資料送付 2月1日(月)資料作成、議事録修正・確認依頼 2月2日(火)資料作成、確認依頼 2月8日(月)資料作成 2月9日(火)下半期運営会議準備・資料作成・印刷・座長打合せ 2月10日(水)下半期運営会議準備・開催・議事録作成 3月14日(月)下半期運営会議議事録作成</p>
協働 パートナー	運営会議委員

<p>評価指標・方法</p>	<p>指標：運営会議委員の持つ地域にニーズを把握し、対応できる業務を遂行することができたか。 運営会議委員の持つ専門性を十分に活用することができたか。 適正な運営実施ができたか。</p> <p>方法：下半期運営会議での協議及びヒアリング</p>
<p>成果・評価</p>	<p>全体会議を 2 回、組織・体制検討部会を 3 回、事業検討部会を 2 回開催した。EPO 中部の今後の組織のありかたについて、取り組むべき事業について、協働コーディネーターの活用と活用するための地域基盤づくりについて協議をした。</p> <p>年度当初に運営会議委員を対象に、EPO 中部に求められている機能についてのアンケート及びヒアリングを実施した。その際に、運営会議委員の地域における協働取組の現状やニーズ、協働コーディネーターの必要性やスキル等について、運営会議委員のもつ専門性等を把握した。また、EPO 中部の役割について「多様な主体のつなぎ役としてのモデル的な活動を期待する」、「協働に関する指針などの策定」、「地域の状況や要望に沿った情報提供や人材派遣」、「EPO 中部の活動についてのアピール強化」などの意見があった。</p> <p>下半期運営会議で、各部会の報告があり、組織・体制検討部会の委員からは「地域でパートナーシップづくり、地域のステークホルダーがすべて参加できるパートナーシップ立の組織運営を図りたい」「地域の多様な主体の考え方を取り込み、意思決定して、進めていく仕組みが必要である」、「NPO 活動をする人、企業の人等が自主的に集まり、スタッフとして機能する組織をつくらないといけない」「地域での事業展開についてある程度の責任と権限を持ち、報酬もいづらか得られるという体制が整って初めて組織として成立する」「EPO 中部の資産評価をして、10 年間の蓄積すべてを検討し、できると確認できれば、次の飛躍に向かって進める」といった運営委員のもつ専門性や知見からの意見が述べられた。事業検討部会委員からは、「EPO は中部 7 県の広域・流域の協働マネジメントセンターであり、各地域のコーディネーターと連携して中部の協働取組が加速化するように、より効果的な事業展開ができるように支える」「中部各地の協働コーディネーターが広域的に取り組むためのモチベーションを生み出す」、他の委員からは「企業もコーディネートしていく方向に向き、地域に関わっていくことが求められている」「市民団体の持続可能な社会可能性が成立するビジネスモデルとしてつくるためにプロボノを活用する」といった意見が出された。</p> <p>次年度の協働コーディネーター育成事業については、「NPO がどう行政と関わって、資金調達をするかといった課題解決のために協働コーディネーターを活用する」、「協働コーディネーターはものごとをうまくすすめるキーマンであり、地域に多くいてほしい、そのために、協働をコーディネートするプロセスを明確にしていくことが重要である」などの意見がだされ、それぞれの委員の立場や専門性を活かし、それぞれの所属で活かせる事業展開、事業成果を視点とした協議を行うことができた。</p> <p>運営会議委員は、EPO の人的財産である。多様な立場（行政、企業、NPO、中間支援組織、大学等）からの多様な考え方、意見、提案、アドバイスが新たな事業提案を生み出す。運営会議委員の発言やヒアリングから十分にそのことを認識されており、運営会議委員との協働による運営会議の実施、事業実施ができたと捉えている。</p>

(7) 中部地方環境事務所主催会議のための資料の作成

目標	中部地方環境事務所が EPO 中部の運営上必要な会議等(外部評価委員会等)を実施する際に、中部地方環境事務所担当官と連携・調整の上、必要な資料等を作成する。
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方環境事務所主催会議のための資料の作成(外部評価等) ・運営上必要な書類等を中部地方環境事務所の担当官と協働で作成など ・上記作成に当たっての打合せの実施
実施内容	<p>地方事務所各課との情報・意見交換、所長・総務課長との意見交換を行い、地方事務所と EPO との連携について検討をした。また、事務所の移転に関連して、検討されている候補場所の視察等を地方事務所とともにいった。</p> <p>[各課課長との意見交換] 6月23日(火) 14:00～15:15</p> <p>[所長・総務課長、環境対策課との意見交換] 6月29日(月) 10:00～11:30</p> <p>[オフィス移転に関して] ●移転候補場所の視察 6月5日(金) 13:00～15:00 6月16日(火) 11:00～11:30 ●移転に関する打合せ 6月8日(月) 16:30～17:30</p> <p>[外部評価委員会] 2月24日(水)10:00～11:30 外部評価委員会資料作成等：1月13日(水)14日(木)15日(金)18日(月)19日(火)21日(木)25日(月)26日(火)27日(水)28日(木)29日(金)2月2日(火)23日(火)24日(水))</p>
協働 パートナー	中部地方環境事務所
評価指標・ 方法	<p>指標：①十分なコミュニケーションを図り作成することができたか。 ②両者の納得のいく資料の作成をすることができたか。 ③作成した資料を受け取る主体は満足したか。</p> <p>方法：ヒアリングなど</p>
成果・評価	中部地方環境事務所が EPO 中部の運営上必要な会議 (外部評価委員会等)を実施する際の資料を中部地方環境事務所担当官と連携・調整の上作成した。他中部地方環境事務所と EPO 中部の連携や情報共有の場をもった。EPO 中部移転に際しての移転先候補の視察に同行した。

(8) 地方環境事務所との連携

目標	中部地方環境事務所との協働による円滑な運営を確保するため、密接な情報共有及び意見交換を図りながら事業を実施する。中部環境事務所とのコミュニケーションをていねいにとり、お互いの強みを活かす。中部地方環境事務所との協働による円滑な運営を確保するため、密接な情報共有及び意見交換を図る。
業務内容	<ul style="list-style-type: none">・担当官と打合せ会議(月 1 回以上)を開催し、事業の方向性等を検討・協議する。また、日々の業務の記録を行い、毎月取りまとめて担当官に提出する。・環境省が発行する報告書や重点施策に関するセミナーを連携で実施する。・中部地方環境事務所が実施する施策と協働する。
実施内容	<p>中部地方環境事務所と毎月 1 回定例会議を行い、EPO 業務の進捗状況や抱えている課題についての改善の協議等を行った。今年度は全国 EPO ネットワーク関連業務での検討が多く、「EPO のあり方について」「ESD 支援活動センター(仮称)」「ESD 取組の今後について」他を協議した。また必要に応じて、電話やメールで調整、打合せをした。</p> <p>[定例会議]</p> <ul style="list-style-type: none">● 第 1 回 日時：4 月 15 日(水)10:30～12:00 場所：EPO 中部<ul style="list-style-type: none">・平成 27 年度業務について・上半期運営会議について● 第 2 回 日時：5 月 12 日(火)10:30～12:00 場所：EPO 中部<ul style="list-style-type: none">・運営会議について・日報について● 第 3 回 日時：6 月 11 日(木)10:30～12:00 場所：EPO 中部<ul style="list-style-type: none">・運営会議について・協働コーディネーター育成事業について・協働取組加速化事業について・日報について● 第 4 回 日時：7 月 10 日(金)10:30～12:00 場所：EPO 中部<ul style="list-style-type: none">・協働コーディネーター育成事業について・運営会議組織体制検討部会について・運営会議事業検討部会について

	<ul style="list-style-type: none"> ・情報戦略について ・報告書について ●第5回 日時：8月17日(月)10:30～12:00 場所：EPO 中部 ・協働コーディネーター育成事業について ・ESD 環境教育プログラム実証事業について ・全国 EPO 連絡会について ・日報について ●第6回 日時：9月15日(火)10:30～12:00 場所：EPO 中部 ・EPO の在り方検討会議について ・ESD 支援センター(仮称)について ・日報について ・森・川・里・海事業に関するフォーラム打合せ、CSR 調査及び自治体との意見交換会に関する打合せ ●第7回 日時：10月14日(木)10:30～12:00 場所：EPO 中部 ・協働コーディネーター育成事業について ・協働取組加速化事業について(ブルーフラッグ事業/リユースびん事業) ・ESD 環境教育実証事業について(検証作業/映像/周知啓発ワークショップ) ・情報戦略について ・今後の予定について ・第2 四半期報告書及び日報、請求書について ●第8回 日時：11月13日(金)10:30～12:00 場所：EPO 中部 ・協働コーディネーター育成事業 ・協働取組加速化事業について(ブルーフラッグ事業/リユースびん事業) ・ESD 環境教育実証事業(検証作業/映像/周知啓発ワークショップ) ・情報戦略について ・今後の予定について ・日報の提出について ●第9回 日時：12月21日(月)9:30～11:00
--	---

	<p>場所：EPO 中部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働コーディネーター育成事業 ・協働取組加速化事業について(ブルーフラッグ事業/リユースびん事業) ・ESD 環境教育実証事業について(検証作業/映像/周知啓発ワークショップ) ・情報戦略について ・MSH ダイアログについて ・今後の予定について ・日報の提出について <p>●第 10 回</p> <p>日時：1 月 13 日(木)10:00～12:00</p> <p>場所：EPO 中部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働コーディネーター育成事業について ・協働取組加速化事業について ・ESD 環境教育実証事業について ・情報戦略について ・MSH ダイアログについて <p>●第 11 回</p> <p>日時：2 月 3 日 10:30～12:00</p> <p>場所：EPO 中部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働コーディネーター育成事業について ・協働取組加速化事業について ・ESD 環境教育実践事業について ・情報戦略について ・MSH ダイアログについて ・今後の予定について <p>●第 12 回</p> <p>日時：3 月 14 日(月)13:30～15:00</p> <p>場所：EPO 中部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書について ・3 月 29 日の ESD セミナーについて ・来年度について <p>[その他]</p> <p>6 月 22 日(月)環境白書を読む会に出席</p> <p>7 月 7 日(火)地方事務所新担当者との打合せ</p> <p>8 月 17 日(月)新所長にあいさつ</p> <p>9 月 24 日(木)森・里・川・海フォーラムゲストリストアップ</p>
--	---

	<p>10月26日(月)ESD事業についての打合せ 12月18日(金)緊急時の連絡網の確認作業支援 1月20日(水)25日(月)担当官との打合せ 2月15日(月)担当官との打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境教育者担当会議ワークショップ準備・実施 2月17日(水) ●ESDセミナー <ul style="list-style-type: none"> 11月16日(月)ゲスト打合せ 2月3日(水)ゲスト打合せ 3月5日(土)打合せ 3月9日(水)パネルディスカッションシナリオ作成打合せ等準備 <p>※3月29日(火)実施予定予定</p>
協働 パートナー	環境省、中部地方環境事務所
評価指標・ 方法	<p>指標：①毎月定例会を実施し、情報共有をしたか。 ②環境省及び中部地方環境事務所と連携及び協働による事業を実施したか。そのことによる効果はあったか。</p> <p>方法：ヒアリングなど</p>
成果・評価	<p>中部地方環境事務所との協働による円滑な運営を確保するため、毎月1回定例会議を行い、業務状況の報告、課題の共有を行い、情報共有を徹底した。定例会議以外にもメールや電話での状況確認や課題共有をまめに行った。中部環境事務所とのコミュニケーションを丁寧にとり、役割分担を明確にし、お互いの強みを活かすことができた。課題は、EPO担当課とのコミュニケーションはしっかりとれているが、中部地方環境事務所全体としてEPOをどう活用するか協議ができていないことである。今後検討する。</p> <p>他、自治体の環境教育担当者会議やESDセミナーの企画を協働で実施した。プロセスにおいて担当官と丁寧なコミュニケーションを図ることができた。</p>

(9) オフィスの維持・管理

① 施設の維持管理

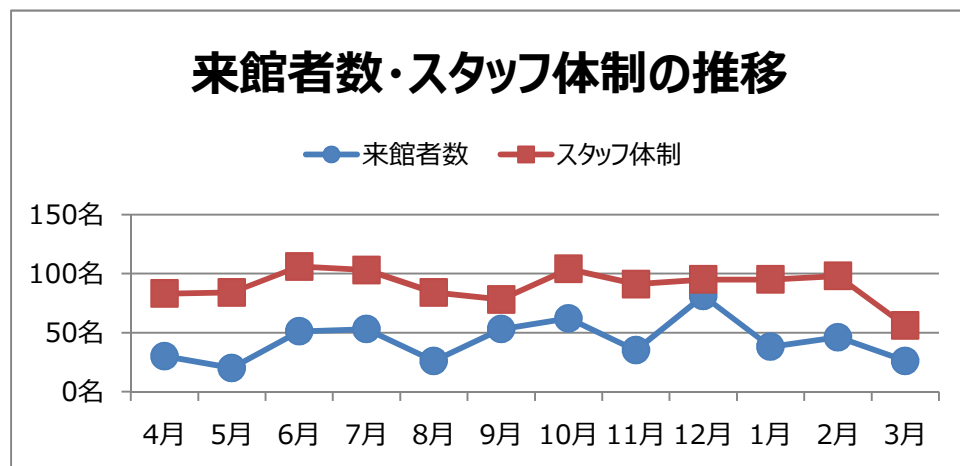
目標	本業務を遂行するために、適切な施設管理を行う。
業務内容	<p>開館日は月～木曜日(3月31日は除く。)とし、金曜日及び3月31日は情報収集・整理日として閉館日とする。土・日曜、祝日、夏季(8月12日～8月14日)及び年末・年始(12月29日～12月31日、1月1日～1月3日)は休館とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年間事業予定日数：240日 ●開館時間は午前10時から午後7時までを原則とする。 ●オフィスの防火・防災管理及び解錠・施錠管理(防災管理士の配置) オフィスの防火・防災管理及び解錠・施錠管理について業務実施期間を通じて行う。 ●来館者が快適に利用できるよう、オフィス内の必要な清掃作業を含め、施設・設備の維持管理を行う(中部地方環境事務所が別途株式会社三菱地所プロパティマネジメントと契約している錦パークビル清掃業務に係るものは行わない)。

●オフィスの運営に必要な経費の支払及び機材等の維持管理を行う(ただし、オフィスの借料及び管理料並びに複写機及び通信機器(電話機及び FAX)の借料及び基本料の支払いに係るものは行わない)。

実施内容 今年度は 233 日開館し、業務を実施した。来館者数は昨年度と比べて 3.7%増で、スタッフ体制は昨年度と比べて 12.5%減であった。他、防火管理者担当スタッフを配置し、防火管理者講習の受講、防災訓練への参加などを行った。業務において謝金等を支払う際に必要となるマイナンバー制度についての情報共有をした。

※3月18日時点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
開館日数(日)	22	18	22	22	18	19		
昨年実績(日)	21	20	21	22	18	20		
来館者数(名)	30	20	51	53	26	53		
日平均(名)	1.4	1.1	2.3	2.4	1.4	2.8		
昨年実績(名)	65	50	33	69	40	34		
スタッフ体制(名)	83	84	106	103	84	78		
日平均(名)	3.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.1		
昨年実績(名)	84	91	105	108	95	117		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
開館日数(日)	21	19	19	19	20	14	233	19.4
昨年実績(日)	22	18	19	19	19	22	241	20.1
来館者数(名)	62	35	81	38	46	26	521	43.4
日平均(名)	3.0	1.8	4.3	2.0	2.3	1.9	2.2	—
昨年実績(名)	39	16	45	28	25	58	502	41.8
スタッフ体制(名)	104	91	95	95	98	56	1077	89.8
日平均(名)	5.0	4.8	5.0	5.0	4.9	4.0	4.6	—
昨年実績(名)	125	106	99	102	95	104	1231	102.6



[オフィス防災管理関連業務]

10月6日(火)防災管理者講習受講

	<p>19日(月)防火・防災管理者選任届出書の作成 20日(火)防火・防災管理者選任届出書の防災センター及び地方環境事務所への確認依頼</p> <p>11月6日(金)防火・防災管理者選任届の提出(錦パークビル防災センターへ) 13日(金)錦パークビル 2015年度共同防火・防災管理協議会出席 16日(月)防火・防災管理者の選任届出書及び消防計画変更届出書消防署押印書類受領 26日(木)錦パークビル防災訓練参加</p> <p>【その他】 1月7日(木)マイナンバー収集方法についての対応の確認とスタッフ内での共有 3月17日(木)中部地方環境事務所非常時電源設置立会</p>
協働 パートナー	協働に関する情報及び相談ニーズのある団体、個人等
評価指 標・方法	<p>指標：開館日数 240日 来館者数 510名(昨年度 502名) スタッフ体制 5名(昨年度 5.1名)</p> <p>方法：業務日報の集計</p>
成果・評 価	233日開館した。来館者は昨年度 502名に比べて 521名だった。スタッフ体制についても昨年度は 5名だったが 4.6名であった。本業務を遂行するために、適切な施設管理を行うことができた。昨年度より来館者が増えた。

② 来客等への対応

目標	オフィスへの来館者、電話・メール等に対し適切に対応するため、開館日には最低 1 名のスタッフをオフィスに常駐する。																																																																																									
業務内容	来館、電話・メール等の適切対応と、対応内容の記録を別紙に行う。																																																																																									
実施内容	<p>開館日数は 233 日、来館者、電話・メール等による問合せ・相談件数は 493 件であった。昨年度比で 24%減である。内訳をみると、NPO・市民活動団体、地域活動に関する問合せ・相談件数が多い。</p> <p>※3月18日時点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日数</td> <td>22</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>18</td> <td>19</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>問合せ件数*</td> <td>41</td> <td>35</td> <td>42</td> <td>49</td> <td>40</td> <td>54</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>日平均</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>2.8</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(昨年実績)</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>65</td> <td>100</td> <td>55</td> <td>62</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> <th>月平均</th> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>14</td> <td>233</td> <td>19.4</td> </tr> <tr> <td>問合せ件数*</td> <td>45</td> <td>30</td> <td>44</td> <td>46</td> <td>37</td> <td>30</td> <td>493</td> <td>41.1</td> </tr> <tr> <td>日平均</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>2.3</td> <td>2.4</td> <td>1.9</td> <td>2.1</td> <td>2.1</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>										4月	5月	6月	7月	8月	9月			開館日数	22	18	22	22	18	19			問合せ件数*	41	35	42	49	40	54			日平均	1.9	1.9	1.9	2.2	2.2	2.8			(昨年実績)	54	54	65	100	55	62				10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	開館日数	21	19	19	19	20	14	233	19.4	問合せ件数*	45	30	44	46	37	30	493	41.1	日平均	2.1	1.6	2.3	2.4	1.9	2.1	2.1	—
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																																				
開館日数	22	18	22	22	18	19																																																																																				
問合せ件数*	41	35	42	49	40	54																																																																																				
日平均	1.9	1.9	1.9	2.2	2.2	2.8																																																																																				
(昨年実績)	54	54	65	100	55	62																																																																																				
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均																																																																																		
開館日数	21	19	19	19	20	14	233	19.4																																																																																		
問合せ件数*	45	30	44	46	37	30	493	41.1																																																																																		
日平均	2.1	1.6	2.3	2.4	1.9	2.1	2.1	—																																																																																		

(昨年実績)

67

38

28

33

42

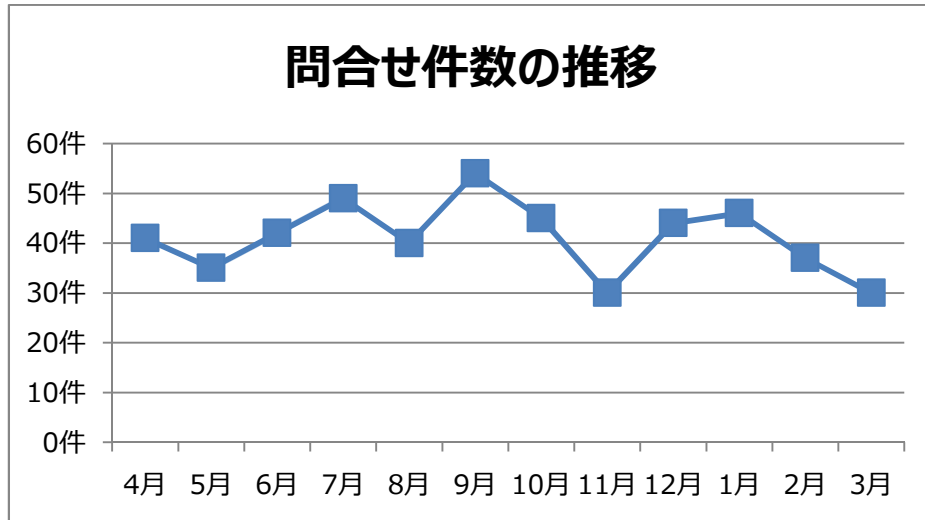
48

646

53.8

※問合せ件数は、来館・来電の合計

問合せ件数の推移



[問合せ内容]

テーマ	問合せ・相談内容(括弧内は件数)
環境教育(学習) 37件	三重県環境学習情報センターイベント広報について ユニー(株)提供インタープリター養成講座の企画について (2) 環境教育担当者会議での事例発表について 中部地方で親子向けの環境教育の協働事例について 名古屋市の保健所環境教育について 竹を使った学習について トヨタ白川郷自然学校の事業広報について パナソニックエコシステムズ環境絵画コンクール審査会の審査員依頼について (2) 三重県環境学習情報センター指定管理者選定委員会委員の公募について 省エネ問題講演会の広報について 日本の環境教育の現状について 豊田市環境学習施設 eco-T (エコット) の大人向け講座の広報について 環境学習、自然体験学習でのアレルギーへの配慮について 中部地域における環境教育に実態について 環境系の大学進学相談について 自然体験教育に関するリスクについて 環境学習での子どものアレルギー対応について 総合学習で地球温暖化を調べている高校生からの相談(2)

		<p>エネルギー教育・学習プログラムについて 四日市公害と環境未来館での講演について 名古屋市環境教育の相談について 環境教育プログラム開発に関する人材の紹介について 河川環境教育活動について 環境教育の研修会について 中部環境教育ミーティング再生プロジェクトについて 川の環境学習の実施場所について 環境教育プログラム開発の講師紹介について 教職員向け環境教育の研修について 環境教育のゲストティーチャー紹介について 環境教育ミーティングの今後について 木曾岬メガソーラーについて 環境学習講座の招待講師について 環境教育担当者会議について 地球温暖化に関する紙芝居について 愛知県環境学習ガイドラインについて</p>
ESD	112 件	<p>自己肯定感の冊子について 長野県の小学校訪問について 桑・養蚕をテーマにした ESD 授業のつくりかたについて ESD ブックレット内「こどもの変化」に関する記述について 「つなげる教育」の本年度以降の展開 ユネスコ/日本 ESD 大賞の国内公募広報について 国際会議以降の ESD について アクサユネスコ減災教育プログラムの募集について ESD 関連冊子の送付について 富山県イタイイタイ病資料館の中学校の先生向け研修について ESD の資料送付について 次世代の ESD 事業について 名古屋市港防災センターの ESD 企画展広報について 自己肯定感を育む教育について (2) ESD のファシリテーターについて ESD 人材育成事業のモデル事業について 東日本大震災の被災体験者の語り部と ESD の大切さを考える事業について (2) 東海北陸ユネスコスクール交流会について 持続可能なあいちの担い手育成事業のファシリテーターについて (3)</p>

		<p>高等学校での ESD 活動・研修促進に関する講師の依頼について</p> <p>半田市の小学校より ESD 情報について</p> <p>ユネスコスクール交流会の申し込みについて</p> <p>東海北陸地域ユネスコスクール交流会について</p> <p>豊橋中央高校での ESD 講演について</p> <p>次世代エネルギーワークショップに出席する学生募集について(2)</p> <p>海外からの子ども代表と日本の子どもの相互学習プログラムの広報について</p> <p>理科教育学会での ESD、環境教育に関する資料の配布について</p> <p>子どもの会議について</p> <p>ESD 取組を実践する中部地域の社会教育施設について</p> <p>名張市教育委員会学校・園教育研究集会講師について</p> <p>ESD コラム(生物多様性プラン)について</p> <p>ESD 支援センター(案)への提案について</p> <p>木曾岬メガソーラーESD 授業について</p> <p>四日市市青年会議所の環境人材育成に関する講演内容について</p> <p>三重県環境学習情報センターESD 講座講師依頼について</p> <p>四日市青年会議所 ESD に関する勉強会企画について</p> <p>愛知県板山小学校 40 周年記念よもぎまつり講演依頼について</p> <p>ESD 岡山アワードへの ESD 事例の募集に関する周知・広報について</p> <p>愛知名古屋の ESD について</p> <p>環境省カリキュラムデザイン研修(検討会委員及び講師)依頼について</p> <p>ESD 環境教育プログラム実証事業の検証方法について</p> <p>ESD 環境教育プログラム実証事業の児童対象のアンケートについて</p> <p>EPO 中部の事業について</p> <p>薦原小学校の ESD の取組に関する三重県みどり共生推進課への原稿について</p> <p>環境省 ESD 担当者増員に関する資料作成について</p> <p>ESD 教員研修の検討会について(2)</p> <p>ESD に関する冊子の配布について</p> <p>ユネスコスクール全国大会について</p> <p>かがやけ☆あいちサスティナ研究所について</p> <p>かがやけ☆あいちサスティナ研究所の講師との打合せについて</p> <p>かがやけ☆あいちサスティナ研究会中小企業ヒアリング先について</p> <p>桑の葉を使った ESD 学習について</p> <p>ESD に関する冊子の送付依頼(教員対象の研修用)</p> <p>ESD カフェの広報について</p>
--	--	---

		<p>ESD 支援センターについて</p> <p>ESD 岡山アワード 2015 の募集について</p> <p>ESD 講座の広報について</p> <p>小学校の実践研究会の講演講師について</p> <p>ESD コーディネーターの紹介</p> <p>環境省カリキュラムデザイン研修受講者募集の広報について</p> <p>全国ユース環境活動発表大会の審査について</p> <p>中部 ESD 拠点主催ワークショップの広報について</p> <p>ユネスコスクール全国大会プレイベントの広報について</p> <p>小売店の ESD 展開について</p> <p>西日本 ESD ミーティングの広報について</p> <p>ESD に関するシンポジウムの講師紹介について</p> <p>ESD 人材育成事業紹介者について</p> <p>ESD 関連資料の送付について</p> <p>長野県のユネスコスクールについて</p> <p>長野における ESD を進めるための意見交換会について</p> <p>ESD 研修会について</p> <p>RCE の規約について</p> <p>AKJ・ESD ワークショップの広報について</p> <p>EPT の ESD 実践講座の広報について(2)</p> <p>ESD カレンダーについて</p> <p>ESD 関連書籍について</p> <p>SDGs に関する学習会広報について</p> <p>SDGs の学校での実践について</p> <p>SGDs の授業案について</p> <p>かがやけ☆あいちサステイナ研究所について</p> <p>カリキュラムデザイン研修について</p> <p>この地域の ESD について</p> <p>セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの子供向け SDGs 啓発活動について</p> <p>ユネスコスクール ESD 活動成果発表会の広報について</p> <p>ユネスコスクール事例の共有について</p> <p>愛知県での ESD の動向について</p> <p>生涯学習とクールシェアについて</p> <p>薦原小学校の ESD に関する取組について</p> <p>中部地区の ESD 取組について</p> <p>福井市教職員向け ESD 講習会の講師について</p> <p>北海道 RCE について</p>
--	--	--

		<p>名古屋市職員の ESD 研修について 来年度の ESD 事業について 立教大学 ESD 研究所のジャーナルへの寄稿について(2) 名古屋市発行の ESD 冊子について ESD の取組みについて SDGs の子ども向けの啓発活動実施学校の紹介について ESD 冊子の送付について ESD 事業の今後について ESD 支援センターについて ESD に関する資料について ESD について ESD 環境教育プログラム実証事業で制作した映像資料について 岐阜県での ESD 展開について</p>
	<p>生物多様性 20 件</p>	<p>全国学校・ビオトープコンクール 2015 広報について 緑のカーテンコンテスト広報について 一級ビオトープ管理士への依頼について 地域性苗木を大名古屋ビルに植樹する件について 生物多様性アクション大賞 2015 募集開始の広報について(2) 生物多様性についての会議に関わるメディア関係者について 生物多様性の会議に関する打合せができる場所について 生物多様性に関する冊子の送付について 三重生物多様性プランのコラム・活動事例について(2) にじゅうまるプロジェクトに関する情報提供について(3) にじゅうまるプロジェクト事業の企画について にじゅうまる COP2 プログラムについて この地域の生物多様性戦略について にじゅうまる COP2 について(2) にじゅうまる COP2 プロジェクトのチラシ配布について</p>
	<p>気候変動 12 件</p>	<p>次年度のカーボン・オフセット事業について カーボン・オフセット商品開発説明会の広報について カーボン・オフセット勉強会について カーボン・オフセット商品について 低炭素社会づくりフォーラム企画について 地球温暖化に関する資料について カーボン・オフセット商品について ペレットストーブの普及について うちエコ診断の周知について</p>

		<p>COP21 カウントダウンセミナーの広報について</p> <p>カーボン・オフセットのイベント出演者の紹介について</p> <p>環境省クールシェアについて</p>
	自治体関連 73 件	<p>四日市市の自然環境に関する施策について</p> <p>愛知県教育委員会青年講座について</p> <p>名古屋市緑政土木局指定管理者について (2)</p> <p>四日市環境フェアについて</p> <p>鶴舞公園に関する有識者会議について</p> <p>川づくり会議みえの総会と記念講演会について</p> <p>みえ森と緑の県民評価委員会について</p> <p>三重県生物多様性戦略改訂について</p> <p>名古屋市公園管理プロポーサル公募評価委員について</p> <p>名古屋市での環境イベントについて</p> <p>緑化に関する助成制度について (2)</p> <p>愛知県教育委員会青年講座資料の送付について</p> <p>愛知県の自然観察指導員講習会の広報について</p> <p>立山市でのまちづくり活動について</p> <p>みえ森と緑の県民税の評価について</p> <p>富山市の環境政策課こども会議について</p> <p>愛知県インターン受け入れについて</p> <p>愛知県インターン EPO 事業について</p> <p>緑化民有地表彰コメントについて</p> <p>緑のまちづくりフォーラムパネリスト依頼について(名古屋市緑政土木局)</p> <p>行政改革シンポジウムパネリスト依頼について(名古屋市)</p> <p>愛知県インタープリーターの広報について</p> <p>四日市公害と環境未来館エコパートナー交流会の講演依頼について</p> <p>三重県木育と三重の木でつくる暮らし展の広報について</p> <p>インタープリーター愛・地球ミーティングの広報について</p> <p>愛知県エコアクションを題材としたエコ川柳の審査員について</p> <p>なごやグッドグリーン賞のリーフレット確認について</p> <p>環境デーなごや MIRAI 会議の設計について</p> <p>名古屋市環境学習等行動計画の策定に関する懇談会について</p> <p>名古屋市行政改革・市民シンポジウムの企画確認について(2)</p> <p>エコ川柳審査会について</p> <p>インタープリーター愛・地球ミーティングのトークセッションに参加する学生の相談について</p> <p>愛知県行政改革の事業評価に関する相談について</p>

		<p>愛知県高等学校初任者研修の講師派遣について モリコロパークでの全国都市緑化フェアについて 富山での環境大臣サミットについて 愛知県から受け入れるインターンシップについて インタープリター愛・地球ミーティング広報について 名古屋国際会議場環境シンポジウムについて G7 環境大臣会合について 名古屋市行政改革・市民シンポジウムについて 愛知県エコ川柳委員会について ごみゼロ社会推進県民大会の広報について エコパル 20 周年イベントのチラシのデータについて 愛知県グリーンニューディール基金事業の追加募集について 名古屋市職員対象の ESD 研修会について なごや環境大学について あいち地球温暖化防止戦略 2020 推進会議について 愛知県協働促進会議について 愛知県食と農の基本計画について 伊勢志摩サミットジュニアサミットの研修について(2) 三重県生物多様性プランへのパブリックコメントについて 生物多様性普及啓発下敷きについての相談 地方公共団体と連携した二酸化炭素削減の勉強会について 日本版首長公約について 飯田市の持続可能な地域づくりに関する条例について 名古屋市第 5 次一般廃棄物処理計画のパブリックコメントについて(2) 名古屋市緑の審議会委員の紹介(4) 次年度のかがやけ☆あいちサステイナ研究所について(2) 三重県森と緑の県民税について あいち環境学習プラザの職員募集の広報について 三重県の環境学習のための下敷きについて 愛知県食と緑の基本計画のヒアリングについて 伊勢志摩サミットについて</p>
	<p>企業関連 29 件</p>	<p>大学生をインターン受け入れする企業の紹介について エコとエネルギーに関する親子ツアーのプログラムアドバイザーについて 環境貢献型商品開発・販売促進に係る環境省補助金制度の説明会の広報について 愛知県内の企業の環境取組について 日立製作所 CSR について</p>

		<p>環境活動を展開している企業の紹介について</p> <p>J-POWER が実施する大学生向けエコ・エネルギー体験ツアーの広報について</p> <p>ユニー(株)ESD 関連原稿依頼について</p> <p>GGP 福井県 NPO 紹介について</p> <p>環境と金融について</p> <p>三重銀行 NPO 寄附事業の選考について</p> <p>石川県里山づくりに関する企業向けセミナーのパネリストについて</p> <p>家電リサイクル会社での工場見学の改善について</p> <p>Green Gift プロジェクトについて</p> <p>グリーンリサイクル(株)見学に関して</p> <p>積水ハウスマッチングプログラムの広報について</p> <p>次年度インタープリター養成講座企画について</p> <p>ユニー(株)とのインタープリター養成講座の今後について</p> <p>インタープリター養成講座について</p> <p>J-POWER 火力発電所見学会広報について</p> <p>パタゴニア日本支社「環境助成金」広報について</p> <p>第 2 回カーボン・オフセット大賞審査会について</p> <p>東邦ガスのなごや環境大学語ろう会について</p> <p>東邦ガス環境社会ダイアログの参加者推薦について(3)</p> <p>企業とクリエイターが交流する場の広報について</p> <p>TOTO 水環境基金の広報について</p> <p>北陸交流会での企業の出展について</p>
	<p>NPO・市民活動 団体・地域活動等 151 件</p>	<p>NPO 職員の新規採用の広報について</p> <p>なごや環境大学 10 周年事業について</p> <p>中部科学技術センター学術症例研究助成事業広報について</p> <p>なごや環境大学の相談について</p> <p>環境イベントのスタッフ募集について</p> <p>名古屋市藤前干潟ふれあい事業について</p> <p>NGO/NPO スタッフのスキルアップ研修の受け入れ先について</p> <p>ファンドレイジング研修生受け入れについて</p> <p>東日本大震災名古屋市講演会企画について</p> <p>浄化槽フォーラム広報について</p> <p>四日市大学エネルギー研究会四季報について</p> <p>中部異業種間リサイクルネットワーク協議会の総会・記念講演会の広報について (2)</p> <p>地域主体の国際協力・岐阜の 6 月定例会広報について</p>

		<p>浄化槽フォーラムにて EPO の資料提供について (2)</p> <p>NPO 法人森林の風広報について</p> <p>親子対象のワークショップの広報について</p> <p>ファシリテーターの紹介について</p> <p>東京の NPO が名古屋で行うイベントの広報について</p> <p>ファンドレイジング研修の受け入れ先について</p> <p>環境 NGO の連合体発足について</p> <p>名古屋の森づくりの活動の展開について</p> <p>あいちコミュニティ財団のイベントの広報について</p> <p>中部ミーティング再生プロジェクトについて</p> <p>名古屋わかもの会議での話題提供について</p> <p>自然観察会の広報について</p> <p>地域主体の国際協力・岐阜 DDC 8 月定例会の広報について</p> <p>「ママボノ」の募集イベント広報について</p> <p>中部異業種間リサイクルネットワーク協議会研究会広報について</p> <p>ネオニコチノイド系農薬によるミツバチの生活環境汚染調査の広報について</p> <p>地球環境基金サポーター制度の広報について</p> <p>東京の教育 NPO 団体が名古屋で行うイベントの広報について</p> <p>表浜 BLUEWALK の海岸清掃イベント参加者の学生募集について</p> <p>名古屋気温測定 2015 の参加者募集について</p> <p>ポラみみ 9 月掲載情報の募集について</p> <p>なごや環境大学のヒアリングについて</p> <p>あいちコミュニティ財団の助成先募集の広報について</p> <p>中部異業種間リサイクルネットワークの研究会について(4)</p> <p>次世代自動車を活用した地域づくりのセミナーでの事例紹介について</p> <p>名古屋わかもの会議での話題提供について</p> <p>伊勢湾流域圏再生ネットワークの活動広報について</p> <p>環境デーなごやの打合せについて</p> <p>一般社団法人地域問題研究所『第 45 回総会記念シンポジウム』の広報について(2)</p> <p>シンポジウム広報について</p> <p>コミュニティユースバンク momo の助成先募集について</p> <p>東海若手起業塾の選考会参加者募集について</p> <p>浄化槽フォーラムの広報について</p> <p>地域主体の国際協力・岐阜 DDC のイベント広報について</p> <p>環境ボランティアサークル亀の子隊 8 月活動広報について</p>
--	--	---

		<p>富山県主催の企業と NPO の交流会について</p> <p>シンパシー講師研修について</p> <p>NPO への事務所貸出について</p> <p>名古屋 NGO センターのファンドレイジングの研修について</p> <p>環境省 Good Life Award の昨年度の中部地域の応募状況について</p> <p>亀の子隊の活動広報について</p> <p>地域主体の国際協力・岐阜 DDC10 月の定例会について</p> <p>亀の子隊のエコツアー広報について</p> <p>みどり香るまちづくり企画コンテストの広報について(2)</p> <p>生活困窮問題を考える講演会の広報について</p> <p>リユース PC 寄贈プログラムの広報について</p> <p>映画「波伝谷に生きる人びと」の広報について</p> <p>郷土種子協議会の活動を環境省 Good Life Award に応募について</p> <p>海外研究者招へい事業助成の広報について</p> <p>亀の子隊の活動広報について</p> <p>環境団体交流会の開催について</p> <p>浄化槽フォーラムについて</p> <p>中部異業種間リサイクルネットワーク協議会の研究会について(2)</p> <p>次世代エネルギーワークショップについて</p> <p>モリコロ基金を継承した次期基金に関するシンポジウムの広報について</p> <p>マコモタケ水田観察について</p> <p>大人の里山づくり講座の広報について</p> <p>障がい者作業所での自主製品開発について</p> <p>地域主体の国際協力・岐阜の定例会の広報について(3)</p> <p>マルベリークラブの来年度活動展開について</p> <p>グッドライフワードの取組募集の広報について</p> <p>海上の森センターについて</p> <p>モリコロ基金申請について</p> <p>おもしろ科学館 2015 みずなみの広報について</p> <p>エネルギーに関するイベントの広報について</p> <p>アジア 3R 推進市民フォーラム日本大会の広報について</p> <p>SR 連携フォーラム in 名古屋の広報について</p> <p>農業活動ボランティア協力者の募集の広報について</p> <p>緑のふるさと協力隊募集の広報について</p> <p>浄化槽フォーラムの広報について</p> <p>中部大学理事長訪問について</p>
--	--	---

		<p> 亀の子隊東北支援活動の広報について エコプラットフォーム東海の活動広報について 林業と男女共同参画推進に関するワークショップの広報について グリーンコンシューマーに関するセミナーの広報について 亀の子隊の活動広報について 四日市大学シンポジウムでの活動発表を行う団体募集の広報について 志摩サミット NGO フォーラムについて G7 サミット市民社会プラットフォームの設立について G7 ジュニア・サミットの企画について 映画試写会の広報について SDGs の学習会講師紹介について 伊勢志摩サミットについて 環境に配慮した商品づくり 伊勢志摩サミット NGO 主催の会議について 四日市公害と環境未来館での研修について 四日市大学「わかもの学会」の広報について 伊勢志摩サミットについて ママの文化祭における学生ボランティア募集について 「すう-はあ-のお話」の配布について(2) NPO 法人化について 森林の風フォーラムについて G7 環境こどもサミットについて 中部異業種間リサイクルネットワーク協議会平成 28 年新春講演会について 「2016 年ジュニア・サミット in 三重」記念トークイベント広報について G7 サミット市民社会プラットフォームについて ささえあいのまち創造基金の審査について サステナビリティ円卓会議の広報について なごや環境大学シンポジウムについて なごや環境大学について モリコロ基金の継承制度に関するシンポジウムの広報について 伊勢志摩サミットアピール研究会について 伊勢志摩サミットのダイアログ研究会広報について 亀の子隊の活動広報について(3) 四日市大学エネルギー教育研究会四季報原稿の寄稿について 社会課題を題材とした映画の上映会の広報について 小水力発電講座の広報について </p>
--	--	---

		<p>森林の風の活動広報について(2)</p> <p>大学での講義について</p> <p>地域主体の国際協力・岐阜の定例会広報について(2)</p> <p>地球環境基金への要望について(2)</p> <p>中部ミーティングについて</p> <p>中部異業種間リサイクルネットワークの研究会広報について(3)</p> <p>中部科学技術センターのイベント広報について</p> <p>名古屋気温測定調査 2015 の報告会広報について</p> <p>ネオニコチノイド系農薬に関する企画公開プレゼンテーションの広報について</p> <p>ネオニコチノイド系農薬に関する企画成果報告会の広報について</p> <p>ヒヌマイトンボ観察会の広報について</p> <p>名古屋での次世代エネルギーワークショップの広報について</p> <p>市民サミットについて</p>
	<p>パートナーシップ</p> <p>10 件</p>	<p>平成 26 年度竹ベレット協働取組の事例について</p> <p>協働取組の採択事業について</p> <p>協働取組加速化事業の概要について</p> <p>昨年度中部地域の協働取組加速化事業について</p> <p>高浜町ブルーフラッグシンポジウムでのパネルディスカッションについて</p> <p>「協働 booklet」の配布について</p> <p>環境情報誌 Risa へのめぐる掲載について</p> <p>太陽光発電に関する協働取組の紹介について</p> <p>ブルーフラッグパンフレット作成について</p> <p>中部 7 県の協働取組について</p>
	<p>EPO</p> <p>27 件</p>	<p>EPO 中部での環境教育に関するインターンについて</p> <p>ブックレットの希望について</p> <p>メールマガジンの配信希望について (2)</p> <p>行政事業レビューのデータについて (2)</p> <p>EPO にボラみみの募金箱を置くことはできるかについて</p> <p>EPO 東北編集「3.11 あの時」の広報について</p> <p>EPO や協働取組の情報発信について</p> <p>メールマガジンの配信希望について</p> <p>EPO 中部でのインターン受け入れについて</p> <p>劇団シンデレラと EPO 中部の関係性について</p> <p>EPO 中部の事業について</p> <p>EPO 中部への中学生訪問について(2)</p> <p>協働コーディネーター育成事業について(2)</p>

		メルマガ配信の希望について(2) EPO のありかたについて EPO 中部について 今年度 EPO 事業について EPO 中部の事業について(2) EPO について(2) EPO 中部について
	フェアトレード 11 件	フェアトレード月間なごやイベントについて フェアトレード・デー企画について 名古屋市フェアトレードタウン認証取得について フェアトレードのイベントについて フェアトレードタウン祝賀会への協賛及びめぐる提供について 名古屋のフェアトレードに関する支援について フェアトレードマップ、川のマップ作りをしている団体の紹介 フェアトレードに関する講演会の広報について フェアトレードコーヒーのデリバリーについて(2) エシカルファッションショーの広報について
	他 11 件	愛知県で行われる映画撮影におけるエキストラ募集について 環境イベントの企画について 環境関連の就職について 環境省概算要求について 日本建築学会シンポジウムについて 環境に関する仕事について 公益信託オータケ基金の広報について ネオニコチノイド系農薬に関する企画助成の広報について 地球環境基金申請について(2) 福祉に関する総合的な学習の事例、取組について
協働 パートナー	協働に関する情報及び相談ニーズのある団体、個人等	
評価指標・ 方法	指標：来館・電話・メールによる相談・問い合わせ件数 660 件(昨年度 646 件) 方法：業務日報の集計	
成果・評価	オフィスへの来館者、電話・メール等に対し適切に対応するため、開館日には最低 1 名のスタッフをオフィスに常駐した。相談・問い合わせ件数は、昨年度 646 件と比較し、24%減の 493 件であった。主な相談内容は、NPO・市民活動団体、地域活動に関するものである。減少の原因は、昨年は ESD ユネスコ世界会議の開催があったため ESD に関する相談問い合わせが多かったが、その分野での相談内容が減ったことによるものである。	

(10) 事業及び運営会議における旅費及び謝金の支払

目標	事業における講師等や運営会議における委員への謝金及び旅費等の支払い手続き及び作業を正確に丁寧に行う。
業務内容	事業における講師等や運営会議における委員への謝金及び旅費等の支払い手続き及び作業を行う。
実施内容	今年度の謝金・旅費支払いについては、年度末にまとめてお支払いすることとした。そのため、支払い対象者に、事業名および金額を明記した支払計算書を作成し確認していただき、随時支払いを実施した。またマイナンバー制度が登録され次年度より必要になったため、その旨を伝える作業も行った。 2月5日(金)16日(火)支払計算書作成 3月7日(月)8日(火)資料作成
成果・評価	謝金・旅費についてはスムーズに手続きを取り支払業務を行った。

(11) GEOC/EPO、各地方 EPO との連携

目標	GEOC/EPO、EPO 全国ネットワークを活用、積極的に連携・協力し、環境パートナーシップによる取組を拡大する。全国 EPO と連携して、全国 EPO ネットワークで取り組むべき事業や共通課題の共有及び解決のための意見を交換し、提案をつくる。
業務内容	GEOC/EPO、各地方 EPO と積極的に連携・協力し、そのネットワークを活用するとともに必要な作業・情報交換などの業務を行う。また、GEOC 主催の全国 EPO 連絡会議等に参加(東京 2 回、宮崎(2泊3日)1 回を想定)する。 ・全国 EPO が連携して取り組むべき課題の共有と事業の検討
実施内容	今年度は、環境パートナーシップオフィス受託団体連絡会議が計 3 回開催された。EPO の在り方検討、ESD 事業の展開、協働取組事業についての情報共有、ESD 活動支援センター（仮称）について、EPO 事業についての協議を行った。 全国 EPO 連絡会は計 3 回開催された。第 1 回は、EPO が現在抱えている課題や今後に向けて、さらに GEOC20 周年を契機にした EPO のあり方や事業の改善提案等を検討した。第 2 回は、「EPO のあり方検討」「協働取組加速化事業(主にギャザリングとハンドブック)」「次年度の ESD 事業」等について協議をした。第 3 回は、今年度の協働取組加速事業の各地域での成果、協働のポイント等について共有、他 EPO のあり方について協議した。 EPO のあり方検討については、あり方検討のための会議の資料作成や事前のメールでのやりとりを行った。 GEOC が作成する「協働取組加速化事業ガイドブック(仮称)」の原稿執筆、データ収集、原稿確認等を行った。 GEOC から環境省主催の全国環境教育担当者会議で、環境学習を協働実施している事例の紹介等の依頼があった。GEOC から行政レビューに対応するための実績数値（相談件数/ウェブアクセス数/メルマガ登録者数/メルマガ発行回数/機関誌・発行部数/対話の場づくり数/EPO 主

催・共催の対話の場/主催事業参加者数)を求められ提出した。

ESD 環境教育プログラム実証事業に関する冊子作成に関して、全国事務局 (GEOC) から原稿執筆、編集等の依頼があり作業をした。また、連絡会、成果報告会に参加した。

ESD 活動支援センター (仮称) については、全国の EPO の代表協議者 (4 名) として参加することとなり、環境省の「ESD 活動支援企画運営準備委員会」に計 3 回出席した。委員会に向けて、代表者や全国に EPO と協議する場に参加した。

また EPO 東北と共催事業で東北の震災の語り部さんを招いての小中学校での授業 (学びあいフォーラム) を実施した。

〈主な業務〉

[環境パートナーシップオフィス受託団体連絡会議]

● 第 1 回

日時 : 4 月 10 日(金)11 : 00 ~ 16 : 00

場所 : GEOC セミナースペース (東京都渋谷区)

議題 :

- ・EPO ネットワーク 10 周年に伴う EPO の在り方検討について
- ・環境省 民活室からの情報提供と意見交換
- ・今後の ESD 展開と EPO の関係について
- ・環境省の次年度施策について
- ・協働取組事業 EPO 間進捗共有

● 第 2 回

日時 : 6 月 19 日(金)11 : 00 ~ 16 : 30

場所 : GEOC セミナースペース (東京都渋谷区)

議題 :

- ・ESD について
- ・ESD 人材育成事業について
- ・民活室からの情報提供と意見交換
- ・EPO 間での情報共有、地域支援センターに対する意見・提案
- ・地球環境基金との連携について
- ・EPO から基金に対する要望の整理 (基金主催の連絡会に向けて)
- ・協働取組加速化事業
- ・各審査会のフィードバック
- ・3 年目の支援事務局の自己評価
- ・EPO のあり方について

● 第 3 回

日時 : 7 月 31 日(金)10:00 ~ 12:00

場所 : GEOC セミナースペース、

	<p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EPO 事業について ●その他 <p>4月6日(月)EPO 請負事業者会議の打合せ 9日(木)EPO 請負事業者会議 22日(水)次年度以降の事業提案</p> <p>8月17日(月)全国 EPO 連絡会出席記録作成 18日(火)ESD 全国会議資料送付 19日(水)全国 EPO 連絡会出席記録作成</p> <p>[全国 EPO 連絡会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1回 <p>日時：7月30日(木)13:00～18:00 場所：GEOC セミナースペース（東京都渋谷区） 議題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働取組加速化事業について ・EPO 事業について <ul style="list-style-type: none"> ●第2回 <p>日時：11月17日(火)13:30～18:00、18日(水)9:00～12:00 場所：みやざき県民協働支援センター 議題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働取組加速化事業について ・EPO のあり方検討 ・環境省事業における学校関係者との連携の在り方について <ul style="list-style-type: none"> ●綾町エクスカーション（第2回全国 EPO 連絡会） <p>日時：11月18日(水)13:30～18:30、19日(木)9:00～15:30 内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綾町の取組について ・綾町の照葉樹林を活かしたまちづくり、エコパークのフィールドについて視察研修・意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ●第3回 <p>日時：2月5日(金)13:00～18:00 場所：GEOC セミナースペース 議題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働取組加速化事業について ・EPO の在り方検討 ・「国連生物多様性の10年」関連事業について ・28年度事業の概要について <p>[ESD 環境教育プログラム実証事業]</p>
--	---

	<p>●全国成果報告・交流会 7月29日(水)</p> <p>●全国連絡会 第1回 8月27日(木)14:00～16:00 場所：ウイメンズプラザ会議室 第2回 1月29日(金)10:00～12:00 場所：GEOC</p> <p>●その他 6月26日(金)ESD 環境教育プログラム実証等事業「全国成果報告会」の出席者調整 7月1日(水)ESD 実証事業全国成果発表会ゲスト調整 2日(木)ESD 実証事業全国成果発表会ゲスト依頼 15日(水)ESD 全国成果報告会について打合せ 22日(水)ESD 環境教育プログラム成果報告会・交流会に関する打合せ 24日(金)ESD 環境教育プログラム成果報告会・交流会についての打合せ 27日(月)ESD 環境教育プログラム成果報告会・交流会に関する打合せ、ESD 活動支援 企画運営準備委員会、 29日(水)ESD 環境教育プログラム成果報告会・交流会参加、中部ブロックの取組報告 8月4日(火)ESD 環境教育プログラム実証事業についての情報共有 6日(木)ESD 全国連絡会の参加者調整 11日(火)ESD 全国連絡会についての打合せ</p> <p>[協働取組加速化事業] 9月17日(木)協働取組加速化事業作業部会 11月17日(火)協働取組加速化事業作業部会 2月3日(水) 5日(金)協働ギャザリングの準備/協働取組加速化事業第2回作業部会 6日(土)協働ギャザリング出席</p> <p>[ESD 活動支援企画運営準備委員会] 9月17日(木) 第1回 ESD 活動支援企画運営準備委員会 10月5日(月)第2回 ESD 活動支援企画運営準備委員会 1月21日(木)第3回 ESD 活動支援企画運営準備委員会</p> <p>[ESD 活動支援センター(仮称)代表者協議会] 6月19日(金)/7月17日(金)/7月27日(月)/8月27日(木)/10月5日(月)/1月29日(金)</p> <p>●その他 6月12日(金)ESD 活動支援センター（仮称）に関する打合せ 15日(月)ESD 活動支援センター（仮称）についての資料作成</p>
--	--

	<p>18日(木)ESD 活動支援センター（仮称）に関する資料作成</p> <p>19日(金)ESD 活動支援センター（仮称）に関する打合せ</p> <p>22日(月)ESD 活動支援センター（仮称）資料の作成</p> <p>7月13日(月)ESD 活動支援センター(仮称)に関する企画案作成</p> <p>14日(火)15(水)16(木)全国 EPO ネットワークによる全国 ESD 支援センター(仮称)代表者協議会提案書作成</p> <p>21日(火)ESD 活動支援センター(仮称)会議メモ作成</p> <p>8月26日(水)ESD 活動支援センター(仮称)提案書作成</p> <p>8月28日(金)31日(月)ESD 活動支援センター(案)提案書作成</p> <p>9月3日(木)ESD 活動支援センター(仮称))提案書作成</p> <p>12月15日(火)17日(木)全国 ESD 支援センター(仮称)に対する意見出し作業</p> <p>3月3日(木)全国 ESD 活動支援センターとの意見交換、第3回 ESD 活動支援企画運営準備委員会、ESD 支援センター打合せ</p> <p>[EPO 東北共催事業「ESD 学び合いフォーラム」]</p> <p>5月25日(月)EPO 東北協力事業調整</p> <p>26日(火)EPO 東北協力事業調整</p> <p>29日(金)EPO 東北協力事業調整</p> <p>9月1日(火)東北の語り部プロジェクトについての打合せ</p> <p>16日(水)東北 EPO との協働による ESD 事業の調整</p> <p>18日(金)東北の語り部プロジェクトについての打合せ</p> <p>24日(木)東北 EPO との協働 ESD 事業の調整</p> <p>29日(火)東北の語り部プロジェクトについての打合せ</p> <p>10月14日(水)打合せ</p> <p>22日(木)企画、実施校の調整</p> <p>28日(水)打合せ</p> <p>11月5日(木)事業準備</p> <p>6日(金)20日(金)24日(火)25日(水)26日(木)30日(月)打合せ</p> <p>10日(火)打合せ資料の作成・資料準備</p> <p>11日(水)実施校との打合せ・後援申請に関する打合せ・企画書修正</p> <p>16日(月)企画書修正</p> <p>25日(水)実証校打合せ</p> <p>12月1日(火)打合せ・準備</p> <p>2日(水)EPO 東北共催事業「ESD 学び合いフォーラム」(岡崎市立愛宕小学校・岡崎市立河合中学校)</p> <p>9日(水)記録映像 DVD 作成</p> <p>17日(木)生徒感想用紙 PDF 化</p> <p>[その他]</p>
--	---

	<p>5月15日(金)行政事業レビューのためのEPOデータまとめ 18日(月)行政事業レビューのデータまとめ 8月27日(木)EPOの在り方について会議 9月15日(火)EPOの在り方検討に関する資料作成 17日(木)EPOの在り方検討会議 12月3日(木)きんき環境館との打合せ、在り方検討会資料作成 7日(月)8日(火)あり方に関する資料作成 22日(火)あり方検討打合せ 7月31日(金)環境教育担当者会議(環境省) 3月1日(火)7日(月)15日(火)16日(水)地域版プログラムガイドブック原稿作成</p>
協働 パートナー	全国EPO、環境省、各地方環境事務所
評価指標・ 方法	<p>指標：会議の実施とその効果、等 方法：自己評価</p>
成果・評価	<p>全国8ブロックのEPOが集まる機会が増えており、EPOの機能や役割、今後いかに利用価値を高めるかについて意見を交わしている。一方で、Green Giftプロジェクト支援事業や地球環境基金の説明会など、全国にEPOが設置されていることの強みを活用した事業がいくつか実施されている。しかし、それに対する評価軸が定まっていないことが課題である。協働取組の促進、ESDに関しては地方EPOそれぞれのノウハウやスキルがあるため、それらを集約して新たな政策提案をする機能となりうる全国EPOとしてのネットワーク機能の確立が求められる。GEOC/EPO、EPO全国ネットワークの活用、積極的な連携・協力は一層進んでおり、環境パートナーシップによる取組は拡大しつつある。ESD活動支援センター(仮称)の地域センター機能については、全国のEPOと連携して、全国EPOネットワークで取り組むべき事業や共通課題の共有及び解決のための意見交換、及び提案づくりを行った。</p>

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[A ランク]のみを用いて作製しています。